地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

型番 LVW-223(K)/LVW-223(W)

取扱説明書

この取扱説明書は、LVW-223(K) / LVW-223(W)の共用です。
本書のなかで使用しているイラストはLVW-223(K)のものです。

はじめに
本機には、はじめて電源を入れたときに、【かんたん設定】画面が表示され、テレビ放送の視聴に必要な設定を行う機能があります。
「かんたん設定」(参照 28ページ)をご覧になり、設定してください。

本取扱説明書の内容は2009年7月現在の放送運用に基づいて作成されています。
今後の放送運用の変更により、一部内容が異なる場合があります。

保証書別添付

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」(参照 4〜8ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体の背面と保証書に記載されている製造番号をお確かめください。

- 本機は業務用途、監視用途には対応していません。

もくじ

デジタル放送 :このアイコンは、デジタル放送(地上・BS・110度CSデジタル)に関する項目です。
アナログ放送 :このアイコンは、アナログ放送(地上アナログ)に関する項目です。

はじめに

準備　接続する

準備　初期設定

本機の基本操作

番組表/予約する

画面設定

音声設定

機器設定

お知らせ

必要なとき

安全上のご注意

必ずお守りください

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

絵表示について

- この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- **誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。**

⚠警告　誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの

⚠注意　誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性があるもの

- **絵表示の例**

● 記号は必ず行なっていただきたい行為を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

⊘ 記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

△ 記号は注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

- **絵表示の意味**

 必ず指示にしたがい、行なってください。

 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

 絶対に行わないでください。

 絶対に分解/修理はしないでください。

 絶対に触れないでください。

 絶対に水場では使用しないでください。

 絶対に濡らさないでください。

 絶対に濡れた手で触れないでください。

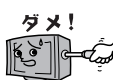
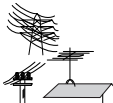
 注意してください。

 高温に注意してください。

 破裂に注意してください。

 指をはさまないよう注意してください。

家庭用品品質表示法に基づく表示

使用上のご注意

- 内部の温度が上昇しますので、設置の際は通気のために製品の周囲に間隔をおいてください。
- 温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しないでください。
- 感電の危険があるため、裏ぶたを開けないでください。
- ちり、ほこりを取るため内部を掃除するときは、販売店、電気店等に相談してください。

表示者　大阪府大東市中垣内7丁目7番1号　船井電機株式会社

※ この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

⚠警告

■ ご使用になるとき

禁止

本機をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

- 落ちたり倒れたりしてけがの原因となるため注意してください。

水漏れ禁止

本機のそばに水などの入った容器や金属物を置かない（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）

- こぼれて本機の内部に入った場合、火災・感電の原因になります。

水濡れ禁止

水場での使用禁止

本機を水でぬらさない
水滴のかかる場所に置かない

ダメ！

- 海岸・水区や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
- 風呂場では使用しないでください。
- 内部に水が入ると火災・感電・故障につながります。

改造・分解禁止

本機を改造または分解しない

- 裏ぶた、キャビネット、カバーは外さないでください。感電の原因になります。
- 内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

アンテナは送配電線から離れた場所に設置する

- 倒れた場合は感電事故の原因になります。

■ 電池の取り扱い

乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものを使用する

- 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。

電池は乳幼児の手の届かないところへおいてください

- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

■ 電源コード・プラグの取り扱い

交流100V

本機を指定（表示）された電源電圧（交流100V）以外で使用しない

- 指定（表示）以外で使用すると火災・感電・故障の原因になります。
- 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。

ほこりをとる

電源プラグのほこりなどはとる

- 絶縁不良となり火災・感電の原因となります。
- ほこりをとる際は、かわいた布でふいてください。

接触禁止

雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグにふれない

- 落雷すると誘導電雷により感電することがあります。

禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり水や液体をかけない

- 水は電気を通しますので感電の恐れがあります。
- 必ずかわいた手で持ってください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠警告

■ 電源コード・プラグの取り扱い（つづき）

禁止

電源コードを正しく使用する
- **束ねない**
- **延長・タコ足配線しない**
- **固定しない**
  - ◆ 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損・発火の原因になります。

  - ◆ タコ足配線すると発熱し火災・故障の原因になります。

電源コードを傷つけない
- **破損させない**
- **加熱しない**
- **引っぱらない**
- **加工しない**
- **切断しない**
- **ねじらない**
- **曲げない**
- **重いものをのせない**
  - ◆ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源は、必要に応じてブレーカやヒューズを設置した専用回路からとる

- ◆ 発火の原因になります。

電源プラグは確実に差し込み、抜き差しが弱くなったものは使用しない
- ◆ 不完全な差し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因になります。
- ◆ 時々点検をしてください。

本機の開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まない
- ◆ 火災・感電の原因になります。
  特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ（こたつの中やサウナなど）で使用しない

- ◆ 感電・火災の原因になります。

電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手の届くところに放置しないでください

- ◆ 感電の原因になります。

電源コードを動かすと電源が入ったり切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない
- ◆ コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因になります。

使用禁止

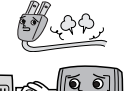
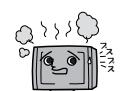
プラグを抜く

本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

- ◆ そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

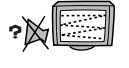
- ◆ 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 異常が発生したときは電源プラグを抜く

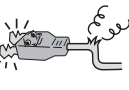
使用禁止

プラグを抜く

本機や電源コードが異常なとき（煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする）は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く

- ◆ そのまま使うと火災・感電の原因になります。
  お客様による修理は危険ですからお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

本機を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源プラグをコンセントから抜く

- ◆ そのまま使うと火災・感電の原因になります。
  お買い上げの販売店にご連絡ください。

プラグを抜く

画面が映らない、音声が出ないなどの故障状態のときは電源プラグをコンセントから抜く

- ◆ そのまま使うと火災・感電の原因になります。
  お買い上げの販売店にご連絡ください。

プラグを抜く

電源プラグやコードが傷んでいる場合（刃の曲がり、プラグカバーの傷み、芯線の露出、断線など）は電源プラグをコンセントから抜く

- ◆ そのまま使うと火災・感電の原因になります。
  お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

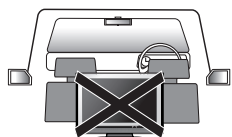
■ 設置・移動のご注意

海水や塩害に注意

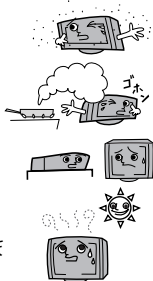
- 海辺にお住まいのかたは窓からの海水や塩害に注意してください。

使用禁止

本機を車の中で使用しない 自動車内に放置しない

- 本機は車載用ではありません。
- 車載で使用した場合、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火、発煙事故の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因になります。
- 市販されている電源コンバーターなどや、お車に付いているACコンセントを使って本機を使用しないでください。

設置禁止

本機を次のような場所に置かない

- **湿気やほこりの多い場所**
- **油煙や湯気が当たる場所**
- **熱器具の近く**
- **他のテレビの近く**
- **直射日光の当たる場所**
- **押し入れや本棚など風通しの悪い場所**
- **閉めきった自動車内など高温になるところ**
  - 発熱による変形や火災・感電・故障の原因になります。

禁止

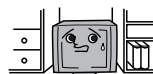
本機の上に乗ったり、ぶらさがったりしない

- バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

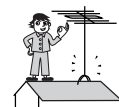
本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない

- 故障の原因となることがあります。

本機の通風孔をふさがない

- **風通しの悪い狭い場所に置かない**
- **じゅうたんや布団の上に置かない**
- **テーブルクロスなどをかけない**
- **本機の設置は、壁から10cm以上の間隔をおく**
  - 内部に熱がこもり火災の原因になります。

本機をキャスター付きテレビ台に設置する場合には、キャスター止めをする

- 動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください

安定した場所に設置する

- 本機は安定した場所に設置してください。転倒し、けがの原因となることがあります。

■ 電源コード・プラグの取り扱いのご注意

プラグを抜く

お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

次のような場合、電源プラグをコンセントから抜いておく

- **長時間外出するとき**
- **旅行をするとき**
  - 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機を移動させる場合、電源プラグをコンセントから抜く

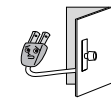
- **アンテナ線や外部の接続線も外す**
  - そのまま移動するとコードに傷がつき火災・感電の原因となります。

禁止

電源コードを引っ張らない

- 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

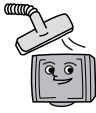
電源コードを引き回さない

- 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。

電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない

- 発煙や発火の原因となります。

高温注意

電源コードを熱器具に近付けない

- コードの被覆が溶けて火災/感電の原因となることがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠注意

■ ご使用になるときのご注意

掃除

年に一度を目安に本機内部の掃除を依頼する

- ◆ 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
- ◆ 内部の掃除やその費用については、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

液晶パネルの破損

- ◆ 液晶パネルはガラスでできています。液晶パネルが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをするおそれがあります。

■ 電池の取り扱いについてのご注意

乾電池は正しく挿入する

- **プラス（+）とマイナス（–）の向きを正しく入れる**
  - ◆ 誤って挿入すると破裂・液漏れによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定されていない電池の使用
新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

- ◆ 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

破裂注意

乾電池の取り扱いに注意

- **ショートさせない**　• **分解・加熱をしない**
- **火の中に投入しない**
  - ◆ 破裂したりする危険があります。

■ 眼精疲労について

- ◆ 長時間液晶テレビの映像を見続けると、目に疲労が蓄積されます。

■ 本液晶テレビの廃棄

- ◆ 事業者が廃棄する場合
  本液晶テレビを廃棄するときには廃棄物管理票(マニフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理票は、（社）全国産業廃棄物連合会に用意されています。
- ◆ 個人が廃棄する場合
  本液晶テレビの蛍光管には、水銀が含まれております。本液晶テレビを廃棄するときは、お買い上げ先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則にしたがってください。
  また本機を廃棄されるときは個人情報リセットを行う必要があります。詳しくは42、102ページをご覧ください。

■ ご注意

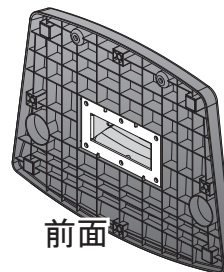
本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。
この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。

- ◆ ビデオの上に本機を直接置いた場合、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、ビデオと本機を離してください。

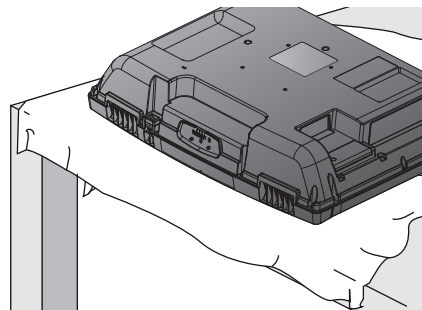
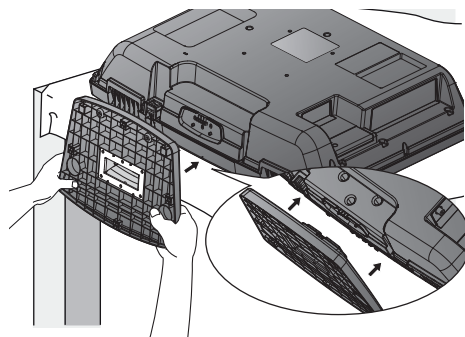
設置について

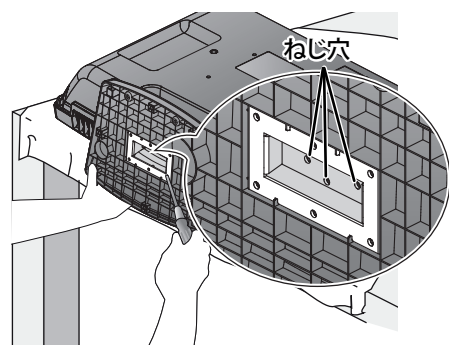
ご注意ください!!

お買い上げ時、スタンドは取りはずされている状態です。本体にスタンドを取り付ける際には、スタンドの前後が正しい方向に合うように注意してください。

スタンドを取り付ける

1 本体を裏返して、柔らかい布を敷いたテーブルの上に置いてください。そのとき、画面を傷つけないように注意してください。

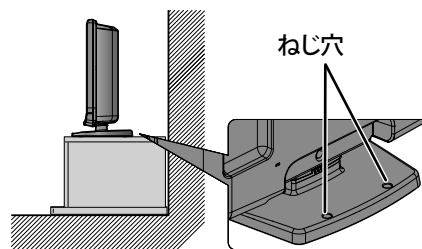
◆ テーブルは必ず安定した場所に置いてください。

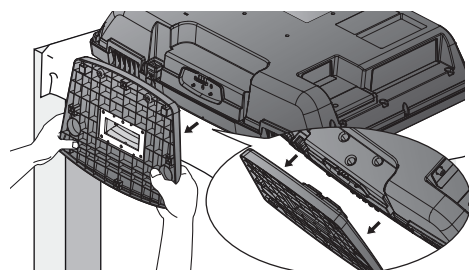
◆ テーブルは必ず本体の重さに耐えることができて、本体より大きいものを使用してください。

2 スタンドを本体にゆっくりと、完全に挿入してください。

3 スタンド固定ねじ（付属品）を3つのねじ穴に、プラスドライバーでしっかりと締めてください。

◆ スタンド固定ねじをドライバーで締める際は、ねじにあったドライバーをご使用ください。

スタンドを取り付けるときに、すべてのスタンド固定ねじがしっかりと締まっているか確認してください。スタンドが適切に取り付けられていなければ、本体が落下する原因となり本体を傷つけるだけでなく、けがをする場合もあります。

転倒防止のためにねじ（市販品）を取り付ける

スタンド部分にねじ穴があいていますので、安定した場所にねじ「呼び径4mm、長さ20mm以上」（市販品）を使用し、しっかりと確実に取り付けてください。

◆ 本機の転倒防止措置は、地震等の大きい揺れには対応しておりません。

スタンドの取りはずしかた

ねじ穴に取り付けたスタンド固定ねじ（付属品）を取りはずします。次に、本体からスタンドをゆっくりと取りはずしてください。

ご使用の前に（付属品の同梱確認、ほか）

スタンド取り付け後、初めてお使いになるときにご準備ください。

1 付属品が同梱されているか確認する

リモコン
型番 ：NF037JD (LVW-223(K))
　　　：NF041JD (LVW-223(W))

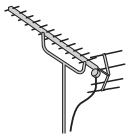
単3形乾電池（2個）
（リモコン動作確認用）

スタンド固定ねじ（3個）

B-CASカード

- ◆ 取扱説明書（本書）
- ◆ 保証書（梱包箱に貼り付けられています。）

※ イラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

2 アンテナを接続する（ 18～19ページ）

- ◆ 地上デジタル放送用UHFアンテナ（別売品）
- ◆ 地上アナログ/デジタル放送用VHF/UHFアンテナ（別売品）
- ◆ BS•110度CSデジタル放送用アンテナ（別売品）

3 各機器を接続する

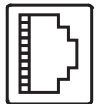
- ◆ 外部機器の接続（参照 20～21ページ）
- ◆ オーディオ機器の接続（参照 22ページ）

4 B-CASカードを挿入する（ 23ページ）

B-CASカード（付属品）

- ◆ 挿入しないとデジタル放送が視聴できません。
- ◆ 奥までしっかり差し込んでください。

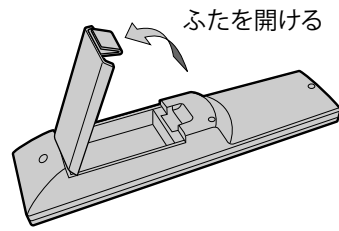
5 電話回線やネットワークの接続をする

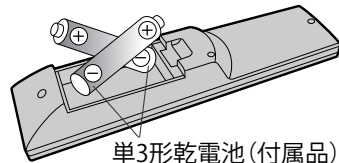
（ 24～27ページ）

電話回線端子にモジュラーケーブルを接続

- ◆ 衛星放送で、電話回線用の双方向サービスを使用するときに接続してください。

LAN端子(100BASE-TX/10BASE-T)にLANケーブルを接続

- ◆ ADSLなどのブロードバンド環境をお持ちでデータ放送の双方向サービスを使用するときに接続してください。

双方向サービス（通信）を利用しない場合は、電話回線やLANの接続は不要です。

6 リモコンに電池を入れる

電池を入れ、ふたを閉める（ ⊖ 側から先に入れます）

おねがい

- ◆ リモコンに液状のものをかけないようにしてください。
- ◆ リモコンを落とさないようにしてください。

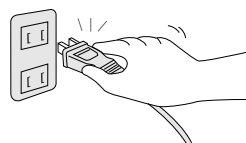
Point

リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。
（※付属の乾電池は動作確認用です。）

- ◆ 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- ◆ 本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。誤動作する場合があります。
- ◆ アルカリ乾電池とマンガン乾電池を一緒に入れないでください。
- ◆ 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に入れないでください。

「アルカリ乾電池ご使用の注意」

アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。
アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。

7 電源プラグを差し込み電源を入れる

8 「かんたん設定」をする（ 28～29ページ）

- ◆ 必要な場合はアンテナの向きを調整してください。
（チャンネル設定 参照 30～41ページ）

これで、基本の接続と設定は終了です。
56ページからの説明をご覧になり、放送をお楽しみください。

本機の特長と楽しみかた

デジタル放送の番組を見る

（参照 56ページ～）

B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。（参照 23ページ）

デジタル放送は、従来の地上アナログ放送（VHF、UHF）やBSアナログ放送と違い、映像や音声をデジタル化することで、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しむことができます。

- 本機は、地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビです。
  UHFアンテナ（地上デジタル対応）や、衛星アンテナを接続すれば、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送が視聴できます。

地上デジタル

- デジタル放送への移行スケジュール
  地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の県庁所在地でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大される予定です。
  高品質の映像と音声、更にデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。

BSデジタル

- 放送衛星（ブロードキャスティング・サテライト）（Broadcasting Satellite）を使って行う放送でハイビジョン放送やデータ放送が特長です。BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行なっています。WOWOWなどの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。

110度CSデジタル

- 通信衛星（コミュニケーションズ・サテライト）（Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
- 110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー！e2」への加入申し込みと契約が必要です。
  「スカパー！e2」にはCS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

お問い合わせ先

- 「スカパー！e2」カスタマーセンター
  0570-08-1212（ナビダイヤル）（PHS、IP電話のかたは**045-276-7777**）
  受付時間10：00 ～20：00（年中無休）
- 「スカパー！e2」公式ホームページ **www.e2sptv.jp**

地上アナログ

- 従来のVHF/UHFアンテナで受信できる放送です。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが国の方針として決定されています。

本機の特長と楽しみかた（つづき）

番組表を使う

（参照 62ページ～）

本機の画面上に番組を新聞のテレビ欄のように一覧表示します。
（最大8日分）

- 番組表から選局や番組内容の表示ができます。
- BS/CS/地上デジタルの番組情報はBS/CS/地上デジタル放送と一緒に送られています。
- 地上アナログでは番組表に対応しておりません。

ジャンルで番組を探す

（参照 64ページ～）

- 「ジャンル別」に条件を指定して該当する番組を探し、視聴や視聴予約ができます。

- データ放送（参照 67ページ～）
  本機の画面の説明にしたがい操作すると、関連するデータを表示できる番組があります。
  例えば、BS101を視聴中にリモコンの d を押すと、NHKデータ放送で送られている天気予報などの情報がご覧になれます。

使用上の注意点

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域 (90 MHz〜770 MHz) に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

電話回線の接続

デジタル放送では、電話回線を使って料金管理や視聴者参加番組への参加などができるシステムを採用しています。
本機にはNTTの2線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式 (10 PPS / 20 PPS) の電話機に接続の電話線を分配して接続してください。また、接続した電話回線は異常が発生しない限り、取り外さないでください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および2線式電話回線と接続しない電話機 (携帯電話、PHSなど) では利用できない場合があります。
視聴者参加番組、ショッピングなどの双方向番組などを利用しないときは電話回線接続は不要です。

長時間動かない画像を映さないでください

本機に動かない画像を長時間映していると、画面に映像が焼き付き、影のように画面に残る恐れがあります。動かない画像を長時間映さないでください。

本機は放送内容、ご使用環境、接続されている機器との組み合わせや外部からの雑音の影響などによりリモコンによる操作ができなくなったり、まれに正常に動作しないことがあります。

この場合は、電源プラグを一度抜き、しばらく放置したあと、再度電源プラグを差し込み、動作を確認してください。

ダウンロードを実行するには、下記の状態になっているかお確かめください

- 電源プラグがコンセントに挿し込まれている
- 本機の電源が切られている
- 「自動ダウンロード」が「入」になっている

ダウンロードとは、地上波から配信されるソフトウエアアップデートのデータを取り込むことにより、本機のソフトウエアを最新のものに書き換えます。この取扱説明書はソフトウエアが更新されていない時点で作成されており、ソフトウエアが自動更新されると、記述された内容と実際の画面や操作方法が異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。
電源プラグが抜かれているとき、電源を「入」にしているときまたは「自動ダウンロード」を「切」にしている場合は、ダウンロードが実行されません。

風通しのよい場所に設置してください

本機は放熱のため、天面と裏面の一部で温度が高くなります。品質、性能には異常ありませんが、内部温度の上昇をおさえるため風通しのよい場所に設置してください。

本機の上にほかの機器を置いたり、ほかの機器の上に本機を置かないでください

ほかの機器の放熱によって本機の内部温度が上がり、故障の原因となることがあります。

次の点にご留意ください。

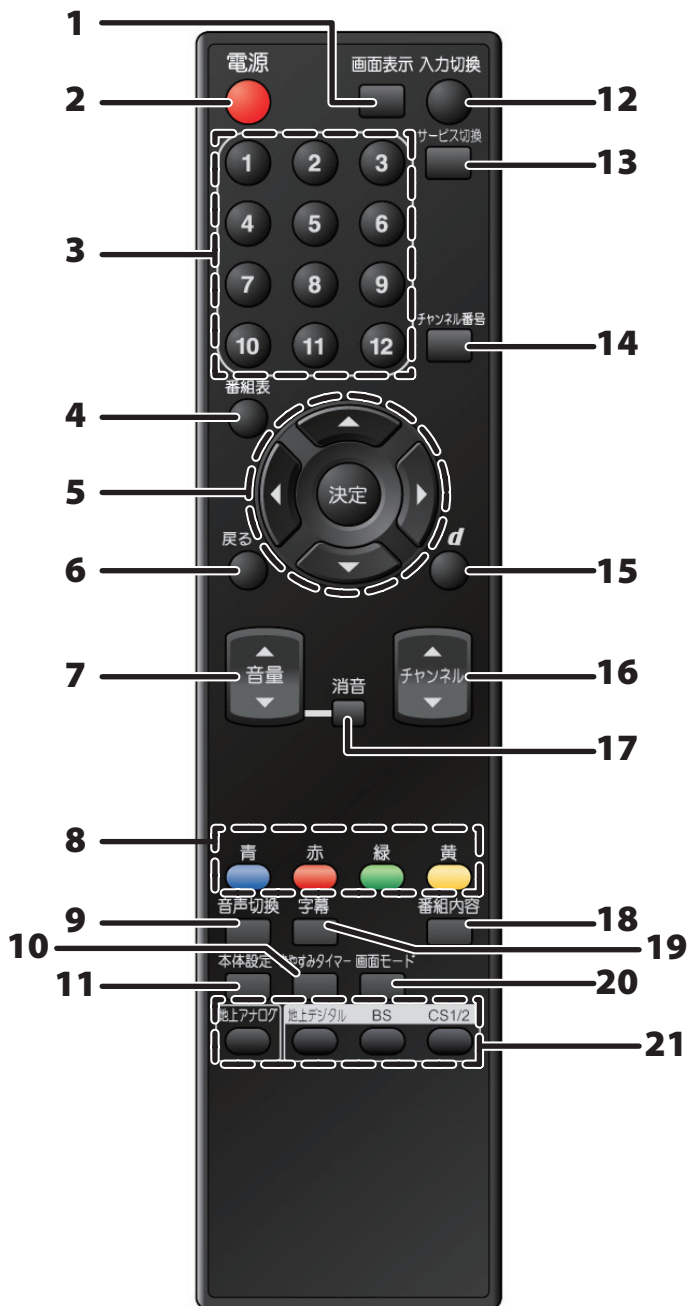
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機はARIB (電波産業会) 規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

商標などについて

- CP8 PATENT
- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LCCの商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

各部のはたらき

リモコン

1. **画面表示ボタン**（参照 60ページ）
   見ている番組のタイトルなどを表示します。
2. **テレビ電源ボタン**（参照 56ページ）
   テレビの電源「入」/「切」に使用します。
3. **数字ボタン**（参照 57ページ）
   チャンネル選択や数字を入力をします。
4. **番組表ボタン**（参照 62ページ）
   デジタル放送を視聴時に番組表を表示します。
5. **▲/▼/◀/▶/決定ボタン**（参照 28ページ）
   項目の選択や決定/実行をします。
6. **戻るボタン**（参照 31ページ）
   各種の設定画面などで一つ前の画面に戻ります。
7. **音量ボタン**（参照 56ページ）
   音量を調整するのに使用します。
8. **青ボタン/赤ボタン/緑ボタン/黄ボタン（カラーボタン）**
   （参照 62ページ）
   番組表やデータ放送などの表示中に画面の指示にしたがって使用します。
9. **音声切換ボタン**（参照 58ページ）
   視聴中にステレオ/2ヵ国語など音声を切り換えます。
10. **おやすみタイマーボタン**（参照 58ページ）
    おやすみタイマー設定時に使用します。
11. **本体設定ボタン**（参照 28ページ）
    本体設定画面を表示します。
12. **入力切換ボタン**（参照 56ページ）
    入力映像を切り換えます。
13. **サービス切換ボタン**
    放送サービスを切り換えます。
    - テレビ：従来のテレビ放送
    - データ：お住まいの地域の生活情報やクイズなどの放送
14. **チャンネル番号ボタン**（参照 57ページ）
    チャンネル番号を入力して選局します。
15. ***d*（データ）ボタン**（参照 67ページ）
    データ放送の画面を表示します。
16. **チャンネルボタン**（参照 57ページ）
    チャンネルを順送りで選局します。
17. **消音ボタン**（参照 57ページ）
    テレビの音声を消します。
    押すと消音になり、もう一度押すと元の音量に戻ります。
18. **番組内容ボタン**（参照 66ページ）
    デジタル放送を視聴しているときや、番組表で選択中の番組の詳細を表示します。
19. **字幕ボタン**（参照 59ページ）
    視聴中に字幕を切り換えます。
20. **画面モード切換ボタン**（参照 59ページ）
    テレビの画面モードを切り換えます。
21. **放送切換ボタン**（参照 56ページ）
    受信する放送を切り換えます。

おねがい

- 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光やインバータ蛍光灯の強い光を当てないでください。

本体前面

1. **本体設定ボタン**
   本体設定画面を表示します。
2. **音量ボタン**
   音量を調整するのに使用します。
3. **チャンネルボタン**
   チャンネルを順送りで選局します。
4. **入力切換ボタン**
   入力映像を切り換えます。
5. **電源ボタン**（参照 56ページ）
   テレビの電源「入」/「切」に使用します。
6. **回線使用表示ランプ**
   橙色・・・・ 電話回線を使用中
7. **電源表示ランプ**
   緑色・・・・ 電源を入れた状態（受像）
   赤色・・・・ 電源を切った状態
   橙色・・・・ 機能待機状態
   「高速起動設定」を「入」にしているとき（参照 42～43ページ）または、デジタル放送の情報を受信中、ソフトウエアダウンロード中
8. **リモコン受光部**
   リモコンからの信号を受信します。

Point

◆ 電源「切」時（電源表示ランプが赤色の状態）でも、デジタル放送からの情報受信などを自動的に行いますので、電源表示ランプが橙色に点灯するときがあります。
◆ 本製品は省エネルギー設計により、電源を切ると、電源表示ランプ（赤色／橙色）の明るさが薄暗くなりますが、故障ではありません。

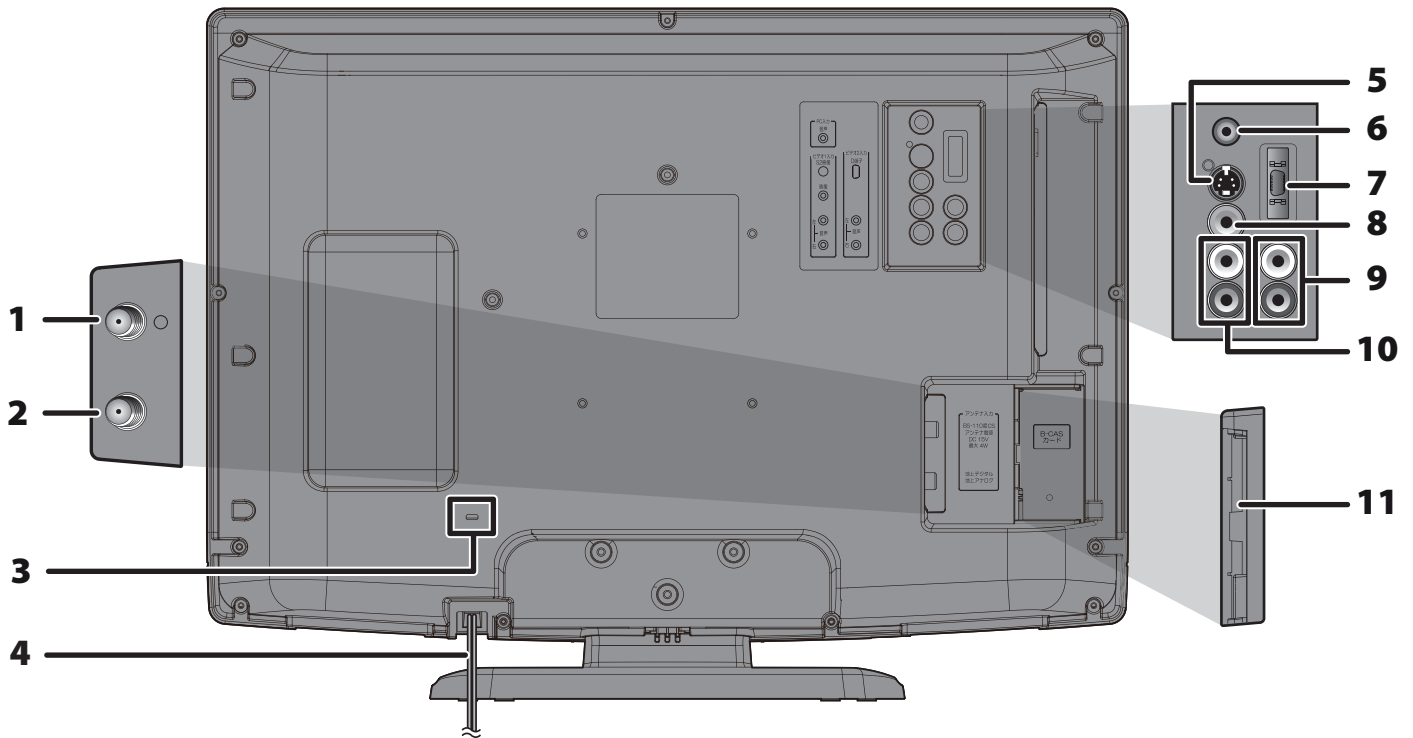
リモコンの操作範囲

付属のリモコンは、リモコン受光部に向けて操作してください。

Point

◆ 左右30°で操作する場合は、本体から約5m以内の距離を保ってください。

各部のはたらき（つづき）

本体背面

1. **BS・110度CS-IFアンテナ入力端子**（参照 19ページ）
アンテナを接続します。

2. **地上アナログ/地上デジタルアンテナ入力端子**（参照 18ページ）
アンテナを接続します。

3. **盗難防止器具取付スロット**
セキュリティワイヤーロックなどの取り付けが可能です。

4. **電源コード**（参照 5〜7ページ）
電源を切っていても、デジタル放送からの情報受信などを自動的に行なっていますので、B-CASカードの抜き差し時や異常時以外は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
旅行、長期間外出される場合は、安全のため電源コードを抜いてください。

5. **S2映像入力端子（ビデオ1入力）**（参照 20ページ）
S映像出力端子のある外部機器と接続します。

6. **PC音声入力端子（ビデオ4入力）**（参照 21ページ）
音声出力端子のあるパソコンと接続します。

7. **D映像入力端子（ビデオ2入力）**（参照 20ページ）
D映像出力端子のある外部機器と接続します。
本機はD1〜D4の映像信号に対応しています。

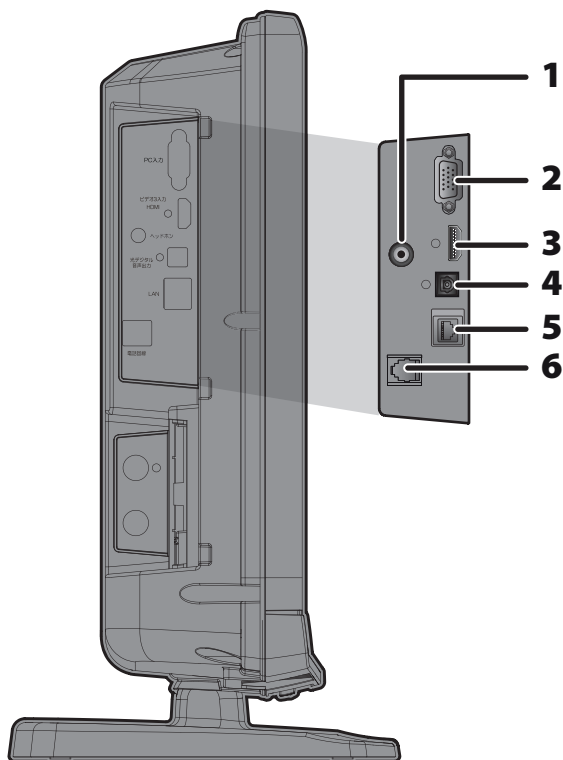
8. **映像入力端子（ビデオ1入力）**（参照 20ページ）
映像出力端子のある外部機器と接続します。

9. **音声入力端子（ビデオ2入力）**（参照 20ページ）
音声出力端子のある外部機器と接続します。

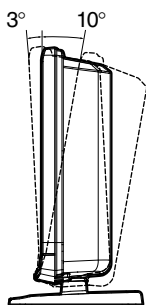
10. **音声入力端子（ビデオ1入力）**（参照 20ページ）
音声出力端子のある外部機器と接続します。

11. **B-CASカード挿入口**（参照 23ページ）
B-CASカードを挿入します。

本体側面

＜左側面＞

1. **ヘッドホン端子**
   ヘッドホンを接続します。
2. **PC入力端子（ビデオ4入力）**（参照 21ページ）
   アナログRGB出力端子のあるパソコンと接続します。
3. **HDMI入力端子（ビデオ3入力）**（参照 21ページ）
   HDMI出力端子のある外部機器と接続します。
4. **光デジタル音声出力端子**（参照 22ページ）
   光デジタル音声入力端子のある外部機器と接続します。
5. **LAN端子（100BASE-TX/10BASE-T）**（参照 27ページ）
   ネットワーク機器（ADSLモデムやルーターなど）と接続します。
6. **電話回線端子**（参照 25ページ）
   電話回線と接続します。

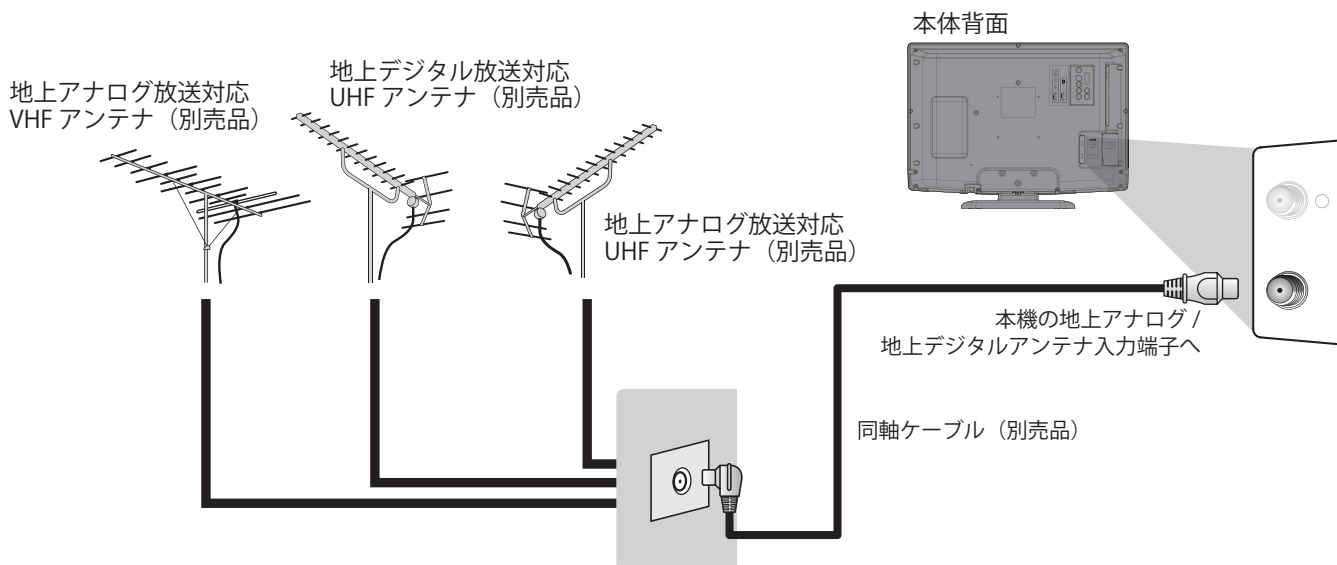
スタンドの角度調整

スタンドの角度を変えることで、お好みの角度に本機を傾けることができます。

アンテナの接続

接続を始める前に

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

◉ 地上アナログ/デジタル放送を見るときの基本接続

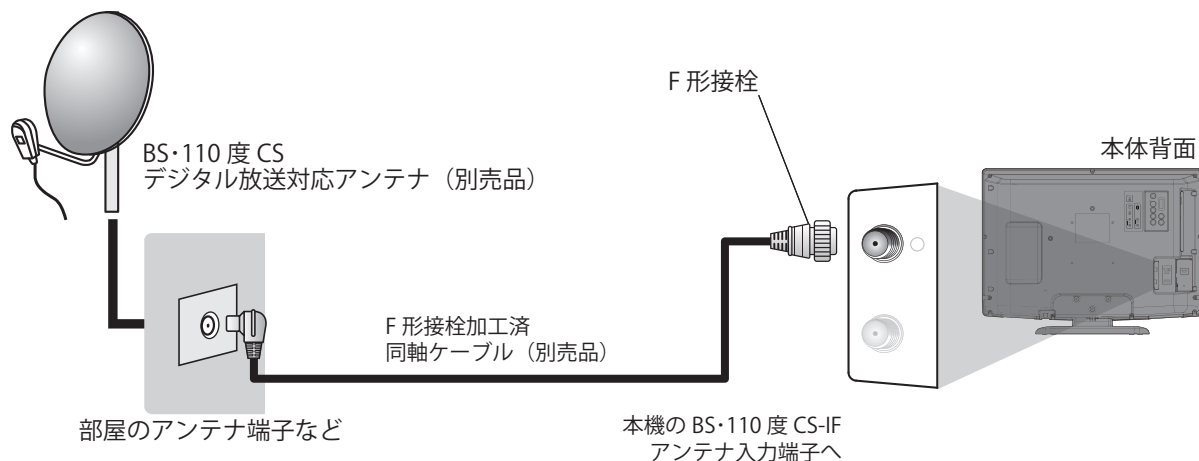
本機は地上アナログ/デジタル混合入力となっております。状況にあわせてアンテナケーブルを混合し、本機と接続してください。
UHFアンテナが設置されている場合は地上デジタル放送が受信できる場合もありますが、UHFアンテナの方向調整や取り換え、新設が必要になる場合もあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

アンテナを接続し、最初に本機の電源を入れると、「かんたん設定」画面が表示されます。設定を行うと、地上デジタル放送、地上アナログ放送の番組をご覧いただけます。（参照 28～29ページ）

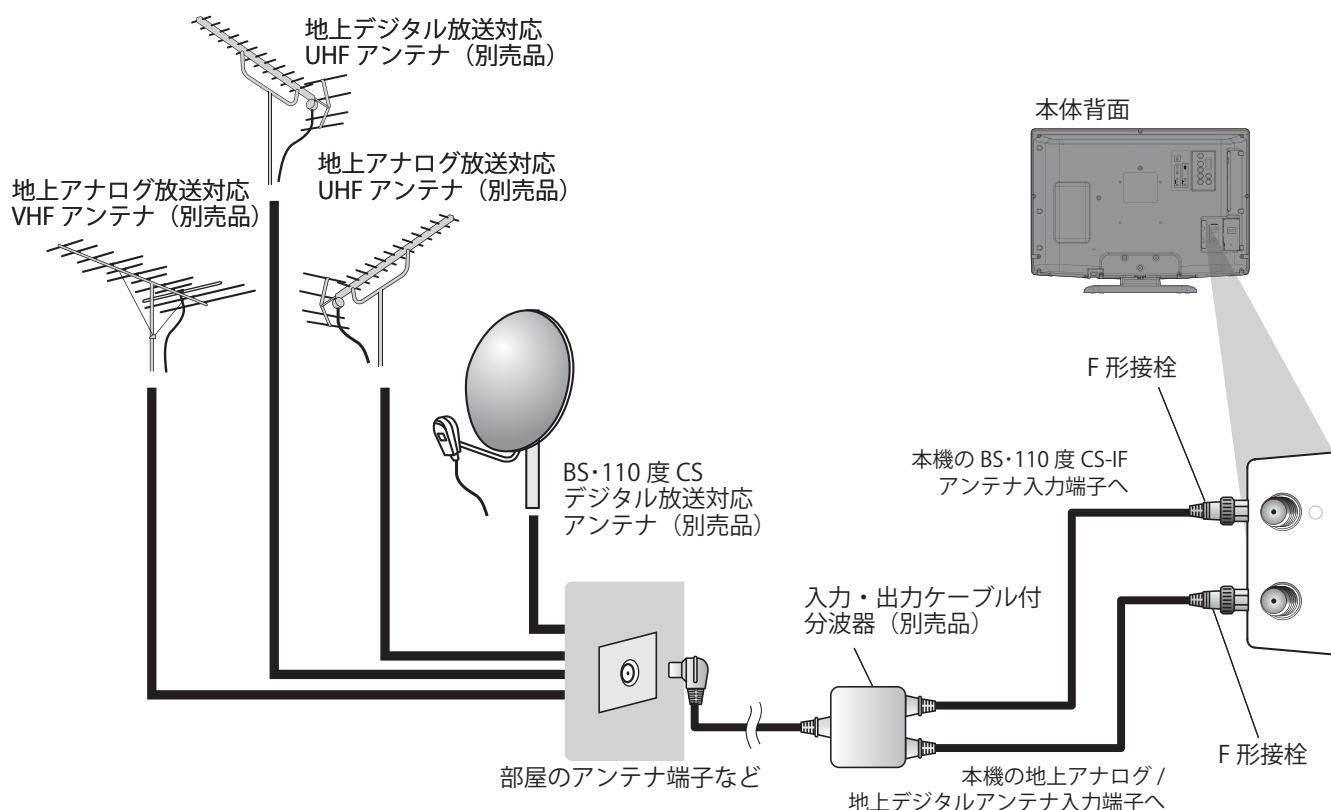
Point

- 地上デジタル放送は、今まで使用してきた地上アナログのUHFアンテナで視聴できる場合もありますが、地域によってはアンテナの取り換えや方向の変更、ブースターの追加などが必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 地上デジタル放送が開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため、受信エリアが限定されます。
- 受信するためには、地上デジタルの送信局に向けてアンテナを設置する必要があります。
- 専用のUHFアンテナやデジタル対応のブースター、混合器などが必要になる場合があります。
- 受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。

地上デジタル放送について

- **チャンネルが変更になると**
  本機では、地上デジタル放送の電波の送出が変更される情報（新規の開局など）を電波を通して受信すると、お知らせのメールが発行されます。この場合は、メールを確認して（参照 86～87ページ）地上デジタル受信チャンネルの再設定をしてください。
- **3桁チャンネル番号と代表チャンネル**
  地上デジタル放送では、1つの放送局で、複数チャンネルの放送が可能です。
  例えば、ある放送局が□□1～□□3の3つのチャンネルで放送する場合、この□□1、□□2、□□3を3桁チャンネル番号、下一桁が「1」のチャンネルを代表チャンネルと呼びます。
- **チャンネル設定について**
  本機は 1 つの放送局で複数の放送がある場合、代表チャンネルをリモコンボタンに設定します。
  代表チャンネル以外のチャンネルは、3桁入力チャンネル番号入力で選局できます。また、お好みに合わせて登録を入れ替えることで順送り選局ボタンでの選局が可能となります。「地上デジタルのチャンネル設定」（参照 32～37ページ）
- **ケーブルテレビ（CATV）で受信される場合**
  ケーブルテレビ（CATV）などでUHF帯以外で受信される場合、ケーブルテレビ局によっては、地上デジタル放送をVHF帯などに変換して送出している可能性があります。VHF帯などは、放送の電波としては現在地上アナログ放送で使用されておりますが、2011年7月に地上アナログ放送は終了し、テレビ放送以外の用途に使用されることが国の方針で決定されています。UHF帯以外で地上デジタル放送の受信を継続される場合に受信障害が発生する可能性があります。

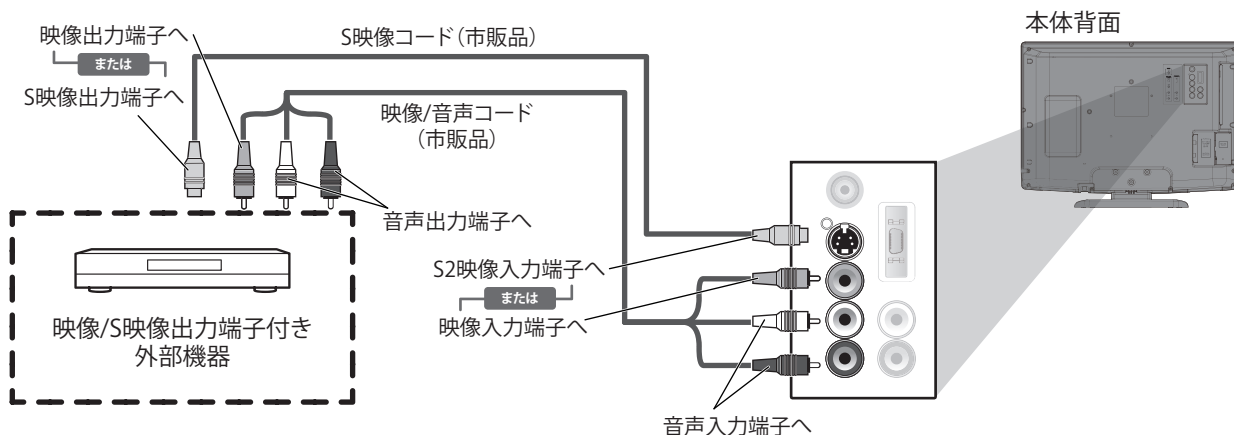
◉ BS・110度CSデジタル放送を見るときの基本接続

BS・110度CSのアンテナに接続されるのが本機のみの場合は、アンテナの電源設定を行う必要があります。（参照 38〜39ページ）

◉ VHF/UHFアンテナとBS・110度CSアンテナが混合入力されているときの基本接続

Point

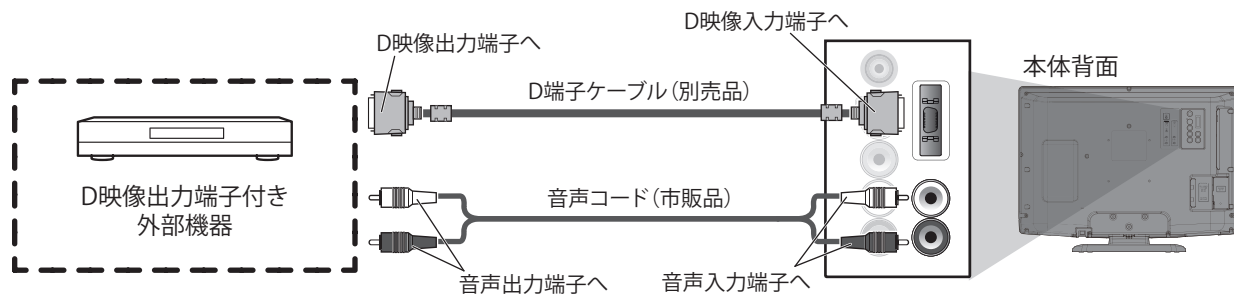
- 市販のアンテナ整合器をご使用の場合は、右記イラストを参考にリード線をカットしてください。
- アンテナの設置方法についてはアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- BS・110度CSデジタル放送を視聴するときは、専用のアンテナをご使用ください。
- BS・110度CSデジタル放送アンテナに常時電源を供給するときは、「電源供給」を「入」にしてください。（参照 38〜39ページ）「連動」にして「高速起動設定」が「切」のときは電源の「入/切」にアンテナ電源供給が連動して「入/切」します。
- F形接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。締めつけ過ぎると本機内部が破損する場合があります。
- 電波が強すぎて映像が不安定になったり、映像や音声が妨害される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

外部機器の接続

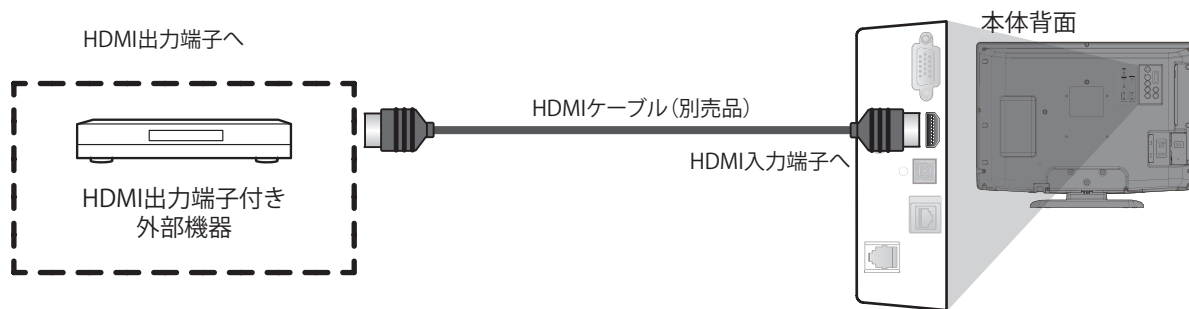
- 接続は本機および各機器の電源プラグを抜いた状態で行なってください。

映像/S映像出力端子付き外部機器との接続例

Point

- 再生機器にS映像端子がある場合、S映像コードを接続すると、映像端子からの映像よりも色にじみが少ない高画質な画像が再生できます。
- 映像入力端子とS2映像入力端子の両方が接続されている場合、S2映像入力端子からの映像が優先されます。
- S2映像入力端子に接続するときは、音声入力端子にも音声コードを接続してください。

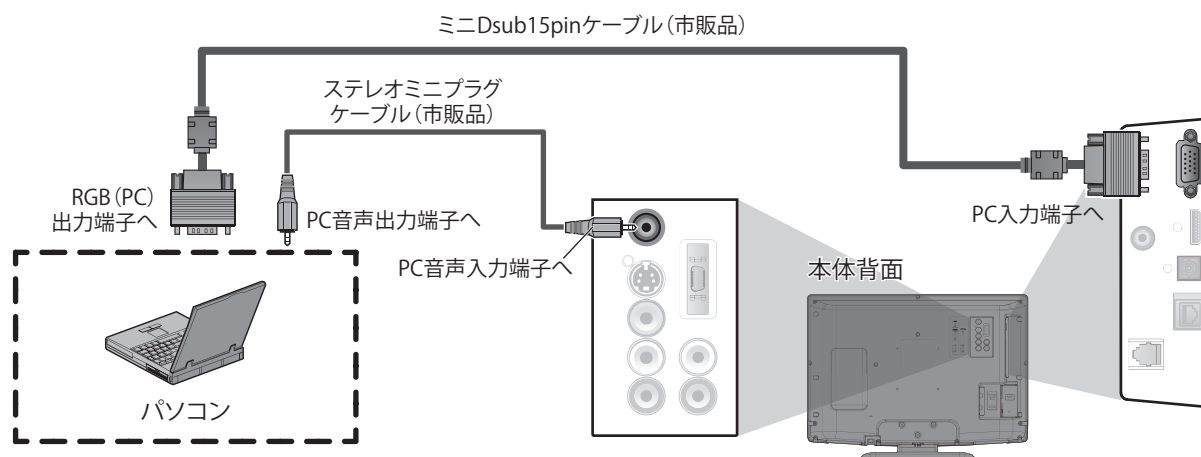
D映像出力端子付き外部機器との接続例

Point

- 本機のD映像入力端子は、D1（480i）、D2（480p）、D3（1080i）、D4（720p）の映像信号に対応しています。
対応映像信号以外の場合は、正しく表示されません。

HDMI出力端子付き外部機器との接続例

Point

- HDMI入力端子を接続する場合のご不明な点は、接続する機器のメーカーにもお問い合わせください。
- 接続する機器によっては、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。この場合はほかの映像入力端子をご利用ください。
- 市販のHDMIケーブルを接続する場合、コネクター部の大きさや形状によっては接続できない場合もあります。
- HDMI出力端子付き外部機器との接続において、映像データがRGBデータの場合、フルレンジで正しい色が出力されます。
- 本機のHDMI入力端子は、480i、480p、1080i、720pの映像信号に対応しています。
  対応映像信号以外の場合は、正しく表示されません。

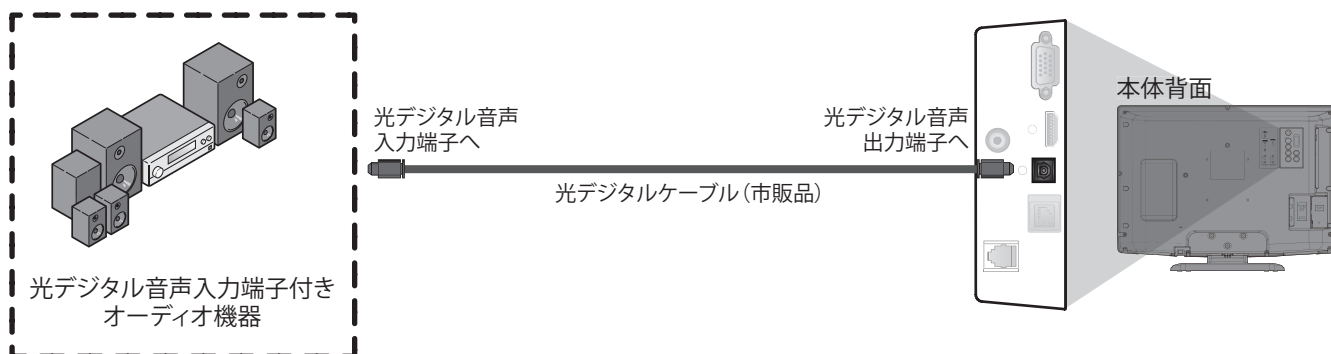
パソコンとの接続例

- パソコンと接続する前に、パソコン側の垂直周波数（リフレッシュレート）が60Hzと、対応解像度になっているか確認した上で本機と接続し、あらかじめ本機の電源を入れた状態でパソコンの電源を入れてください。

Point

- パソコンに接続する場合のご不明な点は、接続するパソコンのメーカーにもお問い合わせください。
- パソコン側のモニタ設定を本機が対応している入力信号に設定してください。詳しくは、「PC入力対応表」（参照 76ページ）をご覧ください。
- 接続機器によっては、正常に映像が出力されない場合があります。

オーディオ機器の接続

- ◆ 接続は本機および各機器の電源プラグを抜いた状態で行なってください。

光デジタルケーブル対応オーディオ機器の接続

Point

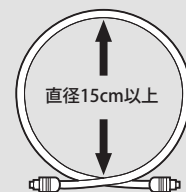
光デジタル音声出力端子について

- ◆ 光デジタル音声出力端子は、電気信号を光信号に変換してアンプへと送ります。このような光信号による通信は、外界の電気的影響を受けにくく、またほかの外部装置に悪影響を及ぼす恐れも少なくなります。

光デジタルケーブルについて

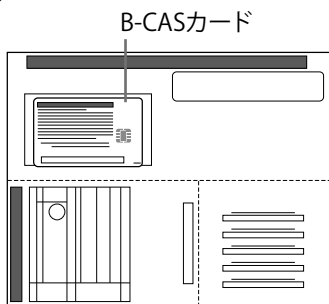
- ◆ 光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。保管する際には、直径が15cm以上になるように巻いてください。
  ケーブルを接続するときには、しっかり奥まで差し込んでください。
  長さは3m以下のものを使用してください。
  プラグにほこりがある場合には、柔らかい布でふいてから接続してください。

- ◆ AAC対応のオーディオ機器を接続した場合は、「デジタル音声出力」の設定が必要です。（参照 78～79ページ）

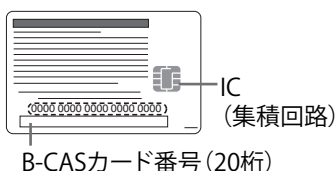
- ◆ 光デジタル音声出力端子からは、デジタル放送の音声とHDMI入力の音声が出力されます。ただし、HDMI入力の音声はHDMI端子からリニアPCMの音声信号が入力されているときだけ出力されます。

B-CASカードの挿入

◉ B-CASカードについて

デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月から原則として録画制限のコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。
地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送を受信する場合は、B-CASカードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ、本機に挿入してください。地上アナログ放送のみを受信している場合は、この手順は不要です。

B-CASカード（付属品）

B-CASカード

絵柄表示面

説明表示面

B-CASカード番号

- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。

Point

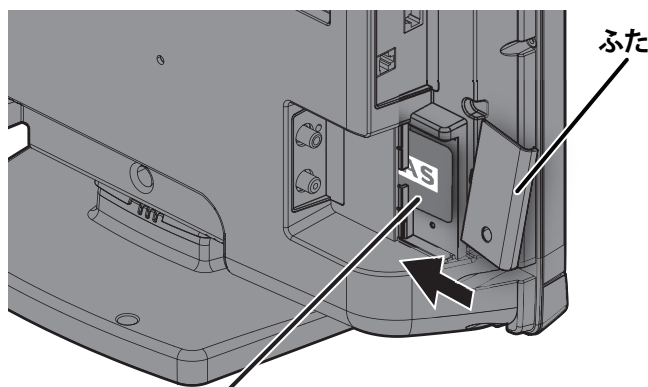
- **B-CASカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。**（参照 69、98～101ページ）
- 「B-CASカード使用許諾約款」を、よくお読みください。
- 付属のB-CASカードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちにB-CAS「（株）ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

B-CASカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させせない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

B-CASカードについてのお問い合わせは
（株）ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ
カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250　受付時間 **10:00～20:00**

B-CASカードの入れかた

地上アナログ放送やCSデジタルの無料放送などを受信する場合は、この手順は不要です。

B-CASカード挿入後
（絵柄表示面を上図のように挿入してください。
上図が正常な挿入状態となります。）

- B-CASカード挿入口のふたのねじ穴は使用いたしません。（※ねじも付属しておりません）

1 **電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認する（電源プラグを抜いた状態）**
（参照 5～7ページ）

2 **B-CASカード挿入口のふたをはずします**

- ふた上部にあるフックを指で押し下げながら手前に引いてください。

3 **B-CASカードの絵柄表示面を上にして挿入口方向に合わせ、水平に挿入する**

- B-CASカード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- B-CASカードの抜き差しは、必ず本機の電源を「切」にした状態で行なってください。本機のご使用中にB-CASカードを抜き差しすると、視聴できなくなる場合があります。

4 **B-CASカード挿入口のふたを戻します**

- ふた下部にある突起を本機の穴に差し込み、カチッと音がするまで差し込んでください。

B-CASカードを抜くとき

1 **電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認する（電源プラグを抜いた状態）**
（参照 5～7ページ）

2 **B-CASカード挿入口のふたをはずします**

- ふた上部にあるフックを指で押し下げながら手前に引いてください。

3 **ゆっくりとB-CASカードを抜く**

4 **B-CASカード挿入口のふたを戻します**

- ふた下部にある突起を本機の穴に差し込み、カチッと音がするまで差し込んでください。

電話回線の接続

◉ 電話回線と本機を接続するとき

視聴者参加型番組を楽しみたいときは、電話回線との接続が必要になる場合があります。

双方向サービス（通信）を利用する際に、電話回線接続とネットワーク接続のどちらを利用するかは、番組の内容（コンテンツ）に依存します。

例
埋め込み型プレートのとき

工事が必要

モジュラーコンセント

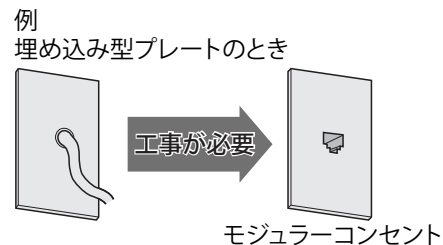
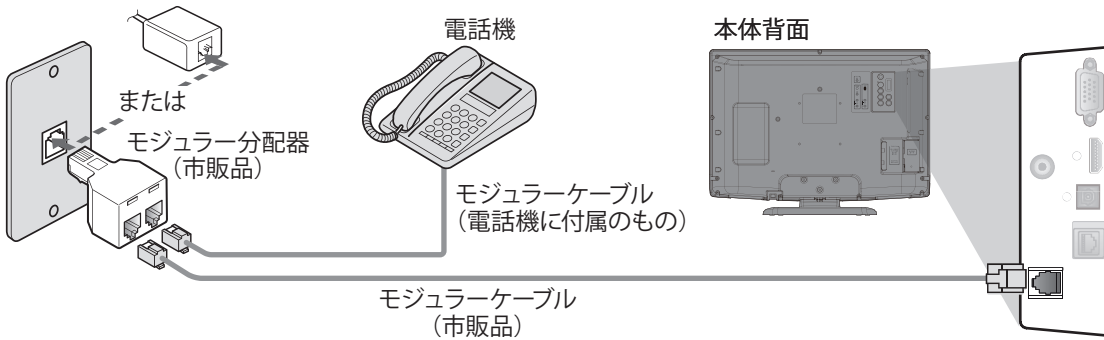
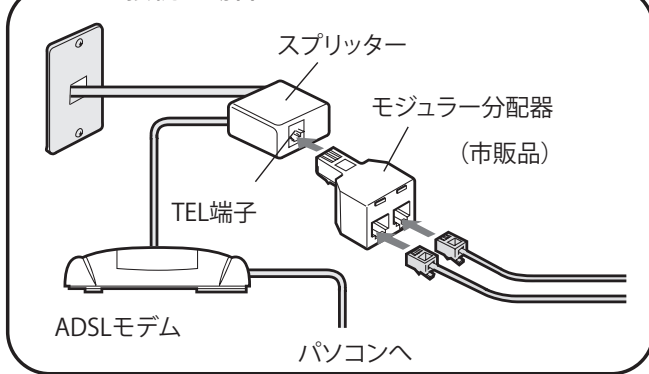
まず、電話回線コンセントを確認してください

- モジュラーコンセントでない場合は工事が必要です。（右イラスト参照）

工事をされる場合は

- 電話回線に関する工事は資格を受けた人（工事担任者）でなければできません。
  ご購入の販売店もしくはNTT（116番）など、ご契約の電話会社へご相談ください。

次の電話回線では正常に接続できません

- ISDN回線。（ISDNのターミナルアダプターにアナログポートがあれば接続できます。ただし、すべてのターミナルアダプターとの接続を保証するものではありません。）
- デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線。（左記以外でも、接続できない構内交換機があります。）
- ホームテレホンやビジネスホンが接続されている電話回線。（主装置、ターミナルボックス、ドアホンアダプターを接続している場合。）
- IP電話回線（IP電話回線の事業者がサポートしていない電話番号には発信できません）
  IP電話がサポートしている番号については、ご契約の電話会社にお問い合わせください。

電話回線との基本接続

おねがい

モジュラー分配器について

- 本機の電話回線端子に差し込まないでください。取り外せなくなる場合があります。
- 1つの電話回線に3つの機器を接続する場合は、市販の3分配用モジュラー分配器をご使用ください。

モジュラーケーブルについて

- 設置場所によっては壁に沿わせるなどして、邪魔にならないように十分配慮してください。

ISDN回線でターミナルアダプターのアナログポートに接続している場合などは、「電話回線設定」で「プッシュ」を選んでください。（参照 44～45ページ）

回線自動切換え器，自動切換え機能付きＦＡＸをご使用の場合

- 回線自動切換え器をご使用の場合、接続できない場合があります。回線自動切換え器の供給電圧が電話回線の仕様を満たしていない為です。この場合は、供給電圧が電話回線の仕様を満たす切換え器に交換するか、モジュラー分配器を使用して回線自動切換え器を迂回(並列接続)してください。
- FAXなどにも回線自動切換え機能を内蔵しているものがあります。本機(TV)で接続に失敗する場合はモジュラー分配器を使用して、FAXを迂回(並列接続)してください。
- FAXと本機(TV)を並列接続した場合、同時に動作すると本機からの信号でFAXが誤動作することがあります。

Point

- 電話用のモジュラーケーブルを、LAN端子に挿入しないでください。電話機が使えなくなったり、本機の故障の原因となります。
- 双方向サービス(通信)を利用しない場合は、電話回線との接続は不要です。

ネットワーク接続

ネットワーク接続は、データ放送の双方向サービス（通信）を利用する場合に必要です。
本章では、ADSLや光ファイバーなどのブロードバンド環境をすでにお持ちであることを前提に説明しています。

回線業者やプロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。

- ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、ケーブルなどは、回線業者やプロバイダーとの契約をご確認の上、指定された製品を使って、接続や設定を行なってください。
- お使いのADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。
  パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- USB接続のADSLモデムなどをお使いの場合は、ADSL事業者にご相談ください。

※ブロードバンド環境をお持ちでないお客様は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ADSL モデム
本機やパソコンなどを、ADSL回線などと接続する機能を持った機器です。
ブロードバンドルーター機能があるものとないものがあります。

ハブ
複数の機器をネットワークに接続するための機器です。

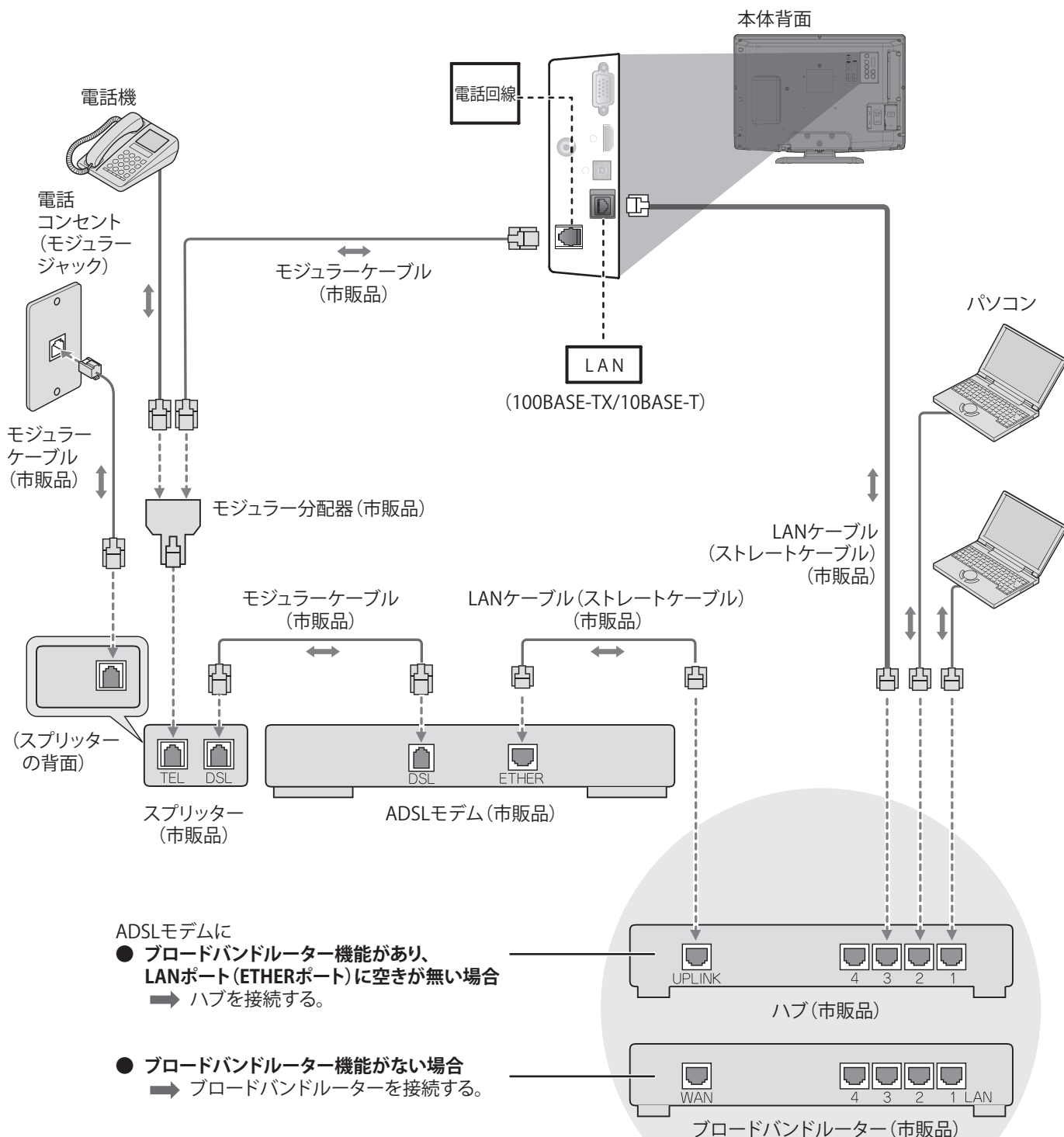
ブロードバンドルーター
複数台の機器を同時にインターネットに接続するためのネットワーク機器です。
ルーターの接続や設定の詳細は、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

スプリッター
電話回線のネットワーク用の信号と電話用の信号を分ける機器です。

Point

- 契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
- 双方向サービス(通信)を利用しない場合、接続は不要です。

必要な機器を接続する
（接続例）

- 詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

※上の図は一般的な接続例です。ADSLモデムやハブ、ルーターによっては、クロスケーブルを使用することがあります。インターネットプロバイダーにお問い合せになるか、それらの機器の取扱説明書をご覧ください。

接続後は、必ず「LAN設定」（参照 50～55ページ）**を行なってください。**

かんたん設定

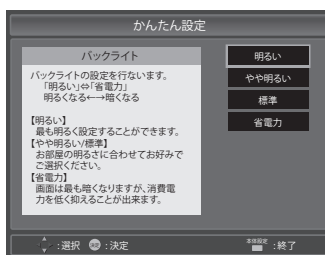
- アンテナの接続はお済みですか？（参照 18〜19ページ）
- B-CASカードは挿入されていますか？（参照 23ページ）
- リモコンの電池は入っていますか？（参照 10ページ）

ご購入後初めて電源を入れたときは

画面の指示にしたがって、「かんたん設定」を行なってください。

「電源」を押して電源を入れる

本製品は省エネルギーでの設定を優先しているため、お買い上げの時の設定は「高速起動設定」を「切」にしておりますので電源を入れてから画面表示まで約12秒程度かかります。
（待機時の電力は「0.2 W」に軽減されます。）
「高速起動設定」を「入」にした場合、電源を入れると約2秒で画面表示しますが、待機時の電力は「15 W」消費されます。
設定方法の詳細については、「高速起動設定」（参照 42ページ）をご覧ください。

電源

引っ越しなどで「かんたん設定」をやり直したいときは
「本体設定」から再度「かんたん設定」を行なってください。

1 「本体設定」を押す

本体設定

2 「初期設定」を選び、「決定」を押す

3 「かんたん設定」を選び、「決定」を押す

画面全体の明るさを設定する

バックライト

地域の情報を受信するために

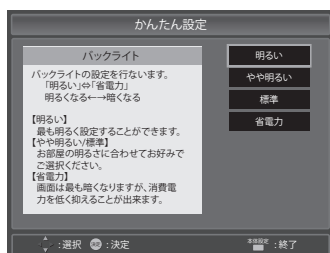
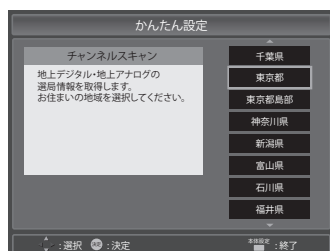
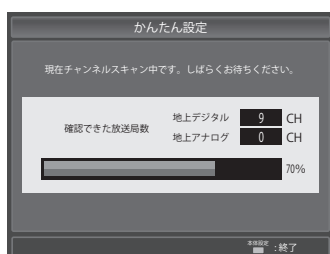
お住まいの地域を選択する

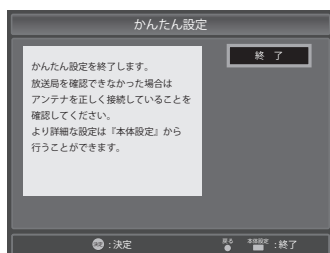
地域設定

お住まいの地域の受信チャンネルを設定する（地上デジタル/地上アナログ放送）

チャンネルスキャン

「かんたん設定」を終了する

1 「明るい」、「やや明るい」、「標準」または「省電力」を選び、「決定」を押す

2 お住まいの地域を選択し、「決定」を押す

3 自動的にチャンネルスキャンが開始されます

- ◆ お住まいの地域で受信できる地上デジタル/地上アナログ放送のチャンネルをスキャンしますので、しばらくお待ちください。（チャンネルスキャン）
- ◆ 受信される地域によっては、チャンネルスキャンが終了するまで10分程度かかる場合があります。
- ◆ VHF帯などは、現在地上アナログ放送で使用されておりますが、2011年7月に地上アナログ放送は終了し、テレビ放送以外の用途に使用されることが国の方針で決定されています。UHF帯以外で地上デジタル放送の受信を継続される場合に受信障害が発生する可能性があります。

4 「決定」を押して、終了する

- ◆ 「かんたん設定」終了後には地上デジタル放送の最小チャンネルが表示されます。地上デジタル放送の受信ができなかった場合、地上アナログ放送の最小チャンネルが表示されます。

放送をご覧になる場合は、「視聴を楽しむ」（参照 56～61ページ）**をご覧ください。**

地上アナログのチャンネル設定

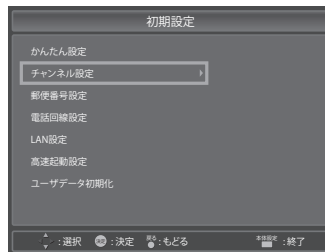
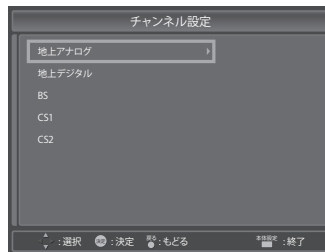
チャンネル設定について

- 地上アナログ放送のチャンネル設定を行う場合、「チャンネルスキャン」を行うと、空きチャンネルや電波の弱いチャンネルなどを飛ばすようにして自動的にチャンネルを設定できます。
- デジタル放送のチャンネル設定について（参照 32〜41ページ）
- 地上アナログのチャンネル設定では、「アンテナ強度」、「チャンネルスキップ」、「番組表設定」は選択して設定できません。
- 地上アナログの「チャンネルスキップ」は、「リモコン設定」で行います。

1 「本体設定」を押す

引っ越しなどで「かんたん設定」をやり直したいときは「本体設定」から再度「かんたん設定」を行なってください。

2 「初期設定」を選び、「決定」を押す

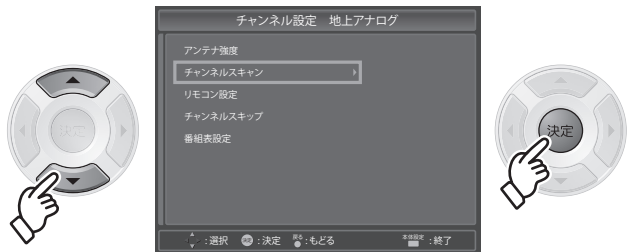
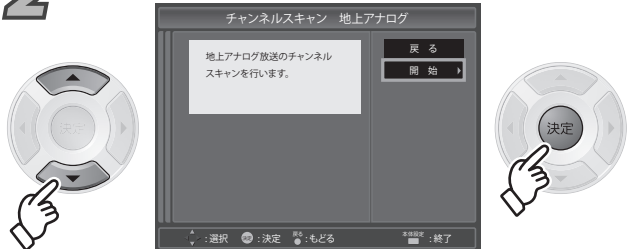
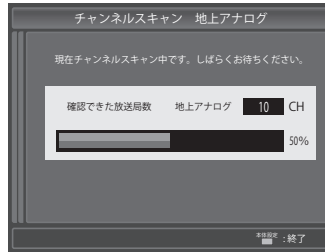
3 「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す

4 「地上アナログ」を選び、「決定」を押す

自動でチャンネルを設定する

チャンネルスキャン

リモコンの数字ボタンに割り当てられた

地上アナログのチャンネルを変える

リモコン設定

1 「チャンネルスキャン」を選び、「決定」を押す

2 「開始」を選び、「決定」を押す

3 自動的にチャンネルスキャンが開始されます

- 自動でチャンネル設定が行われます。
- この操作は時間がかかる場合があります。

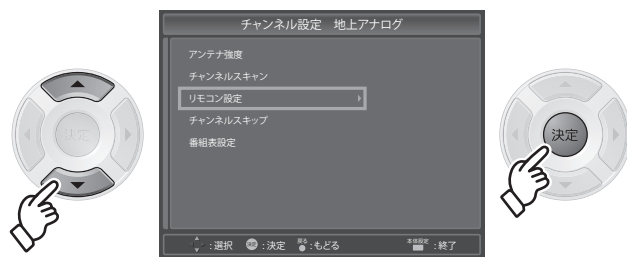
4 受信チャンネルを画面で確認し、「終了」を選び「決定」を押す

- 一画面には12行分の情報しか表示されませんので、画面上の「次へ」または「前へ」で 決定 を押し、確認を行なってください。

---

1 「リモコン設定」を選び、「決定」を押す

2 変えたい「CH」に合わせ、「決定」を押す

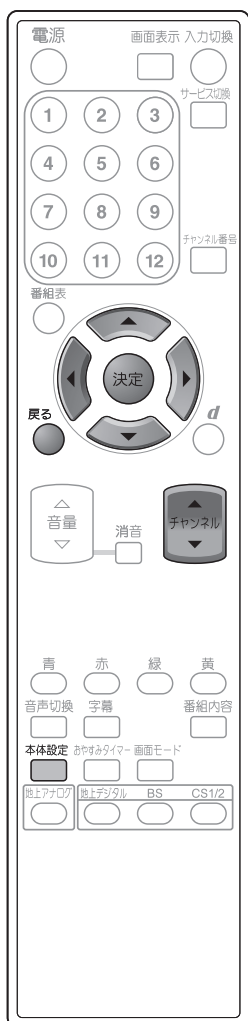
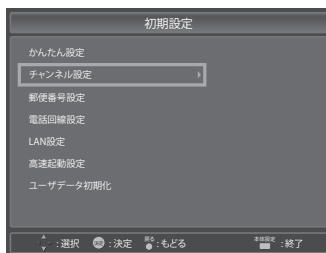
- 「CH」の1〜12は、リモコンのワンタッチボタン選局に対応します。

3 「受信CH」のチャンネル番号を変更し、「決定」を押す

- 「表示CH」(番組バナーに表示されるチャンネル番号)を変更するには、手順3で 決定 を押したあと、「表示CH」に移動するのでカーソルボタン▲/▼で変更し、決定 を押してください。
- チャンネルを順送りする際に、特定チャンネルをスキップさせるには、「スキップ」に移動して、カーソルボタン▲/▼で「入」に変更してください。

(戻る で1つ前の画面、 本体設定 でテレビ放送の画面に戻る)

地上デジタルのチャンネル設定

チャンネル設定について

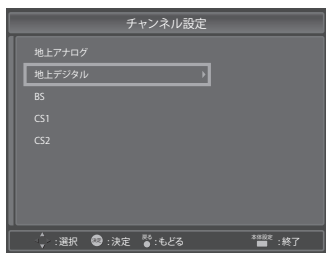
- 地上デジタルは「かんたん設定」でいくつかのチャンネルが自動的に設定されていますが、お好みに合わせて変更することもできます。
- リモコン設定の「CH」1〜12に登録したチャンネルはリモコンの数字ボタン1〜12で選局できます。
- 普段よくご覧になるチャンネルは、リモコンの数字ボタンに登録すると便利です。

1 「本体設定」を押す

2 「初期設定」を選び、「決定」を押す

3 「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す

4 「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

Point

- 「かんたん設定」または「チャンネルスキャン」を行わないと「リモコン設定」、「チャンネルスキップ」は行えません。

地上（UHF）アンテナが個別のとき
アンテナのレベルを最大にする

アンテナ強度

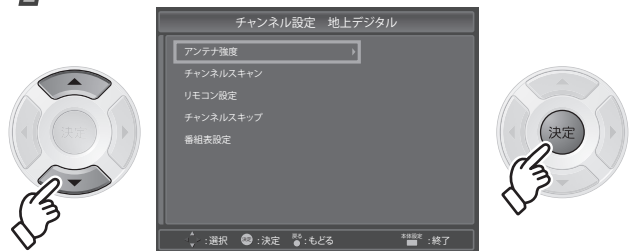
- 共同アンテナのときは不要。

リモコンの数字ボタンに割り当てられた
地上デジタルのチャンネルを変える

リモコン設定

チャンネルUP/DOWN選局時に、スキップするチャンネルを設定する

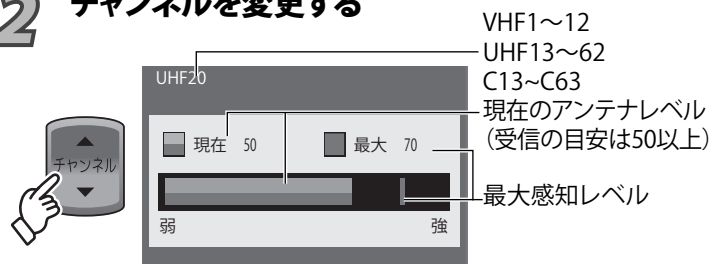
チャンネルスキップ

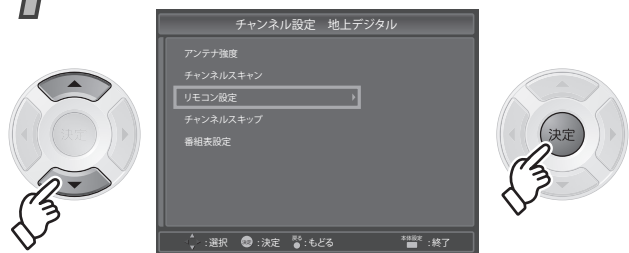
1 「アンテナ強度」を選び、「決定」を押す

2 チャンネルを変更する

3 アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

- アンテナレベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。

アンテナレベルについて

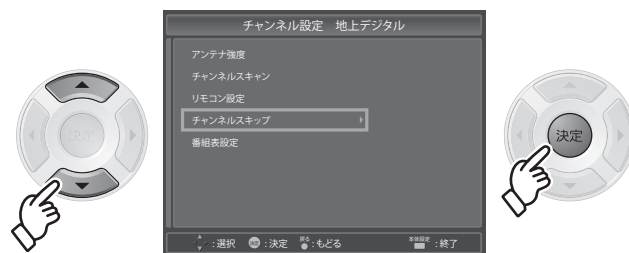
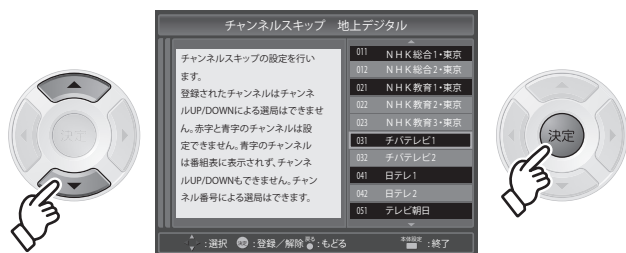
- アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。

（戻る で1つ前の画面に戻る）

1 「リモコン設定」を選び、「決定」を押す

2 変えたい「CH」に合わせ、「決定」を押す

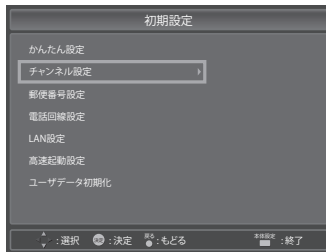
- 「CH」の1～12は、リモコンの数字ボタン1～12を表します。

3 「受信CH」のチャンネル番号を変更し、「決定」を押す

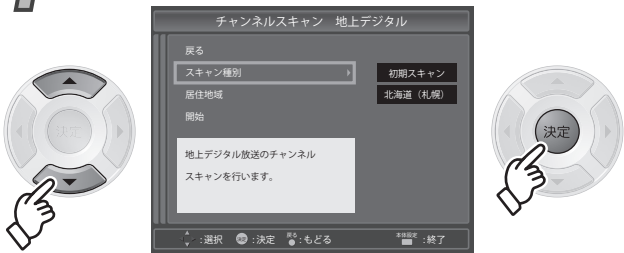
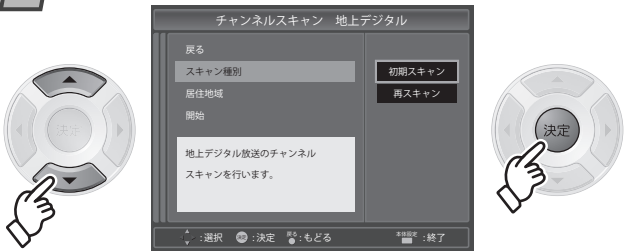
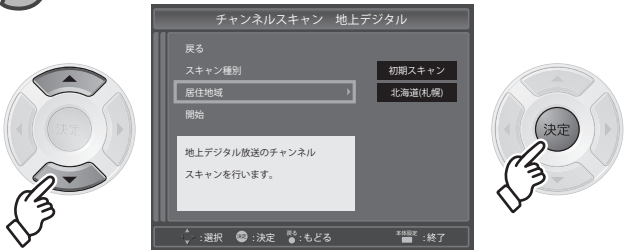
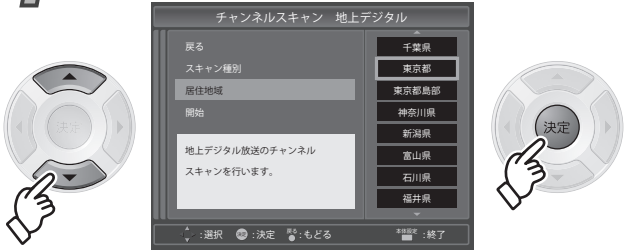
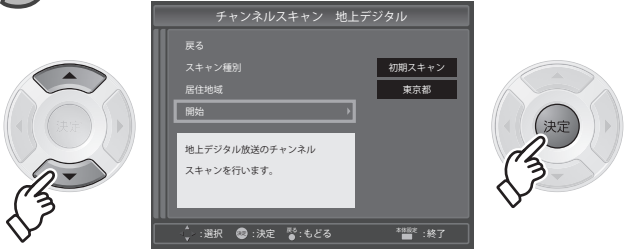
（戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る）

1 「チャンネルスキップ」を選び、「決定」を押す

2 スキップ設定を行いたいチャンネルを選び、「決定」を押す

- 赤字チャンネルはスキップ登録できません。また、青字チャンネルはスキップ解除できません。
- に登録されたチャンネルは、チャンネルUP/DOWN選局時にスキップされます。

（戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る）

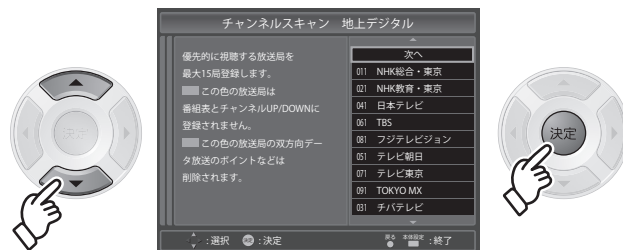
地上デジタルのチャンネル設定(つづき)

引っ越しなどで
受信地域が変わって
再設定したいとき
改めて自動で受信設定する

初期スキャン

1 「スキャン種別」を選び、「決定」を押す

2 「初期スキャン」を選び、「決定」を押す

3 「居住地域」を選び、「決定」を押す

4 お住まいの地域を選び、「決定」を押す

5 「開始」を選び、「決定」を押す

- 10分程度かかる場合があります。
- スキャン中に取得した放送局数と実際に選局できる放送局数は異なる場合があります。

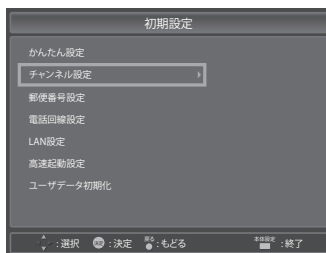
6

チャンネルスキャン終了後に「視聴可能な放送局が16局以上受信」または「ポイントが貯まっている放送局が視聴不可」の場合、優先放送局の設定画面が表示されます。

優先的に視聴する放送局を選んだあと、「次へ」を選び、「決定」を押す

- データ放送のポイントが貯まっている放送局が視聴不可の場合、データ放送のポイントなどは削除されます。

7 受信チャンネルを画面で確認し、「終了」を選び、「決定」を押す

- 一画面に12行分の情報しか表示されませんので、画面上の「次へ」または「前へ」で 決定 を押し、確認を行なってください。

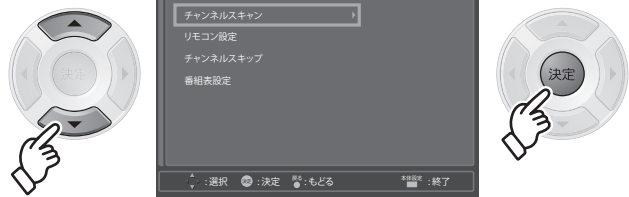
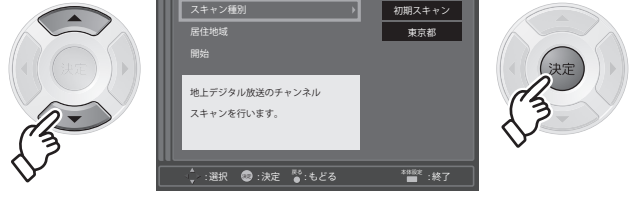
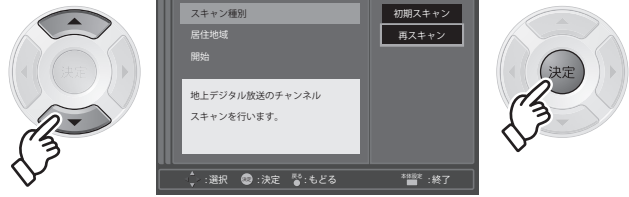
地上デジタルのチャンネル設定（つづき）

地上デジタル放送の受信状況が変わったとき

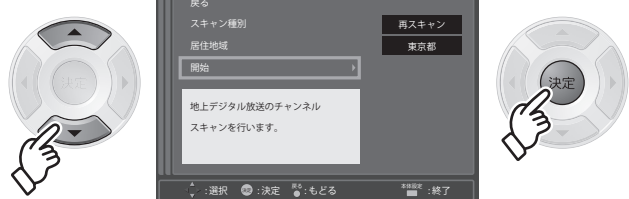
受信できる局を自動で追加する

再スキャン

番組表に表示されるチャンネルを設定する

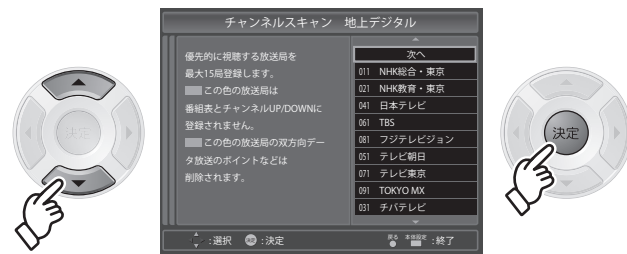
番組表設定

1 「チャンネルスキャン」を選び、「決定」を押す

2 「スキャン種別」を選び、「決定」を押す

3 「再スキャン」を選び、「決定」を押す

- 「初期スキャン」で設定した居住地域でスキャンを実施します。

4 「開始」を選び、「決定」を押す

- 10分程度かかる場合があります。
- スキャン中に取得した放送局数と実際に選局できる放送局数は異なる場合があります。

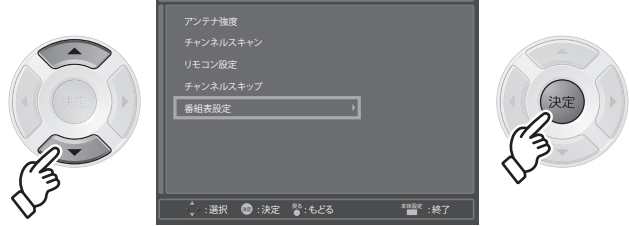
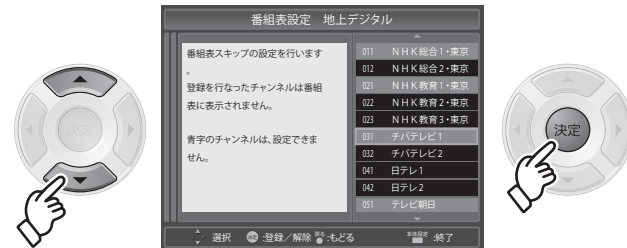
5

チャンネルスキャン終了後に「視聴可能な放送局が16局以上受信」または「ポイントが貯まっている放送局が視聴不可」の場合、優先放送局の設定画面が表示されます。

優先的に視聴する放送局を選んだあと、「次へ」を選び、「決定」を押す

- データ放送のポイントが貯まっている放送局が視聴不可の場合、データ放送のポイントなどは削除されます。

6 受信チャンネルを画面で確認し、「終了」を選び、「決定」を押す

- 一画面に12行分の情報しか表示されませんので、画面上の「次へ」または「前へ」で 決定 を押し、確認を行なってください。

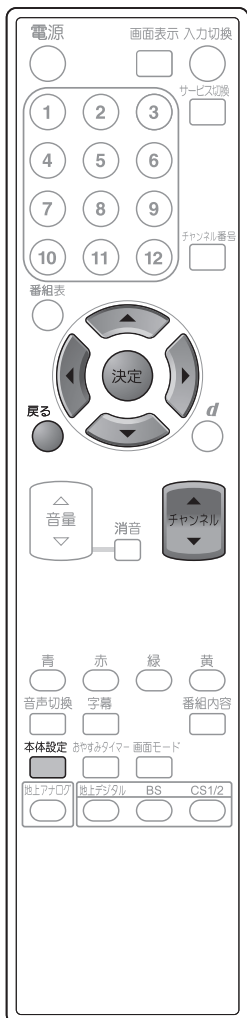
1 「番組表設定」を選び、「決定」を押す

2 スキップ設定を行いたいチャンネルを選び、「決定」を押す

- に登録されたチャンネルは、番組表に表示されません（スキップされます）。
- 青字チャンネルはスキップ解除できません。

（戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る）

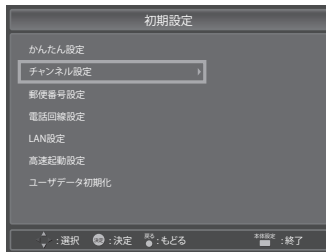
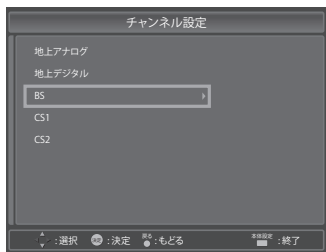
BS・CSデジタルのチャンネル設定

ここではBSで設定したときの表示画面で説明しています。

チャンネル設定について

- BS・CSデジタルはお買い上げ時にチャンネルが既に設定されていますが、お好みに合わせて変更することもできます。
- リモコン設定の「CH」1～12に登録したチャンネルはリモコンの数字ボタン1～12で選局できます。
- 普段よくご覧になるチャンネルは、リモコンの数字ボタンに登録すると便利です。
- BS・CSデジタルのチャンネル設定では、「チャンネルスキャン」は選択して設定できません。

1 「本体設定」を押す

2 「初期設定」を選び、「決定」を押す

3 「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す

4 「BS」、「CS1」または「CS2」を選び、「決定」を押す

衛星アンテナが個別のとき

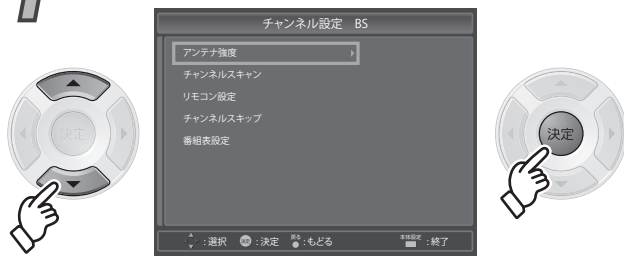
アンテナのレベルを最大にする

アンテナ強度

- 共同アンテナのときは不要です。

リモコンの数字ボタンに割り当てられた

BS・CSデジタルのチャンネルを変える

リモコン設定

1 「アンテナ強度」を選び、「決定」を押す

2 チャンネルを変更し、アンテナレベルを確認する

BS-1

BSのチャンネル

現在　50　　最大　70

弱　　強

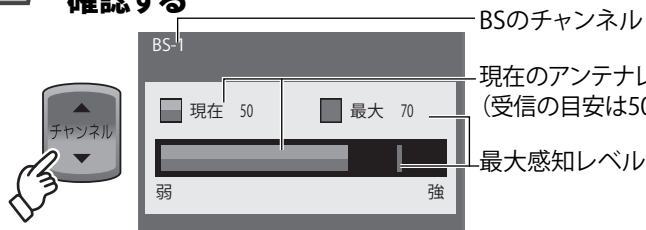
現在のアンテナレベル（受信の目安は50以上）

最大感知レベル

チャンネル

■ アンテナの「電源供給」の設定をする場合

3 「電源供給」を選び、「決定」を押す

4 「切」、「入」または「連動」を選び、「決定」を押す

- 「入」にすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を常時供給します。
- 「切」にすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給しません。
- 「連動」にすると、「高速起動設定」が「入」のときはアンテナ電源を常時供給し、「切」のときは電源の「入/切」でアンテナ電源供給が連動して「入/切」します。

5 アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

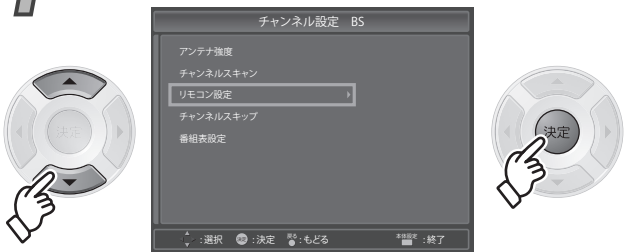
- アンテナレベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。

アンテナレベルについて

- アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。

（戻る で1つ前の画面に戻る）

---

1 「リモコン設定」を選び、「決定」を押す

2 変えたい「CH」に合わせ、「決定」を押す

- 「CH」の1～12は、リモコンの数字ボタン1～12を表します。

3 「受信CH」のチャンネル番号を変更し、「決定」を押す

（戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る）

BS・CSデジタルのチャンネル設定（つづき）

ここではBSで設定したときの表示画面で説明しています。

1 「本体設定」を押す

2 「初期設定」を選び、「決定」を押す

3 「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す

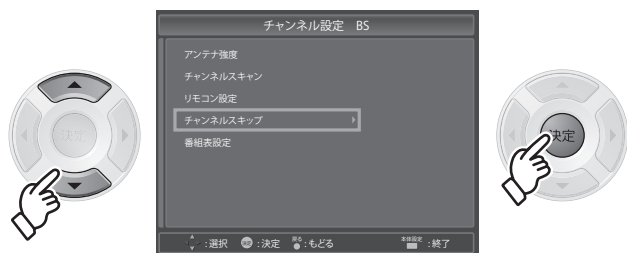
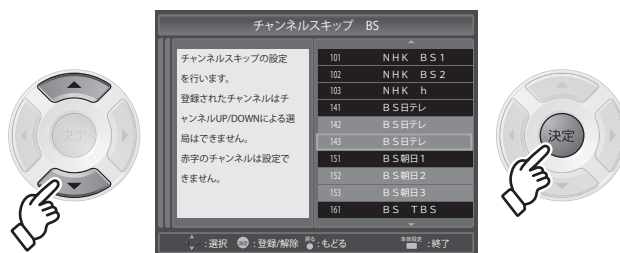
4 「BS」、「CS1」または「CS2」を選び、「決定」を押す

チャンネルUP/DOWN選局時にスキップするチャンネルを設定する

チャンネルスキップ

番組表に表示されるチャンネルを設定する

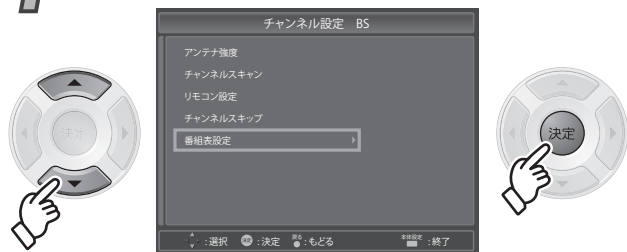
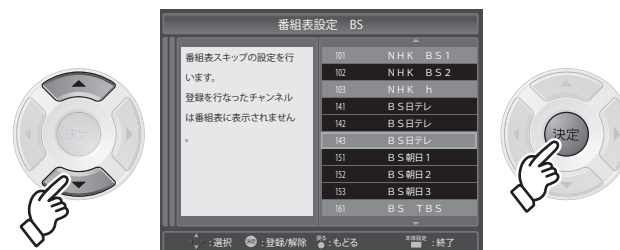
番組表設定

1 「チャンネルスキップ」を選び、「決定」を押す

2 スキップ設定を行いたいチャンネルを選び、「決定」を押す

◆ 赤字チャンネルはスキップ登録できません。

◆ に登録されたチャンネルは、チャンネルUP/DOWN選局時にスキップされます。

（戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る）

---

1 「番組表設定」を選び、「決定」を押す

2 スキップ設定を行いたいチャンネルを選び、「決定」を押す

◆ に登録されたチャンネルは、番組表に表示されません（スキップされます）。

（戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る）

郵便番号設定/高速起動設定/ユーザデー

郵便番号設定
- データ放送でお住まいの地域の情報を受信するための設定です。

高速起動設定
（お買い上げ時：切）
- 「入」に設定すると、本機の電源「入」時に速く起動します。
- 「切」に設定すると、本機の電源「切」時に消費電力をおさえることができます。

ユーザデータ初期化
- 本機内のユーザデータを初期化します。

1 「本体設定」を押す

2 「初期設定」を選び、「決定」を押す

Point
- 「高速起動設定」を「入」にした場合、電源を入れると約2秒で画面表示しますが、待機時の電力は「15W」消費されます。
- 「高速起動設定」を「切」にした場合、待機時の電力は「0.2W」に軽減されますが、本機の電源を入れるたびに画面表示まで約12秒程度かかります。

データ放送でお住まいの地域の情報を受信するために
郵便番号を設定する

郵便番号設定

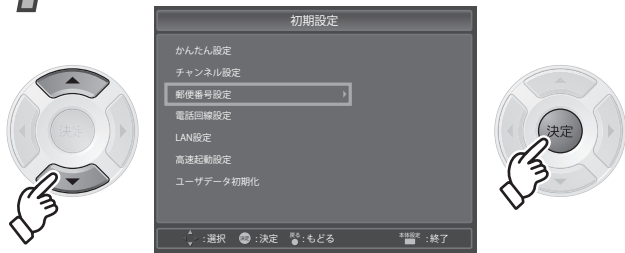
速く起動するように設定する

高速起動設定

本機を廃棄や譲渡されるとき

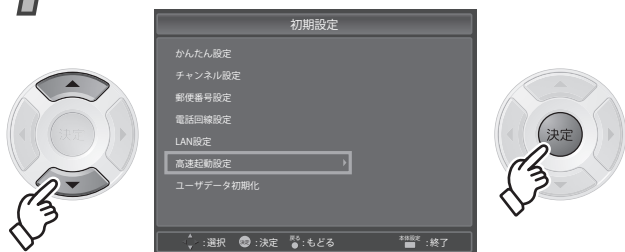
ユーザデータ初期化

タ初期化

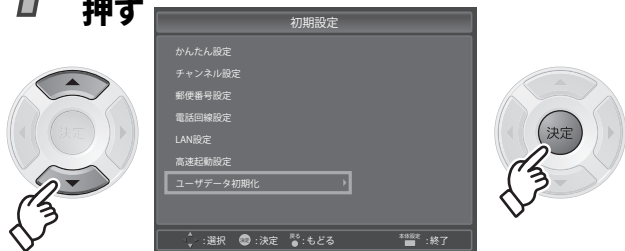
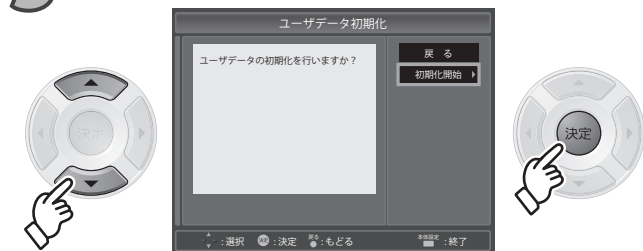
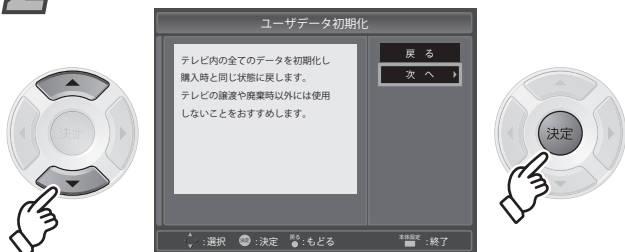
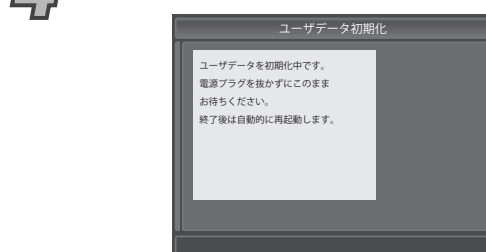
1 「郵便番号設定」を選び、「決定」を押す

2 郵便番号を7桁入力し、「決定」を押す

- カーソルボタン ◀ を押すと1桁削除されます。

（ で1つ前の画面、 でテレビ放送の画面に戻る）

1 「高速起動設定」を選び、「決定」を押す

2 「入」または「切」を選び、「決定」を押す

廃棄や譲渡などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

1 「ユーザデータ初期化」を選び、「決定」を押す

3 「初期化開始」を選び、「決定」を押す

2 「次へ」を選び、「決定」を押す

4 初期化画面が表示されます

- 初期化画面が表示されている間は、すべてのキー操作が無効です。
- 初期化が終了すると、自動的に再起動します。
- 本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）が、すべて消去されます。

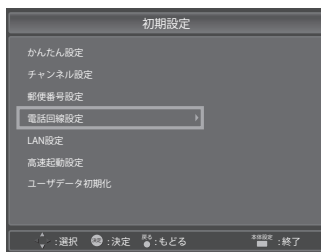
（戻る で1つ前の画面、 でテレビ放送の画面に戻る）

電話回線設定

- 電話回線の接続はお済みですか？
（参照 24ページ）
- 会員登録など、視聴者から情報を送信する場合(双方向番組)などで、電話回線の接続が必要になる場合があります。
- 電話回線接続とLAN接続のどちらを利用するかは、番組の内容（コンテンツ）に依存します。
- 視聴者から情報を送信しない場合は、電話回線の接続と電話回線設定は不要です。

1 「本体設定」を押す

2 「初期設定」を選び、「決定」を押す

3 「電話回線設定」を選び、「決定」を押す

電話回線を設定する

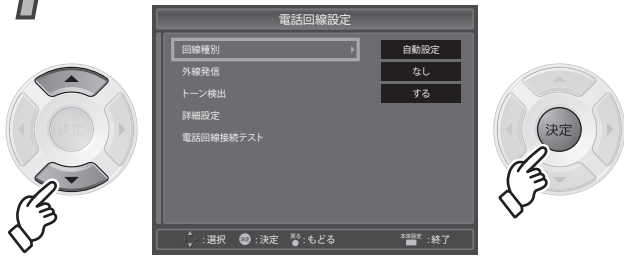
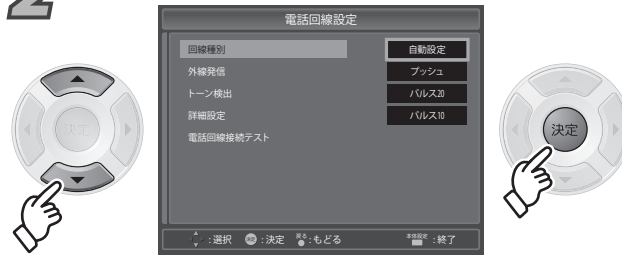
回線種別

外線使用時に
0発信などが必要な電話のとき

外線発信

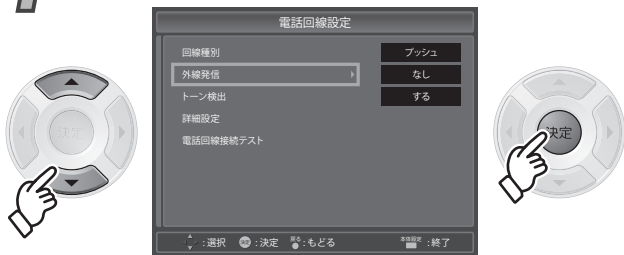
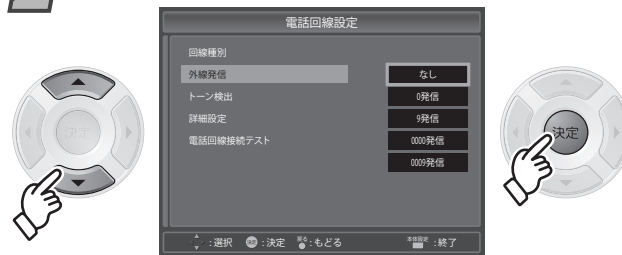
トーン検出を設定する

トーン検出

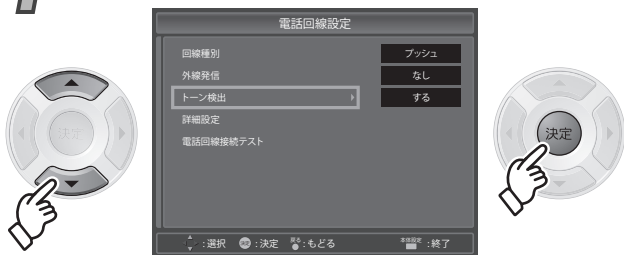
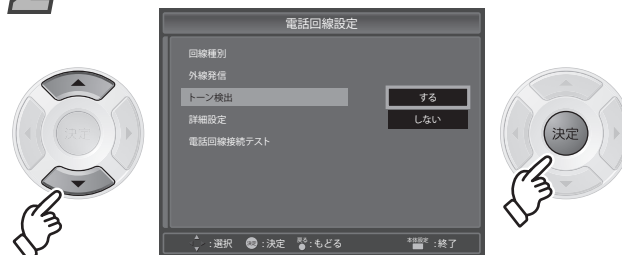
1 「回線種別」を選び、「決定」を押す

2 設定したい項目を選び、「決定」を押す

- **「自動設定」(推奨) → プッシュ回線かパルス回線かを本機が自動的に判断してダイヤルします。**
  - 「自動設定」に設定した場合、「外線発信」が「なし」に、「トーン検出」が「する」に設定されます。
    電話の受話器を持ち上げて『ツー』という連続音が聞こえない場合は、「自動設定」はできません。

  「自動設定」でうまく設定できないとき→
  - 外線発信番号が必要なときなどに、「プッシュ」もしくは「パルス20」か「パルス10」を回線種別に合わせて選択してください。
  - 回線種別が判らない場合は、ご契約の電話会社にお問い合わせください。
  - 構内交換機などを経由する場合、その取扱説明書をご確認ください。

「外線発信」を設定する場合は、先に「回線種別」を「プッシュ」か「パルス20/10」に設定してください。

1 「外線発信」を選び、「決定」を押す

2 設定したい項目を選び、「決定」を押す

- ADSLモデムなどに接続する場合で、IP電話回線とNTTの加入者回線とを切り換える事ができる場合は、「0000発信」や「0009発信」でNTTの加入者回線を選択する事をおすすめします。IP電話回線では、一部の電話番号への発信ができません。詳しくはご契約の電話会社かインターネットのプロバイダーなどIP電話のサービス窓口にお問い合わせください。
- 「回線種別」が「自動設定」のときは、「0発信」や「0000発信」などの外線発信はできません。

「トーン検出」を「しない」に設定する場合は、先に「回線種別」を「プッシュ」か「パルス20/10」に設定してください。

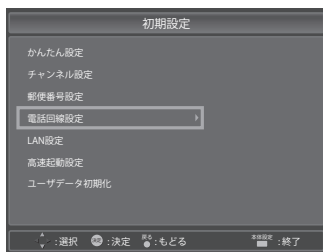
1 「トーン検出」を選び、「決定」を押す

2 設定したい項目を選び、「決定」を押す

- 回線種別が「自動設定」のときは、「トーン検出」が「する」に固定されています。
  - 通常ご使用のとき→「する」　・ 受話器を上げても『ツー』という連続音が聞こえないとき→「しない」

（戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る）

電話回線設定（つづき）

- 電話回線の接続はお済みですか？
（参照 24ページ）
- 会員登録など、視聴者から情報を送信する場合(双方向番組)などで、電話回線の接続が必要になる場合があります。
- 電話回線接続とLAN接続のどちらを利用するかは、番組の内容（コンテンツ）に依存します。
- 視聴者から情報を送信しない場合は、電話回線の接続と電話回線設定は不要です。

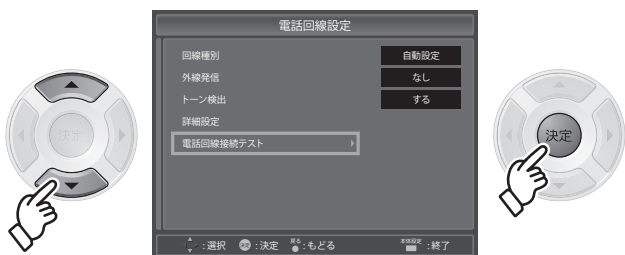
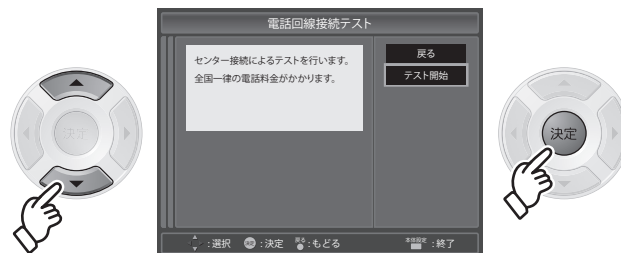
1 「本体設定」を押す

2 「初期設定」を選び、「決定」を押す

3 「電話回線設定」を選び、「決定」を押す

- 通常は、「詳細設定」の設定は不要です。

電話回線設定が正しく設定されているか確認する

電話回線接続テスト

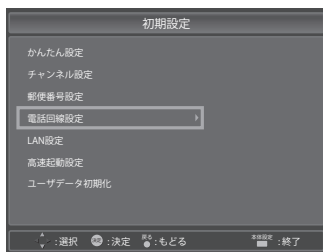
1 「電話回線接続テスト」を選び、「決定」を押す

2 「テスト開始」を選び、「決定」を押す

- 電話回線接続テストが成功の場合、「電話回線は正しく接続されています」と画面に表示されます。
- 視聴者から情報を送信しない場合は、電話回線の接続は不要です。電話回線を接続しない場合は、電話回線接続テストは失敗しますが問題ありません。

電話回線設定（つづき）

◆ 通常は、「詳細設定」の設定は不要です。

1 「本体設定」を押す

2 「初期設定」を選び、「決定」を押す

3 「電話回線設定」を選び、「決定」を押す

4 「詳細設定」を選び、「決定」を押す

◆ 通常は、「詳細設定」の設定は不要です。

相手に電話番号を通知するか決める

番号通知

1 「番号通知」で、「決定」を押す

2 設定したい項目を選び、「決定」を押す

設定なし	発信者番号の通知/非通知は、電話会社への回線毎の登録内容に基づきます。
通知	本機からのダイヤル時に、発信者番号を相手に通知します。
非通知	本機からのダイヤルは、発信者番号を非通知で行います。

LAN設定

LAN設定

- LANケーブルの接続はお済みですか？（参照 26ページ）
- データ放送の、双方向サービス（通信）を利用する際に必要になる場合があります。お買い上げ時は、一般的な自動取得などが設定されていますが、ブロードバンドの環境によっては、手動設定で変更が必要になる場合があります。**設定の変更には「設定をすぐに有効」にする必要があります。**（「設定をすぐに有効にする」（参照 52～53ページ））
- 電話回線接続とLANの接続のどちらを利用するかは、番組の内容（コンテンツ）に依存します。
- 視聴者から情報を送信しない場合は、LANの接続と設定は不要です。

1 「本体設定」を押す

本体設定

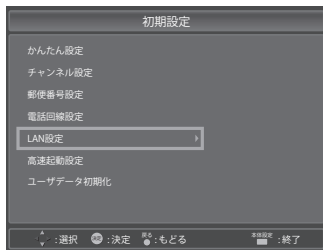
2 「初期設定」を選び、「決定」を押す

決定

画面設定
音声設定
機器設定
お知らせ
初期設定

3 「LAN設定」を選び、「決定」を押す

決定

初期設定
かんたん設定
チャンネル設定
郵便番号設定
電話回線設定
LAN設定
高速起動設定
ユーザデータ初期化
:選択 :決定 :もどる :終了

ルーターなどの仕様にしたがって
アドレスの設定を行う

IPアドレス

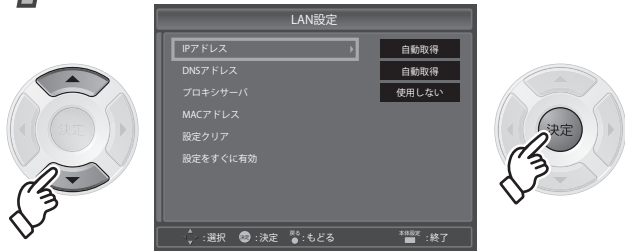
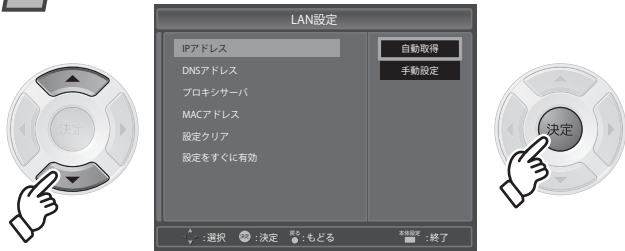
サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

- 用語解説（参照 103～104ページ）

お買い上げ時の設定のままで繋がる場合は、下記設定を行う必要はありません。

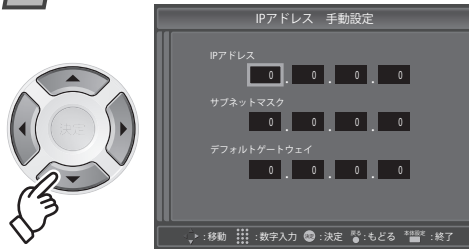
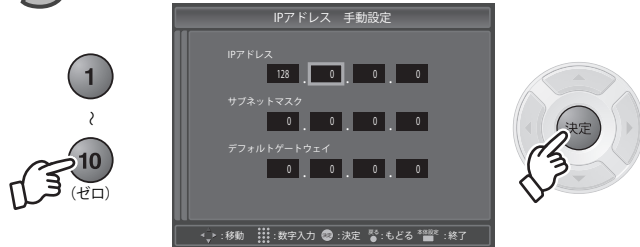
■ IPアドレス自動取得が使えるときは、「IPアドレス」で「自動取得」を選ぶ

1 「IPアドレス」を選び、「決定」を押す

2 「自動取得」を選び、「決定」を押す

Point

- **設定の変更には「設定をすぐに有効」にする必要があります。**
  （「設定をすぐに有効にする」（参照 52〜53ページ））
- ブロードバンドルーターやルーター機能付きADSLモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIP自動取得が使えます。不明な場合は設置された方に確認するか、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 手動で入力するときは

1 左記の手順2で「手動設定」を選び、「決定」を押す

2 入力したい場所へ移動する

3 数値を入力し、数値入力後「決定」を押す

- 3桁の数値が入力されるか、カーソルボタン ▶ を押すと、次の入力欄へ移動します。
- カーソルボタン ▼ を押すと、下の入力欄へ移動します。

Point

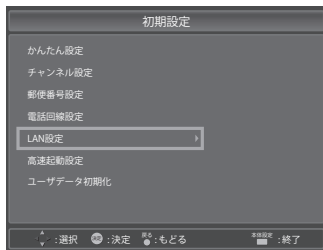
- **設定の変更には「設定をすぐに有効」にする必要があります。**
  （「設定をすぐに有効にする」（参照 52〜53ページ））

LAN設定（つづき）

LAN設定

- LANケーブルの接続はお済みですか？（参照 26ページ）
- データ放送の、双方向サービス（通信）を利用する際に必要になる場合があります。お買い上げ時は、一般的な自動取得などが設定されていますが、ブロードバンドの環境によっては、手動設定で変更が必要になる場合があります。
  設定の変更には「設定をすぐに有効」にする必要があります。
- 電話回線接続とLAN接続のどちらを利用するかは、番組の内容（コンテンツ）に依存します。
- 視聴者から情報を送信しない場合は、LANの接続と設定は不要です。

1 「本体設定」を押す

2 「初期設定」を選び、「決定」を押す

3 「LAN設定」を選び、「決定」を押す

DNSの設定を行う

プライマリ

セカンダリ

- 用語解説（参照 104ページ）

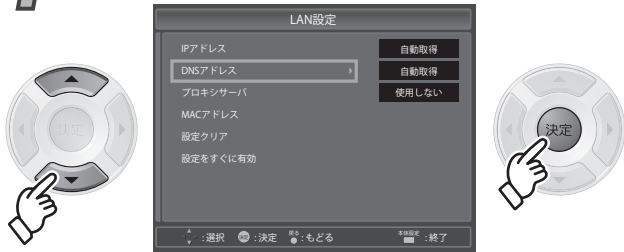
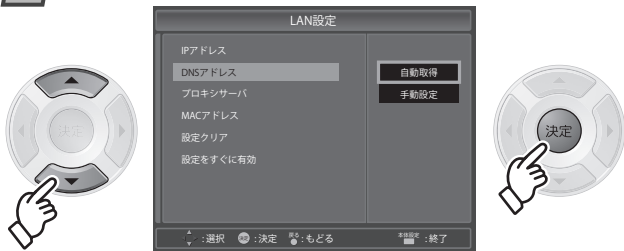
LAN設定を初期化する

設定クリア

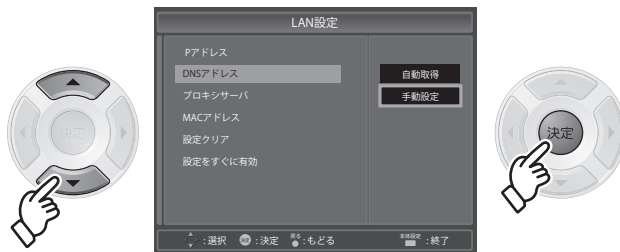
LAN設定をすぐに有効にする

設定をすぐに有効

■ DNSアドレス自動取得が使えるときは、「DNSアドレス」で「自動取得」を選ぶ

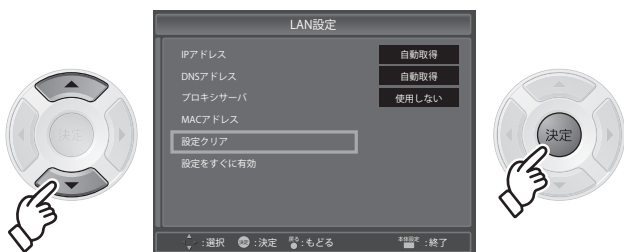
1 「DNSアドレス」を選び、「決定」を押す

2 「自動取得」を選び、「決定」を押す

◆ **設定の変更には「設定をすぐに有効」にする必要があります。**
「設定をすぐに有効」を選んで 決定 を押してください。

■ 手動で入力するときは

1 左記の手順2で「手動設定」を選び、「決定」を押す

2 入力したい場所へ移動する

3 数値を入力し、数値入力後「決定」を押す

◆ 3桁の数値が入力されるか、カーソルボタン ▶ や ▼ などを押すと、次の入力欄へ移動します。
◆ 設定の変更には「設定をすぐに有効」にする必要があります。「設定をすぐに有効」を選んで決定してください。

「設定クリア」を選び、「決定」を押す

◆ LANの設定をお買い上げ時に戻します。
IPアドレスやDNS設定が「自動取得」に設定されます。
プロキシサーバーは「使用しない」に設定されます。
◆ 画面に「設定を反映しています」とメッセージが表示され、設定が反映されます。
◆ メッセージ表示中、本機の操作はできません。
◆ この操作は時間がかかる場合があります。

（戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る）

「設定をすぐに有効」を選び、「決定」を押す

◆ 画面に「設定を反映しています」とメッセージが表示され、設定が反映されます。
◆ メッセージ表示中、本機の操作はできません。
◆ この操作は時間がかかる場合があります。

（戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る）

LAN設定(つづき)

LAN設定

- LANケーブルの接続はお済みですか?(参照 26ページ)
- データ放送の、双方向サービス(通信)を利用する際に必要になる場合があります。お買い上げ時は、一般的な自動取得などが設定されていますが、ブロードバンドの環境によっては、手動設定で変更が必要になる場合があります。**設定の変更には「設定をすぐに有効」にする必要があります。**(「設定をすぐに有効にする」(参照 52〜53ページ))
- 電話回線接続とLAN接続のどちらを利用するかは、番組の内容(コンテンツ)に依存します。
- 視聴者から情報を送信しない場合は、LANの接続と設定は不要です。

1 「本体設定」を押す

2 「初期設定」を選び、「決定」を押す

3 「LAN設定」を選び、「決定」を押す

「プロキシサーバ」で使用するサーバ名の入力可能文字一覧
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789!'()*-._~

プロバイダーから指定があるとき
プロキシを設定する

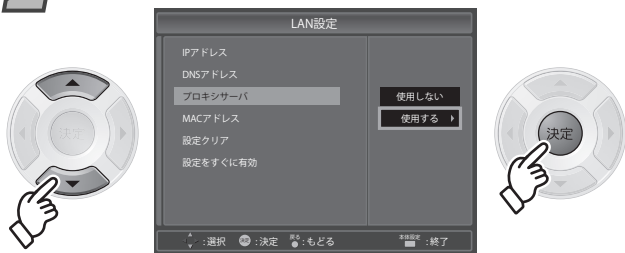
プロキシサーバ

本機でMACアドレスを確認する

MACアドレス

■ サーバ名の入力設定

1 「プロキシサーバ」を選び、「決定」を押す

2 「使用する」を選び、「決定」を押す

3 「サーバ名」の入力欄にカーソルがある状態で、「決定」を押す

■ 入力のしかた

1 カーソルボタン▲ / ▼で下のアルファベット/数字・記号まで移動してください。「.(ドット)」などの記号は、数字の列にあります。

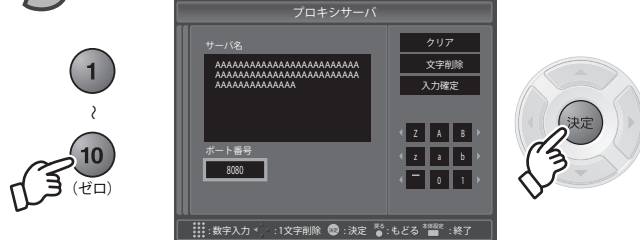
2 アルファベット/数字・記号上にカーソルがある状態で、カーソルボタン ▲ / ▼/◀ / ▶でアルファベット/数字を選び、(決定) を押してください。

3 上記の手順1～2を繰り返し、入力後カーソルボタン▲/ ▼で「入力確定」を選び、(決定) を押してください。

■ ポート番号の入力設定

1 上記「サーバ名の入力設定」の手順3まで操作を終了させる

2 「ポート番号」の入力欄を選ぶ

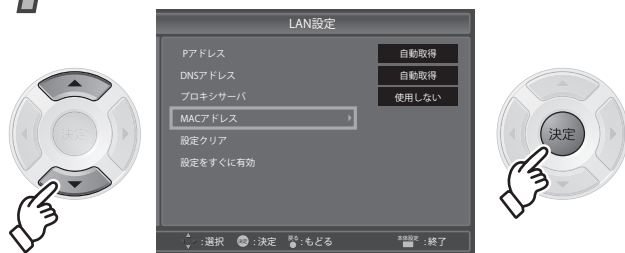
3 数値を入力し、「決定」を押す

◆ **設定の変更には「設定をすぐに有効」にする必要があります。**
(「LAN設定をすぐに有効にする」(参照 52～53ページ))

(戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る)

Point

- ◆ **プロキシアドレスとは・・・**
  ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレスのことです。
  プロバイダーからの指定があるときのみ、設定が必要です。(例:proxy.○○○.ne.jp)
  設定を行なった場合には「設定をすぐに有効」にする必要があります。(「LAN設定をすぐに有効にする」(参照 52～53ページ))
- ◆ **プロキシポート番号とは・・・**
  プロキシアドレスと共に、プロバイダーから指定される番号のことです。(例:8000)

---

1 「MACアドレス」を選び、「決定」を押す

2 表示された画面でMACアドレスを確認する

(戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る)

視聴を楽しむ

準備:テレビの電源を入れる

選局の前にまず、放送を選ぶ

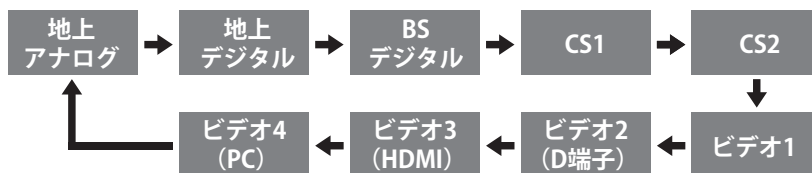
- 地上アナログ ････ 地上アナログ放送を見るとき
- 地上デジタル ････ 地上デジタル放送を見るとき
- BS ････ BSデジタル放送を見るとき
- CS1/2 ････ 110度CSデジタル放送を見るとき

本体の操作パネル

音量を調節　チャンネルの切換　入力映像信号の切換　電源の「入」「切」

■ 入力を切り換える

テレビ本体から入力を切り換えるときは･･･

「入力切換」を押す

- ◆ 押すたびに入力が切り換わります。（入力が画面に表示されます）
- ◆ 切換後に、接続している機器を操作してください。

リモコンから入力を切り換えるときは･･･

「入力切換」を押す

選択されている放送のチャンネル

- ◆ 押すたびに入力が切り換わります。（入力が画面に表示されます）
- ◆ 切換後に、接続している機器を操作してください。

Point

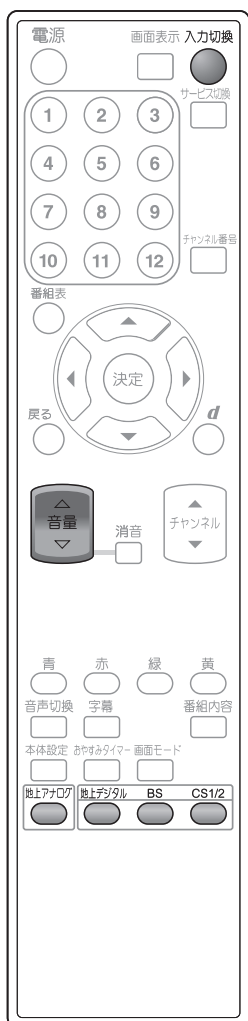
ビデオやDVDを楽しむには･･･

外部機器を接続している入力に切り換え、外部機器側で操作を行なってください。

- ◆ 「入力切換」を押すと、選択している入力信号が表示されます。
- ◆ テレビ本体の入力切換ボタンとリモコンの入力切換ボタンでは、切り換わる画面（信号）が異なります。

■ 音量を調整する

「音量 ▲ / ▼ 」を押す

- ◆ （音量△）を押すと音量が上がります。
- ◆ （音量▽）を押すと音量が下がります。

■ 消音する

「消音」を押す

- ◆ 押すと消音になり、もう一度押すと元の音量に戻ります。

■ 順送りで選局する

「チャンネル ▲ / ▼ 」を押す

- ◆ 押すたびに、チャンネルを順々に選局します。（チャンネル番号順）

■ チャンネル番号を入力して選局する

1 「チャンネル番号」を押す

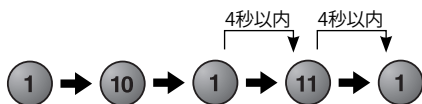
<地上デジタル放送の場合>

- ◆ チャンネル番号入力画面が右上に表示されます。

2 番組表などを参考にして3桁のチャンネル番号を入力する

例：「101」チャンネルを選ぶとき

- ◆ 入力画面は3桁そろうまで表示しつづけます。3桁そろってから未入力のまま4秒間経過するか、（決定）を押すと選局します。

例：「101-1」チャンネル（枝番を持つ番組）を選ぶとき

- ◆ （10）を押すと「0」が入力されます。
- ◆ 3桁入力後のときのみ、（11）を押すと「－」が入力されます。枝番号入力時のみ使用します。
- ◆ 枝番号入力後4秒間経過するか、（決定）を押すと選局します。

- ◆ 地上アナログ放送時、チャンネル番号入力は使用できません。
- ◆ 枝番号とは、同じチャンネル番号の放送が複数受信できた場合に追加される区別番号のことです。

視聴を楽しむ(つづき)

■ おやすみタイマーを設定する

「おやすみタイマー」を押す

<現在の設定が「切」の場合>

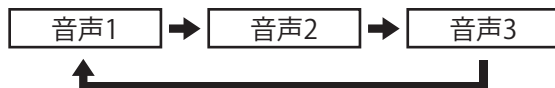
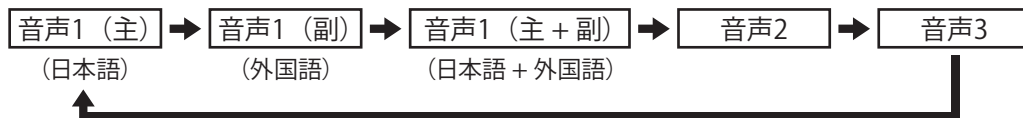
- おやすみタイマーの現在の設定が右下に表示されます。
- 押すたびに設定が切り換わります。

- おやすみタイマーが残り5分になると、電源が切れるまでの残り時間が赤文字で表示されます。また、残り時間が赤文字で表示されている時に おやすみタイマー を押すと、おやすみタイマーの設定が「切」になります。

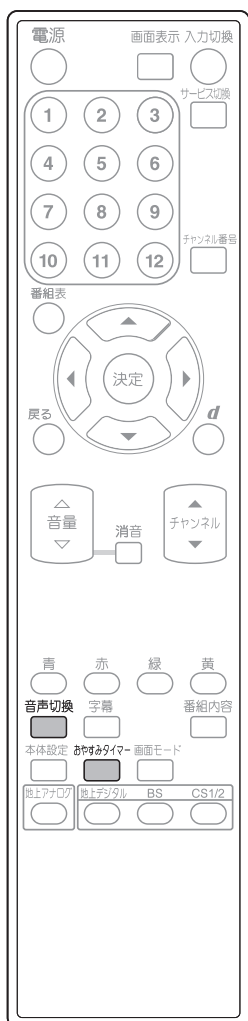
■ 2ヵ国語放送や多重音声放送で音声を切り換える

「音声切換」を押す

- 押すたびに切り換わります。
- デジタル放送受信時とアナログ放送受信時で音声の切換表示が異なります。

デジタル放送受信時

例:音声1が二重音声のとき

- 放送によっては、「主」で外国語、「副」で日本語の場合があります。

地上アナログ放送受信時
二カ国語放送の場合:

ステレオ放送の場合:

■ デジタル放送の字幕を切り換える

「字幕」を押す

- 押すたびに切り換わります。

Point

- 放送によっては、切り換えた字幕が表示されない場合があります。
- デジタル放送視聴時以外でも 字幕 は有効ですが、字幕が切り換わるのはデジタル放送のみです。

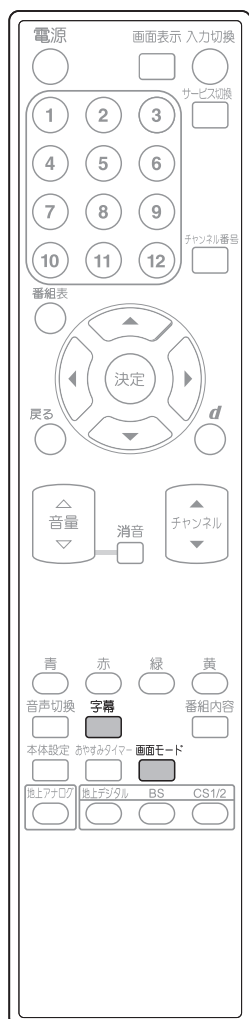
■ 画面モードを切り換える

「画面モード」を押す

- 画面モード を1回押すと、現在の画面モードの設定が画面右上に表示されます。
- 画面モード表示中に 画面モード を押すと、画面モードが切り換わります。
- PC入力時には 画面モード は効きません。PC入力では固有の画面モードに固定されます。

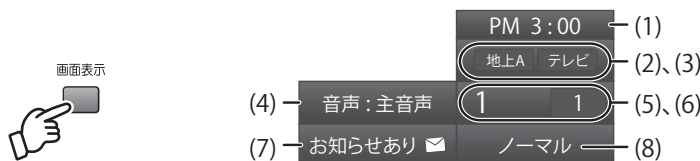
アナログ放送や外部入力の480i、480p の映像またはデジタル放送で480i 4:3の番組の場合

外部入力の1080i、720p の映像またはデジタル放送の場合（デジタル放送の480i 4:3の番組を除きます）

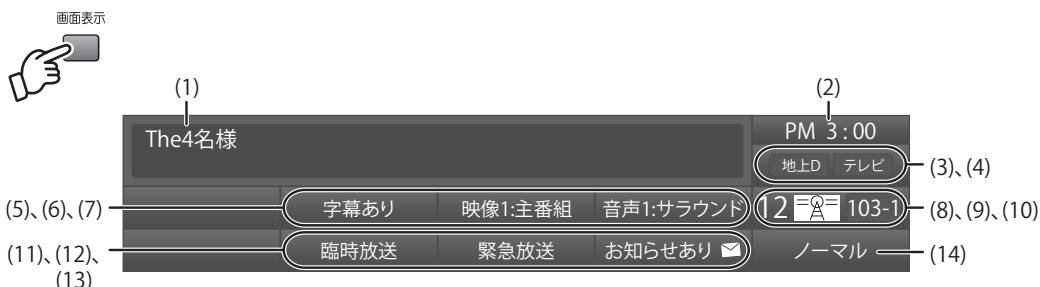
- 画面モード変更前の映像信号の縦横比によっては、「ムービー」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
- 画面モードに関しては、「画面モード一覧」をご覧ください。（参照 95ページ）

視聴を楽しむ(つづき)

メール
- メールには放送局からのお知らせや、本機の機能向上のためのダウンロード情報などがあります。インターネットメールではありません。(参照 86〜89ページ)

■ アナログ放送の番組バナーを表示させる

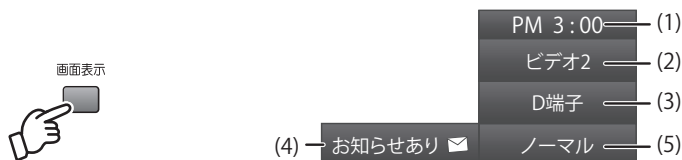
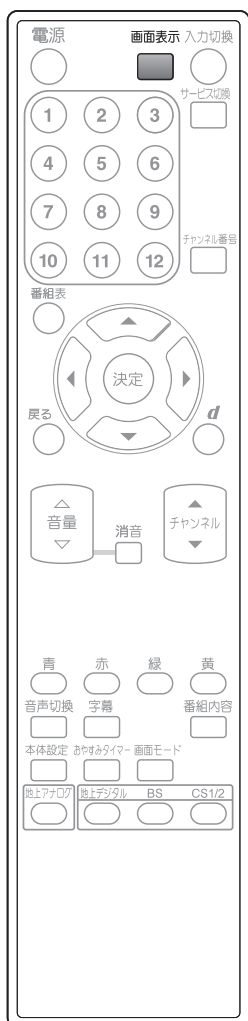
アナログ放送を視聴中に「画面表示」を押す

(1) 現在時刻
(2) ネットワーク情報(地上A)
(3) サービスタイプ(テレビ)
(4) 音声モード(主音声、副音声、主/副、ステレオ、モノラル)
(5) 現在選択中のリモコン番号
(6) 現在表示中の表示チャンネル番号
(7) 未読メールの有無(未読メールがある場合に表示されます)
(8) 現在設定中の画面モード(信号を受信している場合に表示されます)

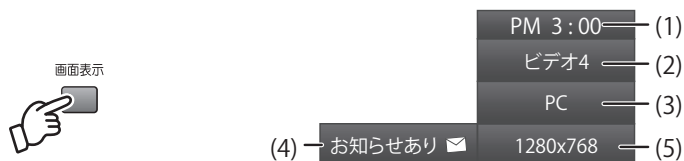
■ デジタル放送の番組バナーを表示させる

デジタル放送を視聴中に「画面表示」を押す

(1) 現在放送中の番組タイトル
(2) 現在時刻
(3) ネットワーク情報(地上D、BS、CS1、CS2)
(4) サービスタイプ(テレビ、ラジオ、データ)
(テレビ、データ)※地上Dのみ
(実際のサービスが存在するときのみ切り換わります)
(5) 字幕の有無(字幕なしの場合は表示されません)
(6) 映像モード(主番組、副番組…)
(7) 音声モード(主音声、副音声、主/副、ステレオ、サラウンド)
(8) 現在選択中のチャンネル番号
(9) 現在選択中のチャンネルロゴ
(10) チャンネル(枝番が複数ある場合に限り「XXX-X」で枝番表記)
(11) 臨時放送(臨時放送を行なっているチャンネルで表示されます)
(12) 緊急放送(緊急放送を行なっているチャンネルで表示されます)
(13) 未読メールの有無(未読メールがある場合に表示されます)
(14) 現在設定中の画面モード(信号を受信している場合に表示されます)

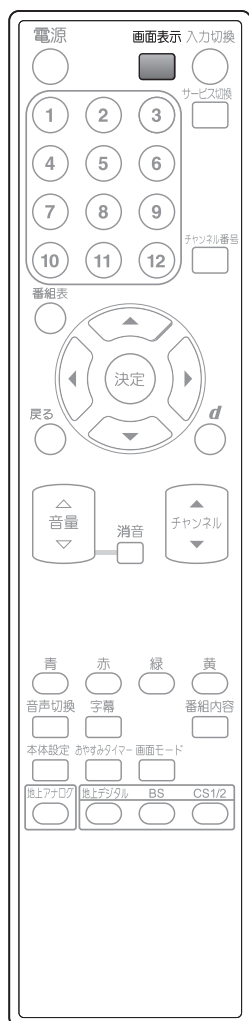
- 4秒経過するか、画面表示を再度押すと「画面表示」が消えます。

■ 外部入力の情報バナーを表示させる

外部入力で映像を見ているときに「画面表示」を押す

(1) 現在時刻
(2) 外部入力(ビデオ1〜ビデオ3)
(3) 端子名(D端子、HDMI)
(映像/S映像端子接続の場合は表示されません)
(4) 未読メールの有無(未読メールがある場合に表示されます)
(5) 現在設定中の画面モード
(映像を入力している場合に表示されます)

■ PC入力の情報バナーを表示させる

PC入力で映像を見ているときに「画面表示」を押す

(1)　現在時刻
(2)　外部入力（ビデオ4）
(3)　端子名（PC）
(4)　未読メールの有無（未読メールがある場合に表示されます）
(5)　現在表示中の解像度（640x480、800x600、1024x768、1280x768、1360x768）

Point

- 地上デジタル放送は、お住まいの地域によって放送局が異なるため、お買い上げ時は未設定です。「かんたん設定」や「チャンネル設定」で、お住まいの地域に合わせて受信設定してからお使いください。
- 時刻表示は、デジタル放送の情報を利用し、自動的に表示されます。
- PC入力時の解像度表示はお使いのパソコンにより誤表示する場合があります。
- アナログ放送が終了して映像信号が無くなった状態が約15分続くと自動的に電源を「切」にします。

番組表/予約一覧

「番組表」を押す

番組表が表示されます。

- 番組表表示中に 緑 を押すと、ジャンル検索の画面が表示されます。（参照 64～65ページ）
- 番組表表示中に 黄 を押すと、青 赤 に割り当てられる機能を切り換えることができます。

青	：前日
赤	：翌日

黄 を押して切り換える

青	：予約一覧
赤	：視聴予約

- 番組表表示中に 戻る か 番組表 を押すと、テレビ放送の画面に戻ります。

Point

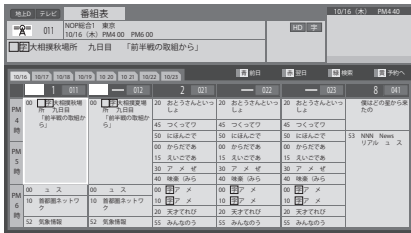
- 電源を入れた直後は番組表が表示されるまでに数分かかる場合があります。

現在放送中の番組を見る

番組表

予約した番組の一覧をみる

予約一覧

現在放送中の番組を選んで、「決定」を押す

選んだ番組が映ります。

- 現在放送中以外の番組を選んで 決定 を押すと、番組内容が表示されます。(参照 66ページ)

■ 番組表をお使いになるために…

本機は電源を切っていても、定期的に放送局からの番組情報などを更新しています。電源を切るときは、電源プラグをコンセントから抜かないで、本体またはリモコンの電源ボタンでお切りください。

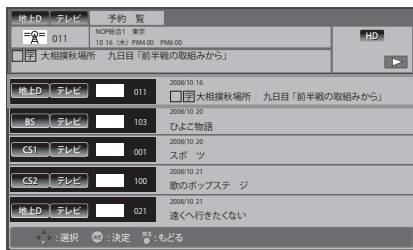
Point

- **地上デジタル放送の番組表について**
  受信可能な放送局で番組表が表示されない場合は、その局の番組を見ることで表示されます。(数分かかることがあります)

■ 別の日の放送の番組表を見たいときは

青 で前日、赤 で翌日の番組表が表示されます。

番組表の見かた

「青(予約一覧)」を押す

予約一覧が表示されます。

予約一覧の見かた

ジャンル検索

ジャンル/日付で検索範囲を設定する

- 「大分類」「中分類」「検索範囲」から検索したい項目を選びます。検索結果を表示するには、「検索開始」を実行する必要があります。

検索開始

- ジャンル/日付で設定した検索項目を反映し、検索を開始します。

1 「番組表」を押す

番組表が表示されます。

- 番組表表示中に 戻る か 番組表 を押すと、テレビ放送の画面に戻ります。

2 「緑」を押す

ジャンル検索画面が表示されます。

ジャンルで探す

ジャンル/日付で検索項目を設定する

設定した検索項目で検索を開始する

検索開始

■ 「大分類」「中分類」「検索範囲」から検索したい項目を選ぶ

「大分類」の設定

「ニュース/報道」、「スポーツ」などのジャンルから検索したいジャンルを設定します。

1 **「大分類」を選び、「決定」を押す**

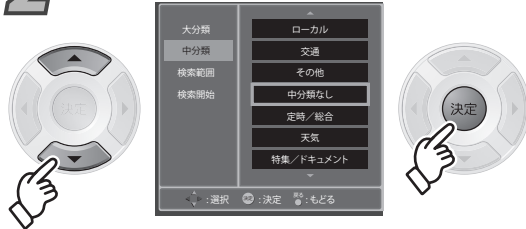
2 **検索したいジャンルを選び、「決定」を押す**

※CS選局時

「中分類」の設定

例えば、「大分類」の設定で「ニュース/報道」を選んだ場合、「定時/総合」、「天気」などからさらに検索したいジャンルを絞り込みます。

1 **「中分類」を選び、「決定」を押す**

2 **検索したいジャンルを選び、「決定」を押す**

「検索範囲」の設定

「大分類」、「中分類」で設定した検索条件がいつまで有効かを設定します。

1 **「検索範囲」を選び、「決定」を押す**

2 **検索したい範囲を選び、「決定」を押す**

---

1 **「検索開始」を選び、「決定」を押す**

検索が開始され、検索結果が表示されます。

2 **表示された検索結果から番組名を選び、「決定」を押す**

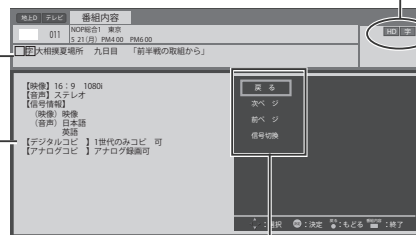
現在放送中の番組のとき	ジャンル検索画面が消え、選んだ番組に切り換わります。
放送予定の番組のとき	予約メニュー画面が表示されます。(参照 62～63ページ)

番組内容

見ている番組や選んでいる番組の
内容を見る

番組内容

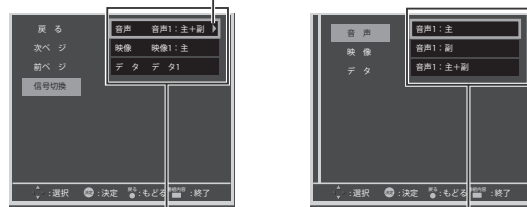
デジタル放送の番組を見ているとき、または、番組表から選んでいるときに…

「番組内容」を押す

カーソルボタン▲ / ▼ で希望の項目を選んで 決定 を押す。

◆ 各項目の設定は、下記をご覧ください。

戻る・・・・・・・ 「番組内容」を表示する前の画面に戻ります。
次ページ・・・ 「番組の内容」に次ページがある場合、次ページを表示します。
前ページ・・・ 「番組の内容」に前ページがある場合、前ページを表示します。
信号切換・・・ 「音声」「映像」「データ」の信号が切り換えられます。

〈例〉　〈信号がある場合〉

►は切換可能な場合のみ表示されます。

カーソルボタン▲ / ▼ で希望の項目を選んで 決定 を押す。

◆ 番組表から番組内容を選んだ場合は、「信号切換」は行えません。

データ放送を見る

データ放送の番組では…

- 画面に表示される説明にしたがい操作すると、いろいろな情報を見ることができます。

データ放送のある番組かを確認する

デジタル放送の番組を見ているときに…

「番組内容」を押す

番組内容

- 下記のアイコンが表示された番組はデータ放送があります。
（アイコンが表示されない番組もあります）

d

- 確認したら、再度 番組内容 を押す。
（データ放送を見る場合は、戻る を押して元の画面にしてから、下記の操作でご覧ください。）

データ放送を見る

- 独立したデータ放送は、選局操作やサービス切換操作により、ご覧いただけます。

デジタル放送の番組を見ているときに…

「d（データ）」を押す

（画面イメージ）

- 情報が多いときは、表示に時間がかかります。
- 番組によりカラーボタンなどを使った専用の選択画面や数字入力画面が表示されます。その指示にしたがってください。

■ 本機のデータ放送起動時間について

- リモコンの d を一度押したあと、放送局によってはデータ放送の起動に時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。特にチャンネルを変えた直後は、データ放送の情報が取得できておりませんので、時間をおいてから d を押してください。

■ データ放送を終了するには

「d（データ）」を押す

番組表から視聴予約する

「番組表」を押す

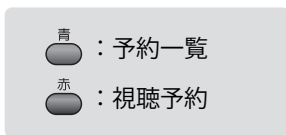
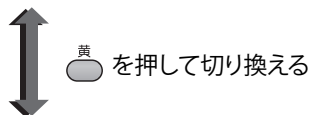
番組表が表示されます。
- 番組表表示中に 緑 を押すと、ジャンル検索の画面が表示されます。(参照 64〜65ページ)
- 番組表表示中に 黄 を押すことで 青 赤 に割り当てられる機能を切り換えることができます。

青：前日
赤：翌日

黄 を押して切り換える

青：予約一覧
赤：視聴予約

- 番組表表示中に 戻る か 番組表 を押すと、テレビ放送の画面に戻ります。

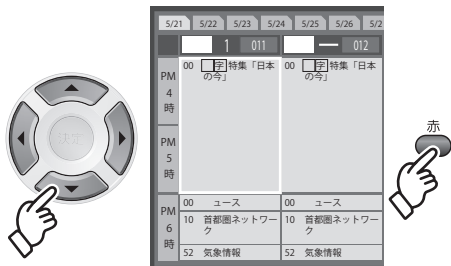
Point

- 電源を入れた直後は番組表の情報を取得するまでに数分かかる場合があります。
- 電源を「切」にしている場合、視聴予約は無効になります。

地上デジタル、BS・110度CSデジタル放送の
番組を視聴予約する

視聴予約

1 番組表から、視聴予約したい番組を選び、「赤」を押す

◆ 赤 の機能が視聴予約でない場合は、黄 を押して機能を切り換えてください。

2 予約したい番組を選び、「決定」を押す

◆ 暗証番号入力画面が表示された場合は入力してください。（参照 84〜85ページ）

■ 予約を登録する場合

「予約登録」を選び、「決定」を押す

予約が登録されます。

■ 予約を削除する場合

「予約削除」を選び、「決定」を押す

予約が削除されます。
※すでに予約登録済みの番組に対してのみ有効です。

■ 予約後のメッセージ

予約登録を行いました	予約を登録したときに表示されます。
この番組は開始時間が未定のため 予約できません	開始時間が未定の番組は予約できません。
終了時刻が未定なため予約できません 予約するには「追従設定」を「追従する」に設定して 予約登録してください	終了時刻が未定の番組は「追従設定」を「追従する」に設定しないと予約できません。
この番組は予約できません	予約できない番組です。
すでに予約が15 件あるため予約できません	予約可能な件数は15件までです。
予約が重複しています	予約が重複したときに表示されます。 予約が重複した場合は、予約した番組の時間がくると、自動的に切り換わります。 また、予約開始時刻が同時刻の番組が重複した場合、後に登録された番組が優先されます。
この番組を予約するには契約が必要です　コード：○○○	未契約番組を予約しようとしたときに表示されます。
ICカードにアクセスできません ICカードを入れ直してみてください	B-CASカードを正しく入れ直してみてください。
ICカードを入れてください	B-CASカードを入れてください。
予約処理が間に合わないため予約できません	番組終了までの時間が1分以内の番組は予約できません。
予約を削除しました	予約を削除したときに表示されます。

予約の詳細設定

1 番組表から、予約したい番組を選び、「赤」を押す

赤

◆ 赤 の機能が視聴予約でない場合は、黄 を押して機能を切り換えてください。

2 予約したい番組を選び、「決定」を押す

上記の手順1で選んだ番組とそれ以降の番組リストが表示されます。

2008/10/16	16:00	特集「日本の今」
2008/10/16	18:00	ユース
2008/10/16	18:10	首都圏ネットワーク
2008/10/16	18:52	気象情報
2008/10/16	19:00	スポーツ
2008/10/16	19:30	今日の出来事＆お天気
2008/10/16	20:00	スポーツ
2008/10/16	20:50	今日の出来事＆お天気

:選択 :決定 :もどる

決定

複数の音声がある番組で
視聴する信号を選ぶ

音声切換

複数の映像がある番組で
視聴する信号を選ぶ

映像切換

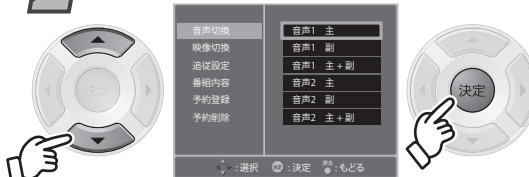
番組の時間変更に合わせて予約時間を変更する

追従設定

予約する番組内容を確認する

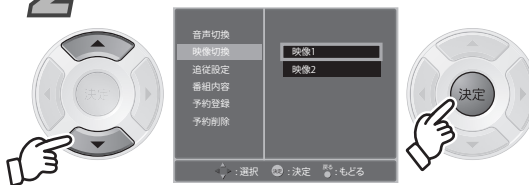
番組内容

1 「音声切換」を選び、「決定」を押す

2 視聴する信号（音声）を選び、「決定」を押す

- 「音声切換」で表示される項目と設定内容は、番組によって変わります。

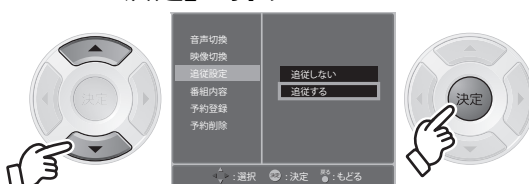
（戻る で一つ前の画面に戻る）

1 「映像切換」を選び、「決定」を押す

2 視聴する信号（映像）を選び、「決定」を押す

- 「映像切換」で表示される項目と設定内容は、番組によって変わります。

（戻る で一つ前の画面に戻る）

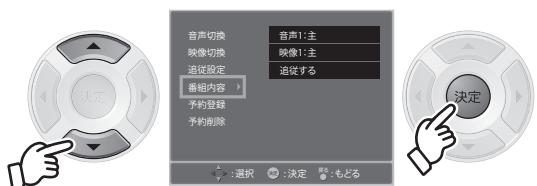
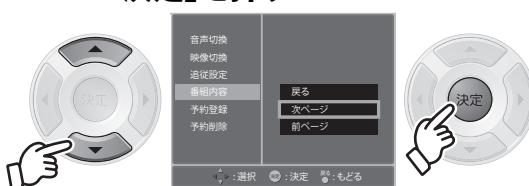
1 「追従設定」を選び、「決定」を押す

2 「追従しない」または「追従する」を選び、「決定」を押す

追従しない	番組の終了時刻に関係なく、最初の予約終了時刻で予約を終了したいとき。
追従する	番組の終了時刻変更に合わせて予約も自動で変更したいとき。

- 予約時間が変更された場合、別の予約番組と重複する可能性がありますので、ご注意ください。

予約が重複した場合は、予約した番組の時間がくると、自動的に切り換わります。
また、予約開始時刻が同時刻の番組が重複した場合、後に登録された番組が優先されます。

（戻る で一つ前の画面に戻る）

1 「番組内容」を選び、「決定」を押す

2 「次ページ」または「前ページ」を選び、「決定」を押す

戻る	一つ前の画面に戻ります。
次ページ	番組内容が複数ページある場合、次ページに移動します。
前ページ	番組内容が複数ページある場合、前ページに移動します。

（ で一つ前の画面に戻る）

画質調整

画質調整とは…

- 画面の「色のこさ」や「明るさ」などが調整できます。
- 「画面設定」は、放送および入力信号に関係なく設定が有効です。（「PC入力設定」のみ、別途設定が必要です）

1 「本体設定」を押す

2 「画面設定」を選び、「決定」を押す

3 「画質設定」を選び、「決定」を押す

映像モードについて

- ダイナミック：全体的に明るく、映像にメリハリをもたせたコントラスト感が高い映像になります。
- スタンダード：ご家庭で落ち着いた自然な映像を楽しむのに適した映像になります。
- ムービー　：映画を見る時に適した暖かみのある映像になります。

映像モードを選択する
映像モード

明るさを調整する
明るさ

色の濃さを調整する
色のこさ

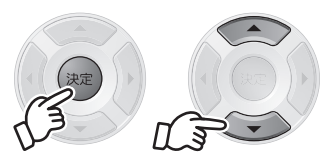
色合いを調整する
色合い

映像を調整する
映像(コントラスト)

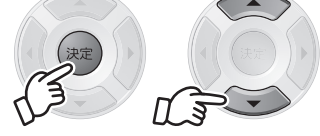
画質を調整する
画質(シャープネス)

色温度を選択する
色温度

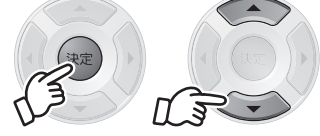
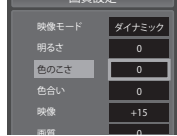
設定をすべて初期化する
リセット

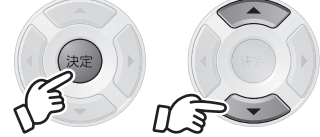
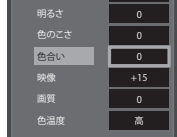
1 「映像モード」を選び、「決定」を押す

2 設定値を変更し、「決定」を押す

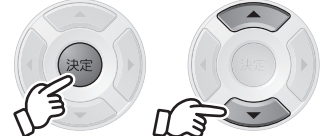
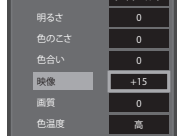
- PC入力(ビデオ4)以外を選んでいる場合は、「ダイナミック」、「スタンダード」、「ムービー」の中からお好みの映像モードを設定できます。
- PC入力(ビデオ4)を選んでいる場合は、「PC」と表示されます。

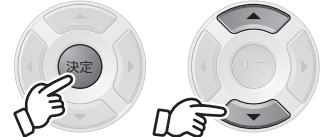
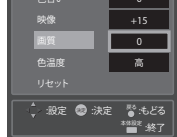
1 「明るさ」を選び、「決定」を押す

2 設定値を変更し、「決定」を押す

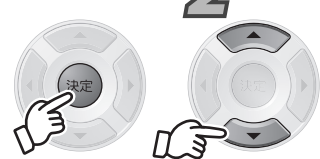
- 暗くなる(–28)～明るくなる(+28)の値が設定できます。

1 「色のこさ」を選び、「決定」を押す

2 設定値を変更し、「決定」を押す

- 淡くなる(–28)～濃くなる(+28)の値が設定できます。
- PC入力(ビデオ4)を選んでいる場合は、設定を変更できません。

1 「色合い」を選び、「決定」を押す

2 設定値を変更し、「決定」を押す

- 肌色が紫がかる(–28)～肌色が緑がかる(+28)の値が設定できます。
- PC入力(ビデオ4)を選んでいる場合は、設定を変更できません。

1 「映像」を選び、「決定」を押す

2 設定値を変更し、「決定」を押す

- 明暗の差が小さくなり、暗くしっとりする(—28)～明暗の差が大きくなり、明るくメリハリがでる(+28)の値が設定できます。

1 「画質」を選び、「決定」を押す

2 設定値を変更し、「決定」を押す

- やわらかい画質になる(–28)～くっきりした画質になる(+28)の値が設定できます。

1 「色温度」を選び、「決定」を押す

2 設定値を変更し、「決定」を押す

- 「高」「中」「低」の中からお好みの色温度を設定できます。
  「高」は青みがかった色調になり、「低」は赤みがかった色調になります。
- PC入力(ビデオ4)を選んでいる場合は、設定を変更できません。

「リセット」を選び、「決定」を押す

- 映像モードごとに調整内容がすべて初期化されます。

(戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る)

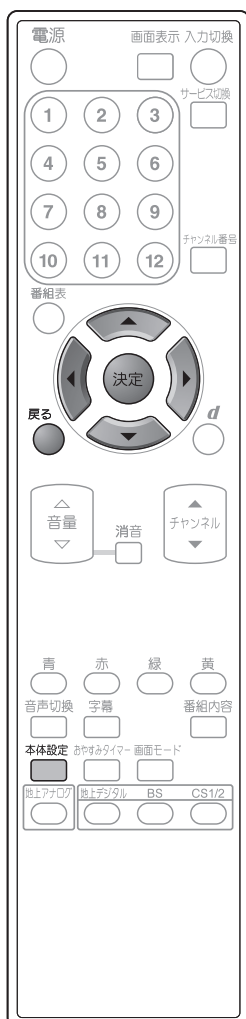
バックライト/ワイド検出/シネマ検出

バックライト
（お買い上げ時：明るい）
- 画面の明るさの設定です。

ワイド検出
（お買い上げ時：入）
- 入力映像がワイド映像かどうか自動判別して表示します。

シネマ検出
（お買い上げ時：切）
- 映画などの映像を検出して自動的に補正します。映像がブレたりするときは「切」に設定してください。

1 「本体設定」を押す

2 「画面設定」を選び、「決定」を押す

画面全体の明るさを設定する

バックライト

ワイド映像を自動判別するか設定する

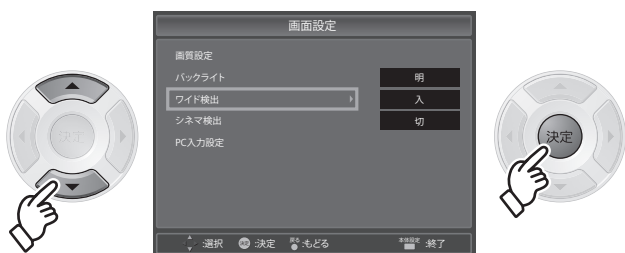
ワイド検出

映画などの映像をきれいに表示する

シネマ検出

1 「バックライト」を選び、「決定」を押す

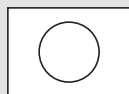
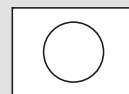
2 「明るい」、「やや明るい」、「標準」または「省電力」を選び、「決定」を押す

1 「ワイド検出」を選び、「決定」を押す

2 「入」または「切」を選び、「決定」を押す

◆ 「入」に設定すると、映像信号に合わせて自動的に画面モードを変更します。手動で選択する場合には「切」にしてください。
手動で画面モードを切り換えるには、「画面モードを切り換える」（参照 59ページ）をご覧ください。

Point

◆ 「ワイド検出」は4:3レターボックス、16:9スクイーズ信号を自動判別して表示します。

4:3レターボックスの例

16:9スクイーズの例

1 「シネマ検出」を選び、「決定」を押す

2 「入」または「切」を選び、「決定」を押す

（戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る）

PC入力設定

PC入力設定
- PCを最初に接続したときは、「自動調整」を行なってください。
- 「PC入力設定」は、PC入力信号にのみ設定が有効です。
- 解像度を変更した場合は、「自動調整」を行なってください。「自動調整」でうまく表示できないときは、「水平位置」、「垂直位置」、「クロック周波数」、「クロック位相」を調整してください。

1 「本体設定」を押す

2 「画面設定」を選び、「決定」を押す

3 「PC入力設定」を選び、「決定」を押す

◆ PC入力対応表

解像度		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
VGA	640x480	31.5	60
SVGA	800x600	37.9	60
XGA	1024x768	48.4	60
WXGA	1280x768	47.4	60
	1360x768	47.7	60

Point
- パソコン側のモニタ設定は、必ずPC入力対応表の入力信号に設定してください。これ以外の信号を入力した場合は、正しく表示されません。
- お使いのPCによっては、正常な表示ができない場合があります。

PC入力設定を自動調整する
自動調整

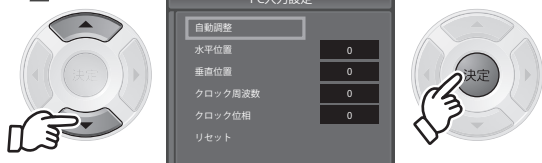
水平位置を調整する
水平位置

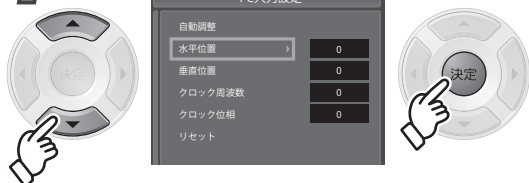
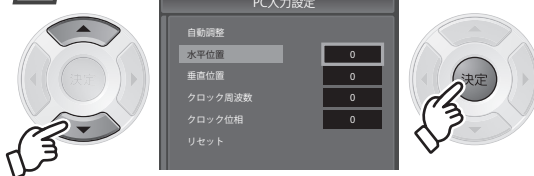
垂直位置を調整する
垂直位置

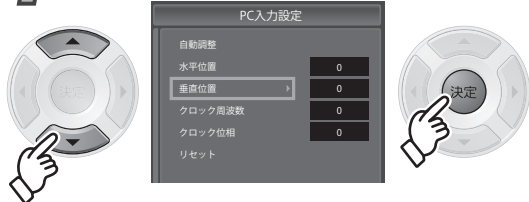
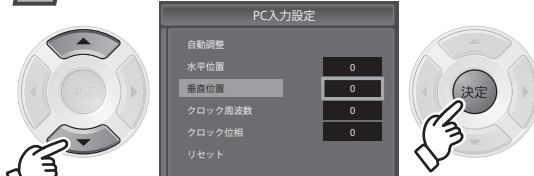
クロック周波数を調整する
クロック周波数

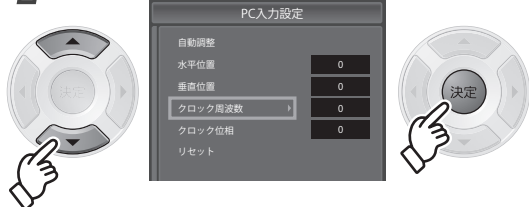
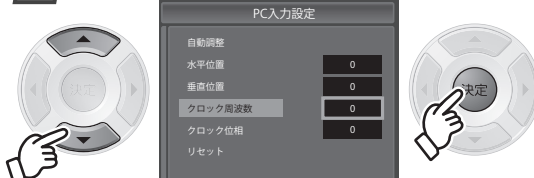
クロック位相を調整する
クロック位相

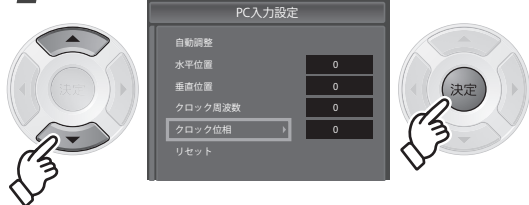
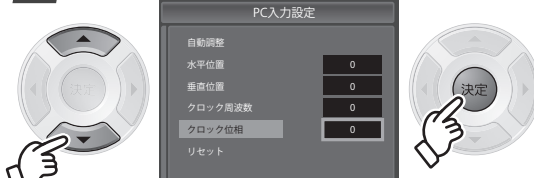
設定をすべて初期化する
リセット

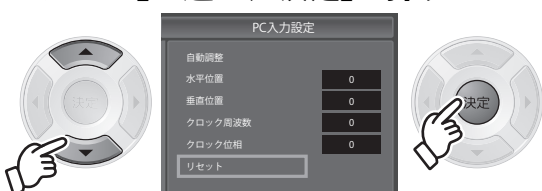
1 「自動調整」を選び、「決定」を押す

- PC入力の設定を自動的に調整します。
- 「自動調整」を選択すると、「自動調整中です」とメッセージが表示されます。メッセージが消えるまでしばらくお待ちください。
- 場合によっては「自動調整」が失敗することがあります。その場合は、下記設定を手動で行なってください。

1 「水平位置」を選び、「決定」を押す

2 設定値を変更し、「決定」を押す

- -50～+50の値が設定できます。
- ディスプレイ表示の水平位置を調整することができます。

1 「垂直位置」を選び、「決定」を押す

2 設定値を変更し、「決定」を押す

- -30～+30の値が設定できます。
- ディスプレイ表示の垂直位置を調整することができます。

1 「クロック周波数」を選び、「決定」を押す

2 設定値を変更し、「決定」を押す

- -50～＋50の値が設定できます。
- ディスプレイの水平表示範囲を微調整することができます。
- ディスプレイ表示に縦じまがある場合に、調整することで縦じまを軽減することができます。

1 「クロック位相」を選び、「決定」を押す

2 設定値を変更し、「決定」を押す

- -16～＋15の値が設定できます。
- ディスプレイ表示に横じまがある場合に、調整することで横じまを軽減することができます。

「リセット」を選び、「決定」を押す

- PC入力設定の内容がすべて初期化されます。

（戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る）

デジタル音声出力

デジタル音声出力
（お買い上げ時：PCM）

- AAC対応のオーディオ機器を接続したときに、ここで設定を行う必要があります。

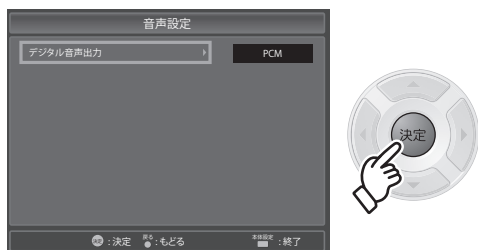
1 「本体設定」を押す

本体設定

2 「音声設定」を選び、「決定」を押す

AAC対応の
オーディオ機器を
接続したとき

デジタル音声出力

1 「デジタル音声出力」を選び、「決定」を押す

2 「PCM」または「AAC」を選び、「決定」を押す

PCM	オーディオ機器がAACフォーマットに対応していないとき。
AAC	AACフォーマットのときは、常に「AAC」に設定されます。（AAC以外のときは「PCM」出力）

Point

- 「AAC」にすると、放送内容により字幕放送やデータ放送の効果音が、光デジタル音声出力端子から出力されない可能性があります。「PCM」にしてご使用ください。
- AAC対応のオーディオ機器を接続する場合、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをおすすめします。
- AACとは、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD（コンパクトディスク）並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語再生を行うこともできます。

■ 接続できるオーディオ機器について

- 光デジタル音声入力端子を持ち、PCMまたはAAC対応でサンプリングレートコンバーター内蔵のMDやアンプなどのオーディオ機器を接続することができます。
- 本機の光デジタル音声出力端子は、デジタル放送の信号をそのまま出力していますので、サンプリングレートコンバーターのないオーディオ機器は使用できません。
- オーディオ機器の取扱説明書も、よくお読みください。

字幕表示/文字スーパー表示/自動ダウン

字幕表示
（お買い上げ時：切）
- 字幕表示を切り換えます。

文字スーパー表示
（お買い上げ時：切）
- 文字スーパーの表示を切り換えます。

自動ダウンロード
（お買い上げ時：入）
- ソフトウエアの自動ダウンロードの入/切を設定します。

ICカード情報
- B-CASカードの情報を表示します。

1 「本体設定」を押す

本体設定

2 「機器設定」を選び、「決定」を押す

字幕を表示する
字幕表示

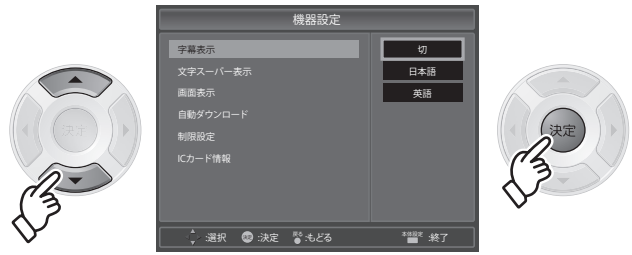
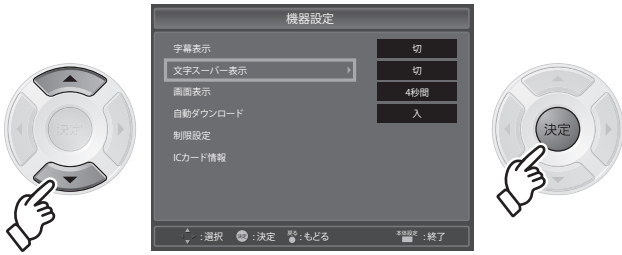
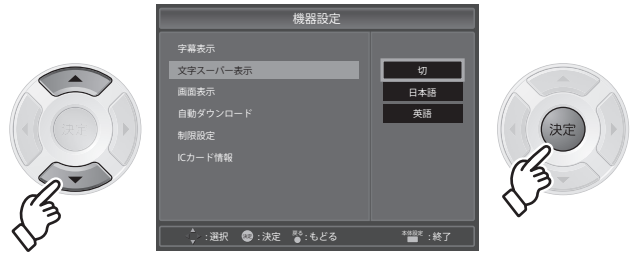
文字スーパーを表示する
文字スーパー表示

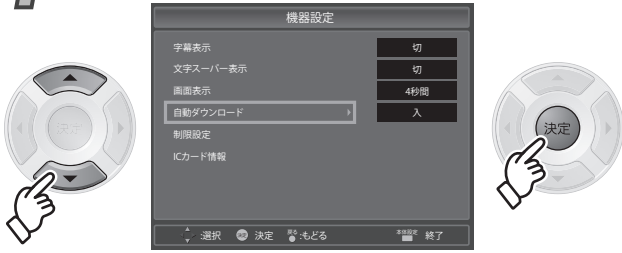
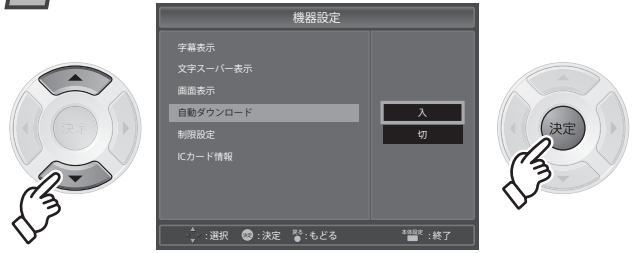
ソフトウエアダウンロードの自動設定を行う
自動ダウンロード

B-CASカード情報を表示する
ICカード情報

ロード/ICカード情報

1 「字幕表示」を選び、「決定」を押す

2 「切」、「日本語」または「英語」を選び、「決定」を押す

1 「文字スーパー表示」を選び、「決定」を押す

2 「切」、「日本語」または「英語」を選び、「決定」を押す

◆ 文字スーパーは、視聴者にお知らせしたいことを、番組放送中の画面上に文字で表示します。

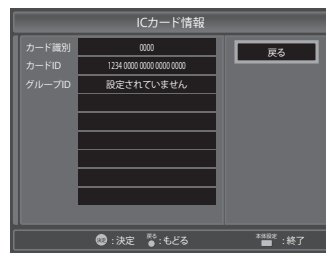
1 「自動ダウンロード」を選び、「決定」を押す

2 「入」または「切」を選び、「決定」を押す

入	通常は自動ダウンロードを「入」にしておきます。 電源「切」時に情報が届いた場合、自動的にソフトウエアのダウンロードを実行します。
切	ソフトウエアアップデートのデータ配信予定がある場合は、メールでお知らせします。

Point

自動ダウンロードについて

◆ 地上波から配信されるソフトウエアアップデートのデータを取り込むことにより、本機のソフトウエアを最新のものに書き換えます。この取扱説明書はソフトウエアが更新されていない時点で作成されており、ソフトウエアが自動更新されると、記述された内容と実際の画面や操作方法が異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。

1 「ICカード情報」を選び、「決定」を押す

2 下記画面で確認する

（戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る）

画面表示

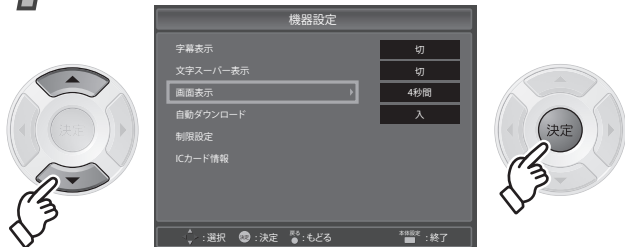
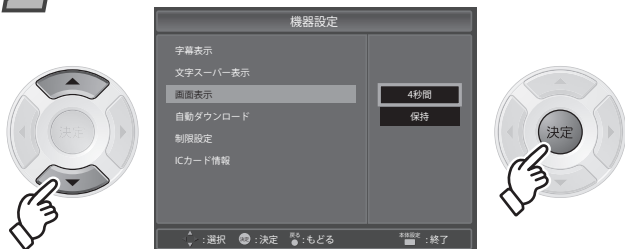
画面表示
（お買い上げ時：4秒間）
- 画面表示の表示時間を切り換えます。

1 「本体設定」を押す

2 「機器設定」を選び、「決定」を押す

番組バナーの表示設定

画面表示

1 「画面表示」を選び、「決定」を押す

2 「4秒間」または「保持」を選び、「決定」を押す

4秒間	画面表示 を押すと「画面表示」が4秒間表示されます。その後、自動的に表示が消えます。
保持	画面表示 を押すと「画面表示」が表示されます。時刻やネットワークなどは表示されつづけます。その他の表示は4秒後、自動的に消えます。その後、再度 画面表示 を押すと、時刻やネットワークなどの表示が消えます。

◆ 「保持」を選んだときに表示されつづける項目は、バナーによって異なります。（参照 60〜61ページ）

デジタル放送番組バナー	時刻、ネットワーク、サービスタイプ、チャンネル番号、チャンネルロゴ
アナログ放送番組バナー	時刻、ネットワーク、サービスタイプ、チャンネル番号
情報バナー	時刻、ネットワーク、端子名

制限設定

制限設定

- 年齢制限の設定や、制限設定を行うための暗証番号を設定します。

1 「本体設定」を押す

本体設定

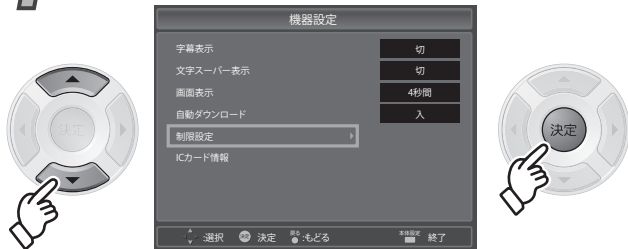
2 「機器設定」を選び、「決定」を押す

年齢制限や暗証番号を設定する

制限設定

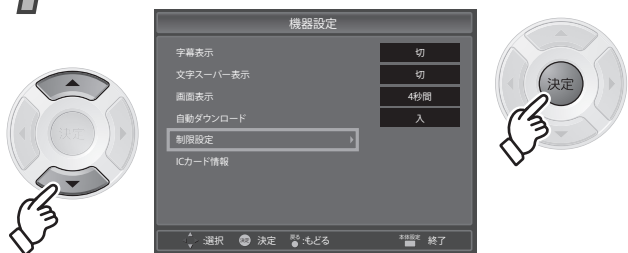
■ 暗証番号登録をするときは

暗証番号が設定されていない状態で「制限設定」を選ぶと、下記画面が出ますので、暗証番号を入力してください。暗証番号を入力しないと、年齢制限の設定は行えません。

「制限設定」を選び、「決定」を押す

2 4ケタの数字で暗証番号を入力する

- ◆ メモを取るなどして、暗証番号を忘れないようにしてください。万が一忘れた場合は、ユーザデータ初期化を実行し、暗証番号を再入力してください。
- ◆ 暗証番号は2回入力する必要があります。
- ◆ 暗証番号の入力を間違えると「暗証番号が間違っています」と表示されますので、再度正しい番号を入力してください。

暗証番号が設定されている状態で「制限設定」を選ぶと、下記画面が出ますので、設定した暗証番号を入力してください。

1 「制限設定」を選び、「決定」を押す

2 4ケタの数字で暗証番号を入力する

- ◆ 暗証番号の入力を間違えると「暗証番号が間違っています」と表示されますので、再度正しい番号を入力してください。

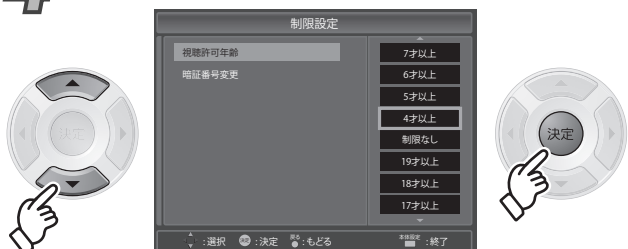
視聴許可年齢を設定する場合

3 「視聴許可年齢」を選び、「決定」を押す

4 視聴許可年齢を選び、「決定」を押す

暗証番号を変更する場合

3 「暗証番号変更」を選び、「決定」を押す

- ◆ 以降の操作は暗証番号登録の手順2をご参照ください。

放送局/CSボード/テレビからのお知らせ

1 「本体設定」を押す

2 「お知らせ」を選び、「決定」を押す

放送局からの
お知らせや情報を見る

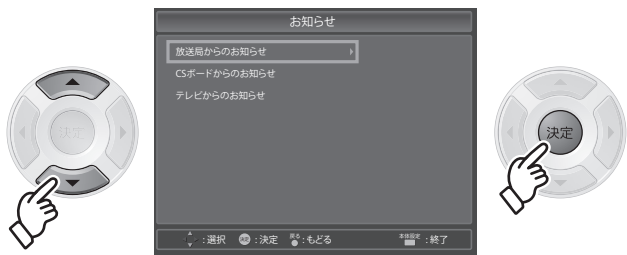
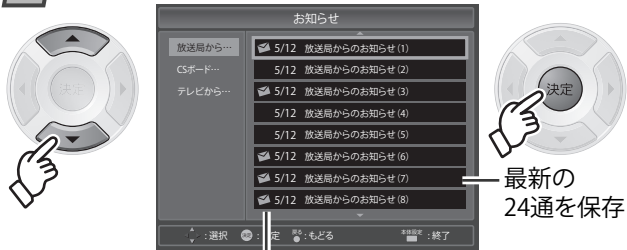
放送局からのお知らせ

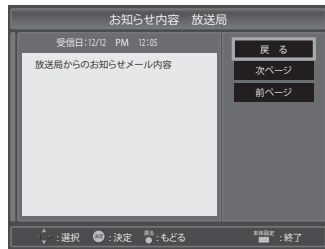
- インターネットメールではありません。

110度CSデジタル放送から送られる
情報を見る

CSボードからのお知らせ

- インターネットメールではありません。

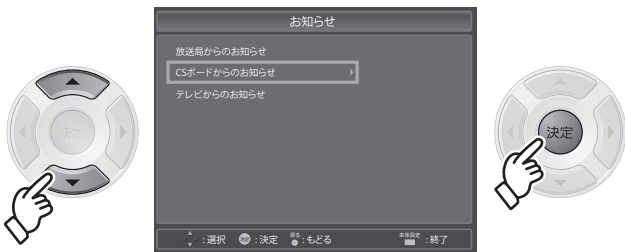
1 「放送局からのお知らせ」を選び、「決定」を押す

2 確認したいメールを選び、「決定」を押す

未読メールには が表示されます。

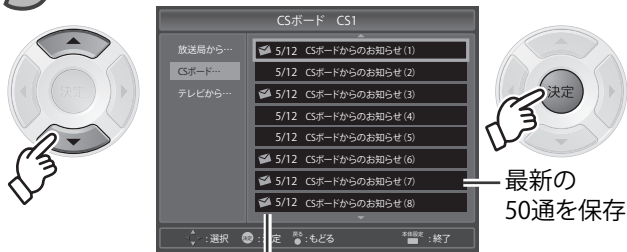
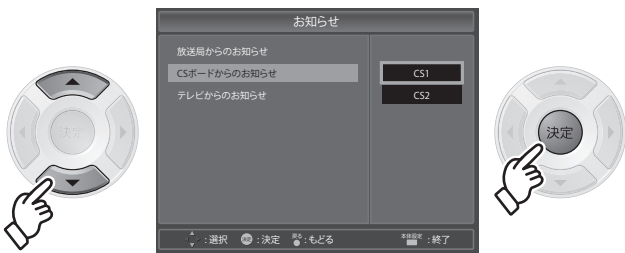
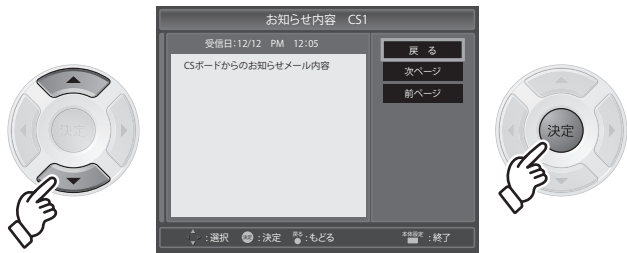
- B-CASカードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。
- メールが 1 通も届いていない場合はメールの表示は出てきません。メールが届いている場合はすぐに表示されます。

3 メールの内容が表示される

- メールの内容に合わせて、ボタンが表示されることがあります。選んで 決定 を押すと、関連画面を表示します。
- 前後にページがある場合、「次ページ」「前ページ」を選んで 決定 を押すと、前後のページ内容が表示されます。
- 「放送局からのお知らせ」には、放送局からお客様に宛てたお知らせなどのメールを取得します。

（戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る）

1 「CSボードからのお知らせ」を選び、「決定」を押す

2 「CS1」または「CS2」を選び、「決定」を押す

3 確認したいメールを選び、「決定」を押す

最新の
50通を保存

未読メールには が表示されます。

4 メールの内容が表示される

- 前後にページがある場合、「次ページ」「前ページ」を選んで 決定 を押すと、前後のページ内容が表示されます。

（戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る）

放送局/CSボード/テレビからのお知らせ

1 **「本体設定」を押す**

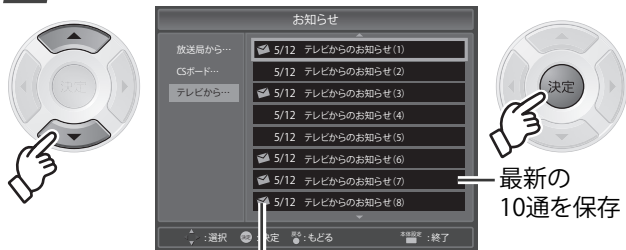
2 **「お知らせ」を選び、「決定」を押す**

本機からの
お知らせや情報を見る

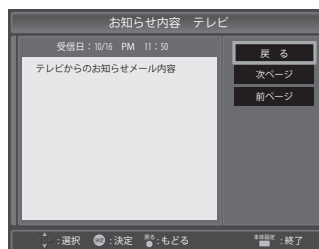
テレビからのお知らせ

- インターネットメールではありません。

1 「テレビからのお知らせ」を選び、「決定」を押す

2 確認したいメールを選び、「決定」を押す

未読メールには ✉ が表示されます。

- メールが１通も届いていない場合はメールの表示は出てきません。メールが届いている場合はすぐに表示されます。

3 メールの内容が表示される

- 前後にページがある場合、「次ページ」「前ページ」を選んで (決定) を押すと、前後のページ内容が表示されます。
- 「テレビからのお知らせ」には、本機の機能向上のためのダウンロード情報や放送局の変更などのメールを取得します。

（戻る で1つ前の画面、本体設定 でテレビ放送の画面に戻る）

地上デジタル放送チャンネル一覧表
（地域名を用いた設定）

- かんたん設定（参照 28～29ページ）や初期スキャン（参照 34～35ページ）で選択された地域の、放送局とチャンネル番号の組み合わせは、下表のようになります。他地域の放送を受信されたときは、下表のようにならない場合があります。
- お住まいの地域が地上デジタル放送のエリア内であっても、地形や建物、放送電波が弱い場合や、地上デジタル放送の送信塔の方向が現在のアナログ放送と異なる場合などで、地上デジタル放送の放送が映らない、または映像が不安定な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

地域名	チャンネル番号	放送局名
北海道（札幌）	3	ＮＨＫ総合・札幌
	2	ＮＨＫ教育・札幌
	1	ＨＢＣ札幌
	5	ＳＴＶ札幌
	6	ＨＴＢ札幌
	8	ＵＨＢ札幌
	7	ＴＶＨ札幌
北海道（函館）	3	ＮＨＫ総合・函館
	2	ＮＨＫ教育・函館
	1	ＨＢＣ函館
	5	ＳＴＶ函館
	6	ＨＴＢ函館
	8	ＵＨＢ函館
	7	ＴＶＨ函館
北海道（旭川）	3	ＮＨＫ総合・旭川
	2	ＮＨＫ教育・旭川
	1	ＨＢＣ旭川
	5	ＳＴＶ旭川
	6	ＨＴＢ旭川
	8	ＵＨＢ旭川
	7	ＴＶＨ旭川
北海道（帯広）	3	ＮＨＫ総合・帯広
	2	ＮＨＫ教育・帯広
	1	ＨＢＣ帯広
	5	ＳＴＶ帯広
	6	ＨＴＢ帯広
	8	ＵＨＢ帯広
	7	ＴＶＨ帯広
北海道（釧路）	3	ＮＨＫ総合・釧路
	2	ＮＨＫ教育・釧路
	1	ＨＢＣ釧路
	5	ＳＴＶ釧路
	6	ＨＴＢ釧路
	8	ＵＨＢ釧路
	7	ＴＶＨ釧路
北海道（北見）	3	ＮＨＫ総合・北見
	2	ＮＨＫ教育・北見
	1	ＨＢＣ北見
	5	ＳＴＶ北見
	6	ＨＴＢ北見
	8	ＵＨＢ北見
	7	ＴＶＨ北見
北海道（室蘭）	3	ＮＨＫ総合・室蘭
	2	ＮＨＫ教育・室蘭
	1	ＨＢＣ室蘭
	5	ＳＴＶ室蘭
	6	ＨＴＢ室蘭
	8	ＵＨＢ室蘭
	7	ＴＶＨ室蘭
宮城	3	ＮＨＫ総合・仙台
	2	ＮＨＫ教育・仙台
	1	ＴＢＣテレビ
	8	仙台放送
	4	ミヤギテレビ
	5	ＫＨＢ東日本放送
秋田	1	ＮＨＫ総合・秋田
	2	ＮＨＫ教育・秋田
	4	ＡＢＳ秋田放送
	8	ＡＫＴ秋田テレビ
	5	ＡＡＢ秋田朝日放送
山形	1	ＮＨＫ総合・山形
	2	ＮＨＫ教育・山形
	4	ＹＢＣ山形放送
	5	ＹＴＳ山形テレビ
	6	テレビユー山形
	8	さくらんぼテレビ
岩手	1	ＮＨＫ総合・盛岡
	2	ＮＨＫ教育・盛岡
	6	ＩＢＣテレビ
	4	テレビ岩手
	8	めんこいテレビ
	5	岩手朝日テレビ
福島	1	ＮＨＫ総合・福島
	2	ＮＨＫ教育・福島
	8	福島テレビ
	4	福島中央テレビ
	5	ＫＦＢ福島放送
	6	テレビユー福島
青森	3	ＮＨＫ総合・青森
	2	ＮＨＫ教育・青森
	1	ＲＡＢ青森放送
	6	ＡＴＶ青森テレビ
	5	青森朝日放送

地域名	チャンネル番号	放送局名
東京	1	ＮＨＫ総合・東京
	2	ＮＨＫ教育・東京
	4	日本テレビ
	6	ＴＢＳ
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	9	ＴＯＫＹＯ ＭＸ
	12	放送大学
神奈川	1	ＮＨＫ総合・東京
	2	ＮＨＫ教育・東京
	4	日本テレビ
	6	ＴＢＳ
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	ｔｖｋ
	12	放送大学
群馬	1	ＮＨＫ総合・東京
	2	ＮＨＫ教育・東京
	4	日本テレビ
	6	ＴＢＳ
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	群馬テレビ
	12	放送大学
茨城	1	ＮＨＫ総合・水戸
	2	ＮＨＫ教育・東京
	4	日本テレビ
	6	ＴＢＳ
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	12	放送大学
千葉	1	ＮＨＫ総合・東京
	2	ＮＨＫ教育・東京
	4	日本テレビ
	6	ＴＢＳ
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	チバテレビ
	12	放送大学
栃木	1	ＮＨＫ総合・東京
	2	ＮＨＫ教育・東京
	4	日本テレビ
	6	ＴＢＳ
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	とちぎテレビ
	12	放送大学
埼玉	1	ＮＨＫ総合・東京
	2	ＮＨＫ教育・東京
	4	日本テレビ
	6	ＴＢＳ
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	テレ玉
	12	放送大学
長野	1	ＮＨＫ総合・長野
	2	ＮＨＫ教育・長野
	4	テレビ信州
	5	ａｂｎ長野朝日放送
	6	ＳＢＣ信越放送
	8	ＮＢＳ長野放送
新潟	1	ＮＨＫ総合・新潟
	2	ＮＨＫ教育・新潟
	6	ＢＳＮ
	8	ＮＳＴ
	4	ＴｅＮＹテレビ新潟
	5	新潟テレビ２１
山梨	1	ＮＨＫ総合・甲府
	2	ＮＨＫ教育・甲府
	4	ＹＢＳ山梨放送
	6	ＵＴＹ
大阪	1	ＮＨＫ総合・大阪
	2	ＮＨＫ教育・大阪
	4	ＭＢＳ毎日放送
	6	ＡＢＣテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	7	テレビ大阪

地域名	チャンネル番号	放送局名
京都	1	ＮＨＫ総合・京都
	2	ＮＨＫ教育・大阪
	4	ＭＢＳ毎日放送
	6	ＡＢＣテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	5	ＫＢＳ京都
兵庫	1	ＮＨＫ総合・神戸
	2	ＮＨＫ教育・大阪
	4	ＭＢＳ毎日放送
	6	ＡＢＣテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	3	サンテレビ
和歌山	1	ＮＨＫ総合・和歌山
	2	ＮＨＫ教育・大阪
	4	ＭＢＳ毎日放送
	6	ＡＢＣテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	5	テレビ和歌山
奈良	1	ＮＨＫ総合・奈良
	2	ＮＨＫ教育・大阪
	4	ＭＢＳ毎日放送
	6	ＡＢＣテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	9	奈良テレビ
滋賀	1	ＮＨＫ総合・大津
	2	ＮＨＫ教育・大阪
	4	ＭＢＳ毎日放送
	6	ＡＢＣテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	3	ＢＢＣびわ湖放送
広島	1	ＮＨＫ総合・広島
	2	ＮＨＫ教育・広島
	3	ＲＣＣテレビ
	4	広島テレビ
	5	広島ホームテレビ
	8	ＴＳＳ
岡山	1	ＮＨＫ総合・岡山
	2	ＮＨＫ教育・岡山
	4	ＲＮＣ西日本テレビ
	5	ＫＳＢ瀬戸内海放送
	6	ＲＳＫテレビ
	7	テレビせとうち
	8	ＯＨＫテレビ
香川	1	ＮＨＫ総合・高松
	2	ＮＨＫ教育・高松
	4	ＲＮＣ西日本テレビ
	5	ＫＳＢ瀬戸内海放送
	6	ＲＳＫテレビ
	7	テレビせとうち
	8	ＯＨＫテレビ
島根	3	ＮＨＫ総合・松江
	2	ＮＨＫ教育・松江
	8	山陰中央テレビ
	6	ＢＳＳテレビ
	1	日本海テレビ
鳥取	3	ＮＨＫ総合・鳥取
	2	ＮＨＫ教育・鳥取
	8	山陰中央テレビ
	6	ＢＳＳテレビ
	1	日本海テレビ
山口	1	ＮＨＫ総合・山口
	2	ＮＨＫ教育・山口
	4	ＫＲＹ山口放送
	3	ｔｙｓテレビ山口
	5	ｙａｂ山口朝日
愛知	3	ＮＨＫ総合・名古屋
	2	ＮＨＫ教育・名古屋
	1	東海テレビ
	5	ＣＢＣ
	6	メ～テレ
	4	中京テレビ
	10	テレビ愛知
三重	3	ＮＨＫ総合・津
	2	ＮＨＫ教育・名古屋
	1	東海テレビ
	5	ＣＢＣ
	6	メ～テレ
	4	中京テレビ
	7	三重テレビ

地域名	チャンネル番号	放送局名
岐阜	3	ＮＨＫ総合・岐阜
	2	ＮＨＫ教育・名古屋
	1	東海テレビ
	5	ＣＢＣ
	6	メ～テレ
	4	中京テレビ
	8	岐阜テレビ
石川	1	ＮＨＫ総合・金沢
	2	ＮＨＫ教育・金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	ＭＲＯ
	8	石川テレビ
静岡	1	ＮＨＫ総合・静岡
	2	ＮＨＫ教育・静岡
	6	ＳＢＳ
	8	テレビ静岡
	4	静岡第一テレビ
	5	静岡朝日テレビ
福井	1	ＮＨＫ総合・福井
	2	ＮＨＫ教育・福井
	7	ＦＢＣテレビ
	8	福井テレビ
富山	3	ＮＨＫ総合・富山
	2	ＮＨＫ教育・富山
	1	ＫＮＢ北日本放送
	8	ＢＢＴ富山テレビ
	6	チューリップテレビ
愛媛	1	ＮＨＫ総合・松山
	2	ＮＨＫ教育・松山
	4	南海放送
	5	愛媛朝日
	6	あいテレビ
	8	テレビ愛媛
徳島	3	ＮＨＫ総合・徳島
	2	ＮＨＫ教育・徳島
	1	四国放送
高知	1	ＮＨＫ総合・高知
	2	ＮＨＫ教育・高知
	4	高知放送
	6	テレビ高知
	8	さんさんテレビ
福岡	3	ＮＨＫ総合・福岡
	3	ＮＨＫ総合・北九州
	2	ＮＨＫ教育・福岡
	2	ＮＨＫ教育・北九州
	1	ＫＢＣ九州朝日放送
	4	ＲＫＢ毎日放送
	5	ＦＢＳ福岡放送
	7	ＴＶＱ九州放送
	8	ＴＮＣテレビ西日本
熊本	1	ＮＨＫ総合・熊本
	2	ＮＨＫ教育・熊本
	3	ＲＫＫ熊本放送
	8	ＴＫＵテレビ熊本
	4	ＫＫＴくまもと県民
	5	ＫＡＢ熊本朝日放送
長崎	1	ＮＨＫ総合・長崎
	2	ＮＨＫ教育・長崎
	3	ＮＢＣ長崎放送
	8	ＫＴＮテレビ長崎
	5	ＮＣＣ長崎文化放送
	4	ＮＩＢ長崎国際テレビ
鹿児島	3	ＮＨＫ総合・鹿児島
	2	ＮＨＫ教育・鹿児島
	1	ＭＢＣ南日本放送
	8	ＫＴＳ鹿児島テレビ
	5	ＫＫＢ鹿児島放送
	4	ＫＹＴ鹿児島読売ＴＶ
宮崎	1	ＮＨＫ総合・宮崎
	2	ＮＨＫ教育・宮崎
	6	ＭＲＴ宮崎放送
	3	ＵＭＫテレビ宮崎
大分	1	ＮＨＫ総合・大分
	2	ＮＨＫ教育・大分
	3	ＯＢＳ大分放送
	4	ＴＯＳテレビ大分
	5	ＯＡＢ大分朝日放送
佐賀	1	ＮＨＫ総合・佐賀
	2	ＮＨＫ教育・佐賀
	3	ＳＴＳサガテレビ
沖縄	1	ＮＨＫ総合・那覇
	2	ＮＨＫ教育・那覇
	3	ＲＢＣテレビ
	5	ＱＡＢ琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ（ＯＴＶ）

本体設定メニュー一覧

最初に本機の電源を入れると、「かんたん設定」画面が表示され、地上デジタル/地上アナログ放送をお楽しみいただけるようになりますが、より詳しい設定を行なったり、設定を変更する場合、「本体設定」から行うことができます。下記を参考のうえ、必要に応じて再設定してください。
（詳細については該当のページをご覧ください。）

■ 「本体設定」の表示のしかた

「本体設定」を押す

<例>

「画面設定」が選ばれていることを確認し、決定 を押す

「画面設定」画面が表示されます

「画質設定」が選ばれていることを確認し、決定 を押す

「画質設定」画面が表示されます

画面設定

［　］部はお買い上げ時の設定です。

設定名		設定項目	設定内容
画質設定 （参照 72～73ページ）	映像モード	［ダイナミック］ スタンダード ムービー	「 ダイナミック」、「スタンダード」、「ムービー」の中からお好みの映像モードを設定できます。 ダイナミック・・・ 全体的に明るく、映像にメリハリをもたせたコントラスト感が高い映像になります。 スタンダード ・・ ご家庭で落ち着いた自然な映像を楽しむのに適した映像になります。 ムービー・・・・・・ 映画を見る時に適した暖かみのある映像になります。
	明るさ	［0］	映像の明るさを調整できます。
	色のこさ	［0］	色の濃さを調整できます。
	色合い	［0］	色合いを調整できます。
	映像(コントラスト)	［+15］	映像(コントラスト)を調整できます。
	画質(シャープネス)	［0］	画質(シャープネス)を調整できます。
	色温度	［高］ 中 低	「高」、「中」、「低」の中からお好みの色温度を設定できます。 「高」にすると青みがかかった色調になり、「低」にすると赤みがかかった色調になります。
	リセット	–	現在設定中の映像モードの画質調整内容をすべて初期化できます。

本体設定メニュー一覧（つづき）

画面設定

□部はお買い上げ時の設定です。

設定名		設定項目	設定内容
バックライト（参照 74〜75ページ）		明るい やや明るい 標準 省電力	「明るい」、「やや明るい」、「標準」、「省電力」の 中からお好みの画面の明るさを設定できます。
ワイド検出（参照 74〜75ページ）		入 切	映像信号に合わせて自動的に画面モードを変更するかどうかを設定します。
シネマ検出（参照 74〜75ページ）		入 切	映画などの映像を検出して自動的に補正するかどうかを設定します。
PC入力設定（参照 76〜77ページ）	自動調整	–	PC入力の設定を自動的に調整します。
	水平位置	0	水平位置を調整します。
	垂直位置	0	垂直位置を調整します。
	クロック周波数	0	クロック周波数を調整します。
	クロック位相	0	クロック位相を調整します。
	リセット	–	PC入力設定の内容を、すべてお買い上げ時の設定に戻します。

音声設定

□部はお買い上げ時の設定です。

設定名	設定項目	設定内容
デジタル音声出力（参照 78〜79ページ）	PCM AAC	「 PCM」、「 AAC」の中からお好みのデジタル音声出力を設定できます。

機器設定

□部はお買い上げ時の設定です。

設定名	設定項目	設定内容
字幕表示（参照 80〜81ページ）	切 日本語 英語	「切」、「日本語」、「英語」の中からお好みの字幕表示を設定できます。
文字スーパー表示（参照 80〜81ページ）	切 日本語 英語	「切」、「日本語」、「英語」の中からお好みの文字スーパー表示を設定できます。
画面表示（参照 82〜83ページ）	4秒間 保持	「4秒間」、「 保持」の中から番組バナーの表示を設定できます。
自動ダウンロード（参照 80〜81ページ）	入 切	ソフトウエアを自動ダウンロードするかどうかを設定します。 通常は自動ダウンロードを「入」にしておきます。

機器設定

設定名	設定項目	設定内容
制限設定（参照 84〜85ページ）	–	年齢制限の設定や制限設定を行うための暗証番号を設定します。
ICカード情報（参照 80〜81ページ）	–	B-CASカード情報を表示します。

お知らせ

設定名	設定項目	設定内容
放送局からのお知らせ（参照 86〜87ページ）	–	放送局からのお知らせや情報を表示します。
CSボードからのお知らせ（参照 86〜87ページ）	–	110度CSデジタル放送から送られるお知らせや情報を表示します。
テレビからのお知らせ（参照 88〜89ページ）	–	本機からのお知らせや情報を表示します。

初期設定

設定名	設定項目	設定内容
かんたん設定（参照 28〜29ページ）	–	お住まいの地域を選択するだけで、地上デジタル/地上アナログのチャンネルスキャンをかんたんに設定できます。
チャンネル設定（参照 30〜41ページ）	–	BS/CS/地上デジタル/地上アナログのチャンネルに関する設定を行えます。
郵便番号設定（参照 42〜43ページ）	–	データ放送でお住まいの地域の情報を受信するための設定を行えます。
電話回線設定（参照 44〜49ページ）	–	電話回線に関する設定を行えます。
LAN設定（参照 50〜55ページ）	–	LAN設定に関する設定を行えます。
高速起動設定（参照 42〜43ページ）	–	電源を入れたときに速く起動するようにするかどうかを設定します。
ユーザデータ初期化（参照 42〜43ページ）	–	本機に記録されているデータが初期化されます。

アイコン一覧

- 本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組内容画面

データ放送を行なっている番組。

5.1chなどのサラウンド放送の番組。

マルチビュー放送の番組。

高精細テレビジョン放送（ハイビジョン）の番組。

標準精細放送テレビジョン放送（標準放送）の番組。

二重音声信号で、「主＋副」音声の番組。

字　番組の中に字幕（日本語/英語）の情報が含まれている番組。

契約済　契約済みの番組。

未契約　契約が必要な番組。

視聴年齢制限のある番組。

視聴予約されている番組。

その他の画面

「本体設定」の「お知らせ」内で、お客様がまだ読まれていないメール。（未読メール）

画面モード一覧

■ 画面モードについて

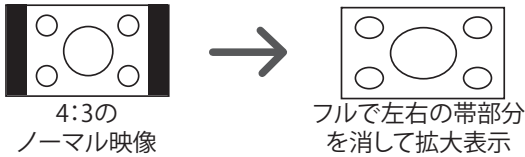
画面モードは以下のようになります。

ノーマル

4:3のノーマル映像をそのままの比率で表示します。
アナログ放送や外部入力時で480i、480pの映像またはデジタル放送で480i 4:3の番組の場合の通常の出力となります。

フル

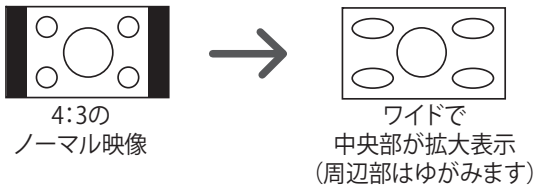
4:3の映像の場合:

4:3のノーマル映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。

16:9の映像の場合:

16:9のワイド映像をそのままの比率で表示します。
外部入力の1080i、720p の映像またはデジタル放送の場合（デジタル放送の480i 4:3の番組を除きます）

ワイド

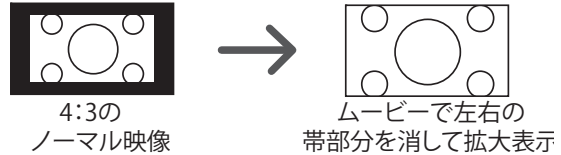
4:3の映像の場合:

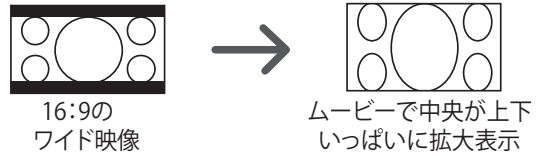
4:3のノーマル映像の中央部分（下図の中心円の領域）が等倍で拡大表示され、映像の周辺部分（下図の周囲の小円領域）が縦または横方向に拡大表示します。（ノーマル映像表示時のみ選択できます）

ズーム

ワイド映像(16:9)の中央部分(下図の中心円の領域)が上下または左右いっぱいまで縦横比を変えずに拡大表示します。

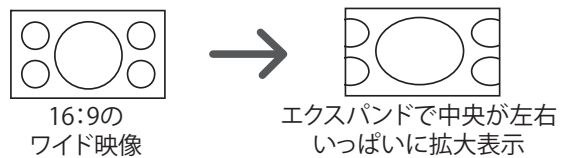
ムービー

4:3の映像の場合:

4:3のノーマル映像の黒帯を消して上下左右に拡大表示します（映像によっては上下の黒帯が残る場合があります）。上下に黒帯のない映像の場合上下の映像がカットされますので、ご注意ください。

16:9の映像の場合:

16:9のワイド映像の中央部分（下図の中心円の領域）が上下いっぱいまで縦方向に拡大表示します。

エクスパンド

16:9の映像の場合:

16:9のワイド映像の中央部分（下図の中心円の領域）が左右いっぱいまで横方向に拡大表示します。（ワイド映像表示時のみ選択できます）

故障かな!?

共通の項目

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
リモコンが操作できない	◆ 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか?	8、10
	◆ リモコン受光部に向けて操作していますか?	15
	◆ 受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。 → 電源プラグを一度抜き、しばらくしたあと、再度電源プラグを差し込み、動作を確認してください。	–
チャンネル番号が画面から消えない	◆ 画面表示 を押して、「画面表示」が出る状態にしていませんか? →再度、画面表示 を押してください。	–
テレビの上部や液晶パネル面の温度が高い	◆ テレビ上部や液晶パネル面の温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。(本体の通風孔はふさがないようにご使用ください)	–
横長映像や縦長映像になる	◆ 映像にあった画面モードに設定されていますか?	59
	◆ 「ワイド検出」が、「入」に設定されていませんか?	74〜75
電源「切」時に電源表示ランプが橙色に点灯する	◆ 自動的に放送情報を受信しているときや、「自動ダウンロード」を「入」にしている場合で、ソフトウエアのダウンロード中は電源表示ランプが一時的に橙色に点灯します。	15、80〜81
	◆ 「高速起動設定」を「入」にしている場合、電源「切」時は常に橙色に点灯します。	15、42〜43
電源を切ってしばらくすると、電源表示ランプ(赤色/橙色)が薄暗くなる	◆ 本製品は省エネルギーに配慮し、電源「切」時の表示ランプの明るさを抑えるように設計されています。	–
電源を入れても映像がすぐにでない	◆ 本機は電源を入れても、ソフトウエアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。	42〜43
	◆ 「高速起動」を「切」にした場合、本機の電源を入れるたびに画面表示まで約12秒程度かかります。	42〜43
映像や音声が出ない (または、時々出なくなる) 映像が静止する (または、時々静止する)	◆ B-CASカードが正しく挿入されていますか?	23
	◆ UHFアンテナやパラボラアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか? またはアンテナ線の劣化などはありませんか? → 「チャンネル設定」で、アンテナレベルが受信可能レベル(目安は50以上)に達しているかご確認ください。	32〜33、38〜39
	◆ アンテナの電源供給は環境によって正しく設定されていますか?	38〜39
	◆ アンテナ線は正しく接続されていますか?	18〜19
LANが接続できない DNSサーバーから応答がない サーバーに接続できない	◆ LANケーブルや、必要な機器が正しく接続されていますか?	26〜27
	◆ 「LAN設定」は正しく設定されていますか?	50〜55
	◆ 設定を有効にしましたか? → 設定が正しいことを確認したら、「LAN設定」で「設定をすぐに有効」を選んで決定し、設定を反映させてください。	52〜53
ときどき本体から「ピシッ」と音がする	◆ 本体の電源入・切に関係なく、温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	–

共通の項目

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
本体内部から「ジー」という音がする	◆ 本体動作中に液晶パネルの駆動音が聞こえる場合があります。故障ではありません。	—
パソコンの画面が映らない	◆ パソコン側のモニタ設定を本機が対応している入力信号（PC入力対応表）に 設定してください。	76
勝手に電源が切れる	◆ おやすみタイマーを設定しませんでしたか？ ◆ 電源消し忘れ防止機能が働いている可能性があります。	58 61

地上デジタル放送のとき

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
地上デジタル放送が受信できない	◆ お住まいの場所は、地上デジタル放送の放送エリアですか？ → 地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるために当初は非常に小さい出力電波で開始されるため受信エリアが限られます。また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合もあります。	—
	◆ UHFアンテナは地上デジタル放送の送信局に向いていますか？ → 現在の地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。	—
	◆ 地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか？ → 現在の地上アナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースターおよび混合器などが必要な場合があります。	—
	◆ B-CASカードが正しく挿入されていますか？	23

よくある問い合わせ（Q & A）

放送について

質問	回答	参照ページ
アンテナレベルについて受信するための目安はありますか？	◆ アンテナレベルの目安は地上・BS・CSデジタルが「50」以上です。レベルはチャンネルや天候・地域・アンテナシステムの条件などによって変わります。	32～33、38～39
私の家でも地上デジタル放送が見られるか確認したいのですが…。	◆ お近くの電気店か下記のホームページでご確認ください。 社団法人　デジタル放送推進協会 http://www.dpa.or.jp/	—

操作について

質問	回答	参照ページ
映像が画面からはみ出して見えない部分があるのですが…。	◆ 「画面モード」の設定は適切ですか？ 放送や画面モードの設定によっては、映像の上下や左右がカットされてしまう場合があります。	59
操作ボタンを押しても、全然反応が無いのですが…。	◆ 電源プラグを一度抜き、しばらくしたあと、再度電源プラグを差し込み、動作を確認してください。	—
3桁のチャンネル番号を入力して選局がしたいのですが…。	◆ リモコンの「チャンネル番号」を押すと、番号入力パネルが表示されます。数字ボタンで入力してください。	—
時計表示がされないのですが…。	◆ 時計表示は地上デジタル放送を見ると自動的に表示されます。（アナログ放送のみ視聴している場合は、時計表示されません。）	61

メッセージ表示一覧

- 本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。
- 下記表で「メッセージ」内にある"コード：○○○"は変動します。

メッセージ（エラーコード）	原因と処置
アンテナとの接続に不具合があります。 電源プラグを抜いたうえで、詳細は取扱説明書をご覧ください。　コード：E209	アンテナ電源の異常です。アンテナのケーブル線内で心線と編組線が接触（タッチ）していないか、アンテナ電源設定が間違えていないか確認してください。特にアンテナ整合器をご使用の場合は、整合器内のリード線は必ずカットしてください。 そのままご使用になりますと、アンテナ電源供給の15Vがショートして正常に視聴することが出来ません。（参照 19、38〜39ページ）
ICカードを挿入口に入れてください。	B-CASカードを挿入してください。（参照 23ページ）
このチャンネルは存在しません。 コード：E204	選んだチャンネルが存在しません。存在するチャンネルを選局してください。
信号が受信できません。悪天候やアンテナ設置に問題がある場合もあります。 コード：E202	受信異常です。アンテナレベルを上げると信号受信できる場合もあります。 （参照 32〜33ページ）
悪天候などにより、降雨対応放送に切り換わりました。　コード：E201	悪天候などによりアンテナレベルが低下した場合、降雨対応放送に切り換わります。 （放送が降雨対応放送の場合）
予約番組が放送されるか確認中です。 チャンネルを切り換えると予約は取り消されます。	視聴予約開始20秒前になると表示されるメッセージです。
正しく受信できません。再度選局を行なってください。	再度選局を行なってください。
このICカードには必要な情報がありません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターに お問い合わせください。　コード：○○○	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。
ICカードを交換してください。　コード：○○○	B-CASカードを交換してください。詳しくは（株）ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ　カスタマーセンターにお問い合わせください。（参照 23ページ）
このICカードは使用できません。サービスセンターへご連絡ください。　コード：○○○	B-CASカードに異常があります。詳しくは（株）ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ　カスタマーセンターにお問い合わせください。（参照 23ページ）
このICカードではご覧になることができません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください。　コード：○○○	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。
ICカードを正しく入れ直してみてください。 直らない場合はサービスセンターへご連絡ください。　コード：○○○	B-CASカードを正しく入れ直してみてください。 直らない場合は船井サービス（株）カスタマーセンターまでお問い合わせください。 （参照 23ページ、裏表紙）
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください。　コード：○○○	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。
このチャンネルはご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください　コード：○○○	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 コード：○○○	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。　コード：○○○	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。
○○○CHで緊急放送を行なっています。	メッセージに表示されたチャンネルで緊急放送が行われています。 緊急放送を見る場合は、メッセージに表示されたチャンネルを選局してください。
以下のチャンネルで臨時放送を行なっています。 ○○CH（最大6Ch表示）	メッセージに表示されたチャンネルで臨時放送が行われています。 臨時放送を見る場合は、メッセージに表示されたチャンネルを選局してください。

メッセージ（エラーコード）	原因と処置
データが受信できません。一旦、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局してください。　コード：E400	データ放送のデータが受信できません。一旦、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、ご覧のチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。
データの表示に失敗しました。一旦、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局してください。　コード：E402	データ放送のデータ表示ができません。一旦、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、ご覧のチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。
デジタル放送の字幕を日本語に切り換えました。	デジタル放送の字幕を日本語に切り換えたときに表示されます。
デジタル放送の字幕を英語に切り換えました。	デジタル放送の字幕を英語に切り換えたときに表示されます。
デジタル放送の字幕表示をオフにしました。	デジタル放送の字幕をオフに切り換えたときに表示されます。
この番組は映像のみの放送です。	選局したチャンネルが映像のみの放送です。
この番組は音声のみのラジオ放送です。	選択したチャンネルが音声のみの放送です。
この番組には映像・音声がありません。	選局したチャンネルには映像および音声がありません。
ダウンロード専用チャンネルのため選局できません。	選局しようとしたチャンネルがダウンロード専用チャンネルです。
このテレビでは、このチャンネルは選局できません。　コード：E210	本機では選局できないチャンネルです。
放送チャンネルではないため視聴できません。 コード：E200	選局したチャンネルが非放送番組です。
このチャンネルは現在休止中です。　コード：E203	選局したチャンネルが放送休止中です。
現在放送されていません。　コード：E203	選局したチャンネルの放送時間が終了しています。
地上デジタル放送を受信するためにはチャンネルスキャンを行う必要があります。本体設定よりチャンネルスキャンを行なってください。	地上デジタルで受信可能なチャンネルが一つもありません。「本体設定」よりチャンネルスキャンを行なってください。（参照 28〜29、34〜35ページ）
チャンネルスキャンを中止しました。	地上デジタルチャンネルスキャンを中止したときに表示されます。
この番組には対応していないため視聴できません。	本機では対応していないチャンネルです。
放送と関係のないデータを表示中です。 操作できません。	データを表示中に無効なキー操作をしたときに表示されます。
このテレビでは、データを表示できません。 コード：E401	本機では対応していないデータです。
エラー　コード：○○○ エラーコードをメモに取り電源を切って サービスセンターにご連絡ください。	エラーが発生しました。エラーコードをメモに取り電源を切って船井サービス（株）カスタマーセンターまでお問い合わせください。（参照 裏表紙）
ICカードに正しくアクセスできません。 ICカードを入れ直してみてください。 直らない場合はサービスセンターへご連絡ください。	B-CASカードのアクセスエラーです。詳しくは（株）ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ　カスタマーセンターにお問い合わせいただくか、船井サービス（株）カスタマーセンターまでお問い合わせください。（参照 23ページ、裏表紙）
この機能には対応していません。	本機では対応していない機能です。
自動調整中です。	PC入力表示中にPC入力設定の自動調整を選択した場合に表示されます。
対応解像度ではないため表示できません。	PC入力に対応解像度以外が入力された場合に表示されます。（参照 76ページ）
入力フォーマットが対応していないため選択できません。	PC入力を選択していない、もしくはPC入力に有効なフォーマットが入っていない状態で「PC入力設定」を選択した時に表示されます。（参照 76ページ）
チャンネルが登録されていません。	チャンネルが登録されていない数字ボタンで選局したときに表示されます。 （参照 30〜41ページ）
F0001	本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店か船井サービス（株）カスタマーセンターにご相談ください。（参照 裏表紙）

メッセージ表示一覧（つづき）

メッセージ（エラーコード）	原因と処置
F0002	本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店か船井サービス（株）カスタマーセンターにご相談ください。（参照 裏表紙）
カード情報が読み取れません。（「ICカード情報」画面閲覧時）	B-CASカードが抜けているか、使用できないB-CASカードが挿入されています。正しいB-CASカードを挿入してください。（参照 23ページ）
次ページは存在しません。（「放送局からのお知らせ」画面閲覧時）	次ページの内容が無い状態で「次ページ」を選択したときに表示されます。
前ページは存在しません。（「放送局からのお知らせ」画面閲覧時）	前ページの内容が無い状態で「前ページ」を選択したときに表示されます。
次ページは存在しません。（「テレビからのお知らせ」画面閲覧時）	次ページの内容が無い状態で「次ページ」を選択したときに表示されます。
前ページは存在しません。（「テレビからのお知らせ」画面閲覧時）	前ページの内容が無い状態で「前ページ」を選択したときに表示されます。
地上アナログでは選択できません。（地上アナログの「チャンネル設定」画面閲覧時）	「アンテナ強度」または「チャンネルスキップ」を選択したときに表示されます。
チャンネルスキャンを行なっていないため選択できません。（地上デジタルの「チャンネル設定」画面閲覧時）	チャンネルスキャンを行なっていない状態で、「リモコン設定」または「チャンネルスキップ」を選択したときに表示されます。（参照 34～35ページ）
次ページは存在しません。（地上アナログの「チャンネルスキャン」結果画面閲覧時）	チャンネルスキャン結果の13～24を表示中に、「次へ」を選択したときに表示されます。
前ページは存在しません。（地上アナログの「チャンネルスキャン」結果画面閲覧時）	チャンネルスキャン結果の1～12を表示中に、「前へ」を選択したときに表示されます。
スキャン種別は変更できません。（地上デジタルの「チャンネルスキャン」画面閲覧時）	取得済みの放送局が１つも存在しない状態で、「スキャン種別」を選択したときに表示されます。
居住地域が変更されたため設定できません。（地上デジタルの「チャンネルスキャン」画面閲覧時）	取得済みの放送局が存在する状態（スキャン済みで地域設定されている）で、居住地域の設定を変更した後に、「スキャン種別」を選択したときに表示されます。
スキャン種別が再スキャンのため選択できません。（地上デジタルの「チャンネルスキャン」画面閲覧時）	取得済みの放送局が存在する状態（スキャン済みで地域設定されている）で、居住地域の設定を「再スキャン」に変更した後に、「居住地域」を選択したときに表示されます。
すべての放送局を登録することはできません。（地上デジタルの「チャンネルスキャン」実行中の優先放送局の設定画面閲覧時）	すべての放送局を■（画面上の色：灰色）に登録しようとしたときに表示されます。他の設定画面に移動するか、終了して通常画面に移動するまで表示され続けます。
次ページは存在しません。（地上デジタルの「チャンネルスキャン」結果画面閲覧時）	次の放送局が無い状態で「次へ」を選択したときに表示されます。
前ページは存在しません。（地上デジタルの「チャンネルスキャン」結果画面閲覧時）	前の放送局が無い状態で「前へ」を選択したときに表示されます。
郵便番号は7桁入力してください。（「郵便番号設定」画面閲覧時）	7桁未満の郵便番号を入力したときに表示されます。他の設定画面に移動するか、終了して通常画面に移動するまで表示され続けます。
IPアドレスが手動取得のため選択できません。（「LAN設定」画面の「DNSアドレス」設定時）	IPアドレスを手動設定にした状態で、「自動取得」を選択したときに表示されます。
次ページは存在しません。（「番組内容」画面閲覧時）	次ページの内容が無い状態で「次ページ」を選択したときに表示されます。
前ページは存在しません。（「番組内容」画面閲覧時）	前ページの内容が無い状態で「前ページ」を選択したときに表示されます。

メッセージ（エラーコード）	原因と処置
信号切換できません。 （「番組内容」画面閲覧時）	番組情報が取得されていない状態で「信号切換」を選択するか、番組表から「番組内容」画面を呼び出した状態で「信号切換」を選択したときに表示されます。 （参照 62〜63、66ページ）
予約登録を行いました。 （「視聴予約」画面の「予約登録」決定時）	予約を登録したときに表示されます。
この番組は開始時間が未定のため予約できません。 （「視聴予約」画面の「予約登録」決定時）	開始時間が未定の番組は予約できません。
終了時刻が未定なため予約できません予約するには「追従設定」を「追従する」に設定して予約登録してください。 （「視聴予約」画面の「予約登録」決定時）	終了時刻が未定の番組は予約できません。 「追従設定」で「追従する」に設定したあとに、「予約登録」を行なってください。 （参照 70〜71ページ）
この番組は予約できません。（「視聴予約」画面の「予約登録」決定時）	予約できない番組です。
すでに予約が15 件あるため予約できません。 （「視聴予約」画面の「予約登録」決定時）	予約可能な件数は15件までです。 不要な予約を取り消してください。（参照 68〜69ページ）
予約登録を行いました 予約が重複しています （「視聴予約」画面の「予約登録」決定時）	予約が重複したときに表示されます。 予約が重複した場合は、予約した番組の時間がくると、自動的に切り換わります。 また、予約開始時刻が同時刻の番組が重複した場合、後に登録された番組が優先されます。
この番組を予約するには契約が必要です。 コード：○○○（「視聴予約」画面の「予約登録」決定時）	未契約番組を予約しようとしたときに表示されます。
ICカードにアクセスできませんIC カードを入れ直してみてください。 （「視聴予約」画面の「予約登録」決定時）	B-CASカードを正しく入れ直してみてください。（参照 23ページ）
ICカードを入れてください。 （「視聴予約」画面の「予約登録」決定時）	B-CASカードを入れてください。（参照 23ページ）
予約処理が間に合わないため予約できません。 （「視聴予約」画面の「予約登録」決定時）	番組開始までの時間が一分以内の番組は予約できません。
予約を削除しました。 （「視聴予約」画面の「予約登録」決定時）	予約を削除したときに表示されます。

お手入れ/廃棄のときは

お手入れについて

キャビネットや液晶パネルを傷めないために次の点にお気を付けください。

- キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってからふき取り、最後に乾いた布で乾ぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。
- シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
- 殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。またゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。

液晶パネルについて

- 液晶画面に赤や青、緑の点が見えるのは、液晶パネル特有の現象です。故障ではありません。
- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯するものもあります。故障ではありません。
- 液晶パネルの表面は特殊な加工をしていますので、強くこすったり、固い布などでふいたりしないでください。表面に傷がつくことがあります。
- 同じ画像を表示しつづけた場合、液晶画面に残像が表示されることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。

個人情報について

- 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力したお客様の個人情報が記録されます。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。
- 本機内のメモリーには、各種機能の設定時にIPアドレス等が、ご使用にあたってはメール等が記録されます。

廃棄時について

- 本機を廃棄、譲渡等する場合には、本機内のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。
- 本機内に記憶されているお客様の個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)は、お客様ご自身の責任で管理していただく必要があります。本機を譲渡・廃棄する際には、メモリーの初期化を行い、個人情報を消去することをおすすめいたします。本機の譲渡・廃棄により、個人情報の流出等、お客様の不利益について当社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本機内に記録されている個人情報については、お客様の責任で管理していただく必要があります。データ放送の双方向サービス等には個人情報の提供を必要とするものがありますので、サービス提供者が発行する利用約款等をご理解の上、ご利用されることをおすすめします。
- 本機は、家電リサイクル法の対象になります。詳しくは107ページをご確認ください。

機器の故障・修理時の情報消去について

- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。これらの場合について、当社は責任を負いません。
- データ放送の双方向サービス等で本機のメモリーに記憶されたお客様の登録情報やポイント情報等の一部あるいはすべてが変化または消失した場合の損害や不利益について、当社は何ら責任を負うものではありません。

用語解説

英数字順

1080i

デジタルハイビジョン放送（HD）の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。走査線数は従来のテレビ放送（地上アナログ放送）の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。
なお、1080は、放送される映像信号の有効走査線数を表します。

480i

デジタル標準テレビ放送（SD）の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。従来のテレビ放送と同等の解像度です。
なお、480は、放送される映像信号の有効走査線数を表します。

480p

デジタル標準テレビ放送（SD）の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。
なお、480は、放送される映像信号の有効走査線数を表します。

5.1chサラウンド

左前、右前、センター、左後、右後の5本のスピーカーとサブウーハーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。背面の光デジタル音声出力端子に5.1ch光デジタル入力端子付きのオーディオ機器を接続すれば、臨場感のある音声で楽しむことができます。

720p

デジタルハイビジョン放送（HD）の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。
なお、720は、放送される映像信号の有効走査線数を表します。

AAC

衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。
「アドバンスト・オーディオ・コーディング」の略で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。
また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

ADSL

電話回線を使ったブロードバンド接続方式の一種です。回線業者、プロバイダーとの契約が必要です。

B-CAS カード

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の有料放送に利用されます。
BSデジタル放送や地上デジタルテレビジョン放送の番組（コンテンツ）の著作権保護にも利用されています。

DHCP

サーバーやブロードバンドルーターが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

D端子

コンポーネント（色差）ビデオ信号と制御信号を1つにまとめた端子です。色信号の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号に分け、それぞれの専用回路で信号処理し、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像が、お楽しみになれます。

HDMI

パソコンとディスプレイをつなぐ「DVI」をAV機器用にアレンジした規格で、1本のケーブルで映像・音声・制御信号を合わせて送受信できます。

IPアドレス

インターネットに接続するネットワーク機器を特定する番号です。家庭では、ブロードバンドルーターなどのDHCP機能で自動的に割り当てるのが一般的です。（例：192.168.0.87）

MACアドレス

ネットワークに接続されている機器を識別するためのアドレスで、ハードウエアアドレスなどと呼ばれることもあります。

PCM

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の一つです。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

五十音順

（株）B-CAS

（株）ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズの略称です。B-CASカードの発行・管理をしています。

サブネットマスク

ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなぐ機器のIPアドレスを絞り込むための数字です。
（例：255.255.255.0）

デジタルハイビジョン

デジタル放送には、デジタル標準テレビ放送（SD）とデジタルハイビジョン放送（HD）があります。ハイビジョンの走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。

用語解説（つづき）

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。
例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。
そのほかに、LAN接続や電話回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向（インタラクティブ）サービスなどが行われます。

デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイアドレス）

インターネットへのアクセスで経由すべき機器のIPアドレスです。
通常はブロードバンドルーターのIPアドレスを言います。
（例：192.168.0.1）

ハブ

複数のネットワーク機器を接続する中継機器です。

プライマリ（DNS）/セカンダリ（DNS）

インターネット上で名前とIPアドレスを対応させる電話帳のような機能を持ったサーバーです。本機は、このサーバーのIPアドレスを2つまで登録することができます。

ブロードバンド

ADSLや光ファイバーなどのインターネット接続環境です。電話モデムを使用するのに比べて、高速なアクセスが可能です。

ブロードバンドルーター

複数のネットワーク機器を同時にインターネットに接続するためのネットワーク機器です。
ルーターの接続や設定についての詳細は、ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。

プロキシサーバー

ブラウザの代わりに目的のサーバーにアクセスし、ブラウザにデータを送る中継サーバーのことです。
プロバイダーからプロキシサーバーのアドレスを指定された場合のみ設定が必要です。

マルチビュー放送

1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

さくいん

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

仕様

本体

品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
型番	LVW-223(K) / LVW-223(W)
使用電源	AC100 V　50 Hz/60 Hz両用
消費電力	電源オン 61 W（アンテナへの電源供給なし時） 電源オフ 0.2 W（高速起動設定「入」時：15 W/機能待機時：15 W）（アンテナへの電源供給なし時）
年間消費電力量*1	78 kWh/年（標準時）*2
アンテナ電源供給	15V　最大4W
区分名*3	BEE
放送方式	地上デジタル：地上デジタル放送方式（日本）、BS・110度CSデジタル：衛星デジタル放送方式（日本）、 地上アナログ：地上アナログ放送方式（日本）
受信チャンネル	VHF：1-12 ch、UHF：13-62 ch、CATV：c13-c63 地上デジタル：000～999（CATVパススルー対応） BS・110度CSデジタル：000～999チャンネル
スピーカー	7.0 cm×3.0 cm　楕円型2個
音声出力	実用最大出力　2W+2W（JEITA）
液晶ディスプレイパネル （アスペクト比16：9）	22 V型 画素数：水平 1366 pixels×垂直 768 pixels [WXGA] 液晶駆動方式：TFTアクティブマトリックス駆動
画面寸法	幅 47.7 cm 高さ 26.8 cm 対角 54.8 cm
視野角	170 °/160 °（水平/垂直）（JEITA規格準拠 コントラスト比10：1）
輝度	300 cd/m^2
コントラスト比	700：1
応答速度	5 ms

接続端子

- 地上デジタル/地上アナログアンテナ入力端子：
  −75 dBm（標準）～−20 dBm、75 Ω
- BS・110度CS-IFアンテナ入力端子：
  −61 dBm（標準）～−28 dBm、75 Ω
- ビデオ1入力端子：　映像（1 V[p-p]、75 Ω）、S2映像（Y：1 V［p-p］、75 Ω　C：0.286V［p-p］、75 Ω）、音声（ステレオ、2 V[rms]）
- ビデオ2入力端子：　D4映像（Y : 1 V[p-p]、75 Ω　PB/CB : 0.7 V[p-p]、75 Ω　PR/CR : 0.7 V[p-p]、75 Ω）、音声（ステレオ、2 V[rms]）
- ビデオ3入力端子：　HDMI
- ビデオ4入力端子：　PC入力 RGB信号（0.7 V[p-p]、75 Ω）、同期信号 TTLレベル、音声（0.5 V[rms]）
- 光デジタル音声出力端子：　−18 d Bm　660nm　メニュー設定によりPCM、MPEG AACを切り換えて出力　トスリンク
- ヘッドホン出力端子：　音声（ステレオ）
- 電話回線（モジュラー）端子：V.22bis（2400bps着呼機能なし）
- LAN端子（100BASE-TX/10BASE-T）

キャビネット材質	ABS材/PS材
外形寸法	幅 54.3 cm（脚含む）・高さ 41.1 cm（脚含む）・奥行き 21.0 cm（脚含む） 幅 54.3 cm（脚含まない）・高さ 37.4 cm（脚含まない）・奥行き 10.8 cm（脚含まない）
質量	5.1 kg（脚含む）4.8 kg（脚含まない）
環境条件	使用周囲温度 5 ℃～ 40 ℃ 許容相対湿度 10 %～ 80 %（結露のないこと）

リモコン

使用電源	DC3 V（単3形乾電池2個使用）	
型番	LVW-223(K)：NF037JD	LVW-223(W)：NF041JD
操作距離	約 7 m以内（リモコン受光部正面距離）	
操作範囲	左右各約 30°以内、上約 15°下約 30°以内	
質量	約 120 g（乾電池含む）	

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機を使用できるのは、日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  （This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.）

*1　年間消費電力量 : 省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定方式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量。

*2　「標準時」: バックライトが「標準」で、画質設定において映像モード：ダイナミック、明るさ：0、色のこさ：0、色合い：0、映像：+15、画質：0、色温度：高の状態のことであり、メーカー推奨の画質設定です。

*3　「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態および付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。

保証とアフターサービス

1）保証書（梱包箱に貼り付けしてあります。）
保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、本取扱説明書と共に大切に保管してください。

2）保証期間はお買い上げの日から1年間です。
業務用や特殊使用の場合、保証期間内でも「**有償修理**」となります。

3）アフターサービスのご依頼について

◆ 保証期間中、万一製品が故障してしまった場合
この取扱説明書の「故障かな!?」をよくお読みになり、点検を繰り返しても正常に作動しないときは、販売店にお問い合わせいただくか、最寄りの船井サービス(株)カスタマーセンターまたは船井サービス(株)修理受付センターにご相談ください。

◆ **保証期間を過ぎて製品が故障してしまった場合**
販売店にお問い合わせいただくか、最寄りの**船井サービス(株)カスタマーセンター**または**船井サービス(株)修理受付センター**にご相談ください。

修理をご依頼される際にご連絡いただきたい内容：

- **ご住所**　・**ご氏名**　・**電話番号**
- **故障または異常の内容**
- **製品名**　・**製造番号**　・**ご購入日**

4）アフターサービスについてご不明な点は…
販売店、または最寄りの**船井サービス(株)カスタマーセンター**までお問い合わせください。

5）補修用性能部品の最低保有期間
この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打切後最低8年間保有してあります。

廃棄時にご注意願います。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

ご購入メモ

ご購入記録として下記内容をご記入ください。
（この製品の製造番号は背面および保証書に記載してあります。）

お買い上げ年/月/日	**年　　月　　日**
お買い上げ店名/住所/電話番号	☎
お買い上げ製品の型番	**LVW-223(K) / LVW-223(W)**
お買い上げ製品の製造番号	
ID番号*	カードID（B-CASカード番号）：

* 80～81ページに記載の「ICカード情報」画面で確認できる「カードID」の番号を記入してください。お問い合わせのときに必要な場合があります。

愛情点検　● **長年ご使用の製品の点検を！**

（熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか

◆ 映像や音がでない。
◆ 変なにおいがしたり、煙がでたりする。
◆ 内部に水や異物が入った。
◆ その他の異常や故障がある。

ご使用中止

このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

お問い合わせをいただく場合、下記内容をお知らせください

- お名前・ご住所・電話番号
- 本製品(修理/取扱い/付属品・部品のご購入)に関するお問い合わせの場合は、製品型番・製造番号・ご購入日・ご購入店名もお知らせください。

◆ ご購入のご相談、製品の取扱いに関するご質問は、下記お客様ご相談室までお問い合わせください。

【船井電機株式会社　お客様ご相談室】　**ナビダイヤル0570-0271-01**

（一般電話：全国どこからでも上限20円/3分毎でご利用いただけます）※携帯電話からもかけられます。
PHS・050番号からは　**TEL(072)871-1110　FAX (072)871-1199**
受付時間9:00～17:30（土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く）

- E-mailによるお問い合わせも受け付けております。
詳しくは、船井電機株式会社ホームページ（**http://www.funai.jp**）の「**お客様ご相談室**」をご覧ください。

◆ 製品の修理に関する総合的なご相談、修理のお申し込みは下記船井サービス(株)カスタマーセンターまでお問い合わせください。

【船井サービス(株)カスタマーセンター】　**ナビダイヤル0570-0271-02**

（一般電話：全国どこからでも上限20円/3分毎でご利用いただけます）※携帯電話からもかけられます。
PHS・050番号からは
【本社カスタマーセンター】TEL(06)6746-3373 FAX(06)6746-3374 〒577-0012 大阪府東大阪市長田東3-2-43 長田SKパークビル1F
【東京カスタマーセンター】TEL(042)679-5402 FAX(042)679-5406 〒192-0363 東京都八王子市別所1-18-10
受付時間9:00～17:30（土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く）

- 本製品についてのインターネットによる修理のご依頼は**http://www.funai-service.co.jp**をご覧ください。

◆ 付属品(リモコンなど)、部品のご注文は下記船井サービス(株)部品受注センターまでお問い合わせください。

【船井サービス(株)部品受注センター】　**ナビダイヤル0570-0271-03**

（一般電話：全国どこからでも上限20円/3分毎でご利用いただけます）※携帯電話からもかけられます。

【FAX】フリーダイヤル0120-0271-82

PHS・050番号からはTEL(0868)28-7183 FAX (0868)28-7052 〒708-0015 岡山県津山市神戸88
受付時間9:00～17:30（土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く）

- 本製品についての付属品のオンラインショッピングは**http://www.funai-service.co.jp**をご覧ください。

【船井サービス(株)修理受付センター】　受付時間9:00～17:30 (土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)

センター	〒	住所	TEL	FAX
札幌修理受付センター	〒060-0061	北海道札幌市中央区南一条西10-4 南大通ビルアネックス1F	☎(011) 281-0130	FAX (011) 281-0137
仙台修理受付センター	〒984-0046	宮城県仙台市若林区二軒茶屋3-5 鴫原ビル1F	☎(022) 299-1658	FAX (022) 299-1662
名古屋修理受付センター	〒466-0064	愛知県名古屋市昭和区鶴舞3-4-3 富田ビル2F	☎(052) 735-0440	FAX (052) 735-0441
津山修理受付センター	〒708-0015	岡山県津山市神戸88	☎(0868) 28-7586	FAX (0868) 28-1746
福岡修理受付センター	〒812-0014	福岡県福岡市博多区比恵町17-7 サンシティパーキングビル1F	☎(092) 475-1252	FAX (092) 475-3227

※船井サービス(株)修理受付センターが通話中のときは、船井サービス(株)カスタマーセンターへ転送致します。ご了承ください。

- お客様より船井電機株式会社およびグループ会社にお電話でご連絡をいただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。あらかじめご了承のうえお問い合わせください。
- ご相談、ご依頼をいただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、弊社のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務依託先に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

- 故障の場合は、お買い上げの販売店または船井サービス(株)カスタマーセンターまでお問い合せください。
- ご質問の際は、お買い上げの販売店またはDXアンテナ(株)ホームエレクトロニクス営業部までお問い合せください。

【DXアンテナ株式会社】 ホームエレクトロニクス営業部　受付時間9:00～17:30 (土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)

営業部	所在地・連絡先
首都圏ホームエレクトロニクス営業部	〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル5F ☎(03) 3526-5318　FAX(03)3526-5712
近畿ホームエレクトロニクス営業部	〒532-0011 大阪市淀川区西中島7丁目4番17号 新大阪上野東洋ビル8F ☎(06) 6889-1530　FAX(06)6889-1540

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

営業所	TEL	営業所	TEL	営業所	TEL	営業所	TEL
・札幌支店	TEL.(011)822-1251(代)	・宇都宮営業所	TEL.(028)659-1100(代)	・三重出張所	TEL.(059)226-1643(代)	・山陰出張所	TEL.(0853)24-2343(代)
・旭川出張所	TEL.(0166)37-5830(代)	・新潟営業所	TEL.(025)276-2166(代)	・金沢支店	TEL.(076)261-9988(代)	・高松営業所	TEL.(087)868-1222(代)
・東北支店	TEL.(022)243-2141(代)	・茨城営業所	TEL.(029)826-5341(代)	・富山営業所	TEL.(076)422-7878(代)	・松山営業所	TEL.(089)925-3826(代)
・盛岡出張所	TEL.(019)636-1581(代)	・千葉支店	TEL.(043)253-1121(代)	・大阪支店	TEL.(06)6304-5651(代)	・福岡支店	TEL.(092)541-0168(代)
・郡山出張所	TEL.(024)921-7131(代)	・木更津出張所	TEL.(0438)23-6281(代)	・堺営業所	TEL.(072)278-5311(代)	・北九州営業所	TEL.(093)922-6556(代)
・東京支店	TEL.(03)3526-5402(代)	・静岡営業所	TEL.(054)281-0141(代)	・京都営業所	TEL.(075)382-6141(代)	・長崎出張所	TEL.(095)842-0780(代)
・東京東出張所	TEL.(03)5654-9881(代)	・浜松営業所	TEL.(053)461-6885(代)	・神戸支店	TEL.(078)579-8550(代)	・大分営業所	TEL.(097)504-7799(代)
・多摩営業所	TEL.(042)572-4911(代)	・中部支店	TEL.(052)919-6531(代)	・姫路出張所	TEL.(079)283-5920(代)	・熊本営業所	TEL.(096)325-0711(代)
・横浜支店	TEL.(045)651-2557(代)	・松本営業所	TEL.(0263)27-7801(代)	・広島支店	TEL.(082)237-5331(代)	・南九州営業所	TEL.(099)267-8211(代)
・埼玉支店	TEL.(048)652-3311(代)	・豊橋営業所	TEL.(0532)69-2370(代)	・岡山営業所	TEL.(086)245-2948(代)	・沖縄営業所	TEL.(098)874-6202(代)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル TEL.(03)3526-6327(代)
ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

※ 所在地、電話番号は都合により変更する場合がございますので、ご了承ください。（2009年7月現在）

販売元:	DXアンテナ株式会社	〒652-0807	兵庫県神戸市兵庫区浜崎通2番15号
製造元:	船井電機株式会社	〒574-0013	大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

A9270JH/A9272JH
Printed in China
1EMN24979 ★★★★